会　告・通　知

平成 25 年 10 月号会告・通知目次

◇第一種研究会開催案内（平成 25 年 10 月 2 日～11 月 1 日）…… 2
◇第二種研究会開催案内・発表募集案内……30
◇講演会・講習会・学術研究集会等
・北陸支部　講演会……33
・関西支部　電気四学会関西支部専門講習会「イメージング技術の最新動向」……33
准員及び学生員のための講演会（後半）……33
電気四学会関西支部一般見学会……34
電気四学会関西支部専門講習会「保護リレーにおける通信利用技術の現状と高度化」……34
・本会が協賛等のもの……35
◇国際会議……36
◇受賞候補者募集等
・平成 25 年度学術奨励賞・受賞候補者推薦用紙……37
・平成 25 年度論文賞候補論文推薦について（通信ソサイエティ）……38
・情報・システムソサイエティ論文賞　候補論文推薦依頼……40
◇求人欄……42
◇お知らせ
・シニア会員申請登録は 10 月 1 日から開始しています！……43
・「平成 26 年度代議員選挙」の立候補申請について……43
・御登録情報の変更・確認はマイページを御利用下さい……44
・論文誌の冊子体の廃止について……44
・電子情報通信学会東京支部教育イベントの公募について……44
・平成 25 年 10 月号及び 11 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ……44
◇論文特集原稿募集
・情報理論とその応用小特集（英文論文誌 A）……45
・VLSI 設計と CAD アルゴリズム小特集（英文論文誌 A）……45
・知的環境とセンサネットワーク小特集（英文論文誌 B）……46
・機構デバイスの最新動向（IS-EMD2013）小特集（英文論文誌 C）……47
・並列分散コンピューティングとネットワーキング小特集（英文論文誌 D）……47

♧複写される方へ……4
♧新刊案内
・本会発行図書
［非線形システムが社会を動かす］……32
♧総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について……48

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます.
http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku.html
（本会ホームページ→各種お知らせ→会告・通知）

※平成 26 年 1 月号から会告・通知欄は，一部内容を除き本会ホームページのみの掲載となります.

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会　　平成 25 年 10 月 2 日～11 月 1 日

開催プログラムは変更になることがあります.
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい.
http://www.ieice.org/event/workshops.php

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日	時	会場	告頁
イメージ・メディア・クオリティ	18 日(金)	13：30～16：40	千葉大学・西千葉キャンパス	6
思考と言語	19 日(土)	13：15～17：00	早稲田大学	7
技術と社会・倫理	29 日(火)	14：00～16：40	日本大学・理工学部・駿河台キャンパス	9
VLSI 設計技術 集積回路 画像工学	7 日(月) 8 日(火)	10：30～16：55 9：00～12：15	弘前大学・コラボ弘大・八甲田ホール	12
超音波	9 日(水)	13：30～16：45	産業技術総合研究所・名古屋駅前イノベーションハブ	15
応用音響	11 日(金)	13：00～15：45	NTT・コミュニケーション科学基礎研究所	18
非線形問題	28 日(月) 29 日(火)	9：30～18：00 9：30～17：45	サンポートホール高松	22
信頼性	18 日(金)	13：30～17：10	九州工業大学・サテライトキャンパス・kyutech プラザ	23
ワイドバンドシステム	31 日(木) 11 月 1 日(金)	13：15～16：50 9：30～11：50	屋久島環境文化村センター	28
10 月休会の研究会；回路とシステム，情報理論，情報セキュリティ，信号処理，システム数理と応用，安全性，ITS，スマートインフォメディアシステム				

◎通信ソサイエティ

研究会名	日	時	会場	告頁
無線通信システム	17 日(木) 18 日(金)	9：30～18：10 9：20～16：30	上智大学・四谷キャンパス	5
短距離無線通信	21 日(月)	9：30～17：15	情報通信研究機構・ワイヤレスネットワーク研究所	7
インターネットアーキテクチャ	22 日(火)	10：00～17：40	東京大学・先端知ビル・武田ホール	8
電子通信エネルギー技術	10 日(木) 11 日(金)	15：30～17：00 10：45～12：45	北海道大学・クラーク会館	9
ネットワークシステム	17 日(木) 18 日(金)	9：25～17：35 9：00～12：05	北海道大学	10
環境電磁工学 マイクロ波 エレクトロニクスシミュレーション	24 日(木) 25 日(金)	9：00～18：00 9：00～18：00	東北大学・青葉山キャンパス	13
アンテナ・伝播	3 日(木) 4 日(金)	11：00～17：15 9：30～15：00	金沢大学・サテライト・プラザ	16
情報ネットワーク	17 日(木) 18 日(金)	14：30～16：45 10：30～13：50	大阪大学・吹田キャンパス・銀杏会館	19
光ファイバ応用技術	24 日(木) 25 日(金)	13：00～17：55 9：25～12：00	エルトピア奈良	20
ソフトウェア無線	24 日(木) 25 日(金)	10：00～16：50 9：00～16：45	大阪大学・中之島センター	21
衛星通信	24 日(木) 25 日(金)	9：30～17：40 9：00～17：35	IP CITY ホテル福岡	23
光通信システム 光エレクトロニクス レーザ・量子エレクトロニクス	24 日(木) 25 日(金)	9：30～19：05 9：20～18：30	門司港・海峡ロマンホール	25

インターネットアーキテクチャ	10日(木) 11日(金)	12：45〜17：30 9：30〜17：45	Konkuk University（Seoul, Korea）	28
10月休会の研究会；宇宙・航行エレクトロニクス，通信方式，コミュニケーションクオリティ，フォトニックネットワーク，情報通信マネジメント，モバイルネットワークとアプリケーション，知的環境とセンサネットワーク				

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日	時	会場	告頁
電子部品・材料	8日(火)	13：00〜14：40	機械振興会館	前号
機構デバイス	18日(金)	13：30〜15：45	NTT・厚木研究開発センタ	7
電子ディスプレイ	28日(月)	（未定）	機械振興会館	9
電子デバイス	22日(火) 23日(水)	13：30〜17：20 9：00〜12：05	北海道大学・ファカルティハウス「エンレイソウ」	11
超伝導エレクトロニクス	2日(水) 3日(木)	13：00〜18：05 9：00〜12：30	東北大学・電気通信研究所	11
集積回路 VLSI設計技術 画像工学	7日(月) 8日(火)	10：30〜16：55 9：00〜12：15	弘前大学・コラボ弘大・八甲田ホール	12
シリコン材料・デバイス	17日(木) 18日(金)	14：00〜16：40 9：30〜14：30	東北大学・未来情報産業研究館	13
マイクロ波 エレクトロニクスシミュレーション 環境電磁工学	24日(木) 25日(金)	9：00〜18：00 9：00〜18：00	東北大学・青葉山キャンパス	13
電子部品・材料	24日(木) 25日(金)	13：30〜17：45 9：30〜12：15	新潟大学・駅南キャンパス「ときめいと」	15
有機エレクトロニクス	11日(金)	10：00〜17：00	大阪大学・中之島センター	18
光エレクトロニクス レーザ・量子エレクトロニクス 光通信システム	24日(木) 25日(金)	9：30〜19：05 9：20〜18：30	門司港・海峡ロマンホール	25
磁気記録・情報ストレージ	24日(木) 25日(金)	13：40〜16：50 9：30〜11：40	福岡交通センタービル	26
10月休会の研究会；電磁界理論，マイクロ波・ミリ波フォトニクス				

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日	時	会場	告頁
コンピュータシステム	3日(木)	10：45〜15：30	幕張メッセ・国際会議場	5
パターン認識・メディア理解	3日(木) 4日(金)	13：30〜17：50 13：30〜18：10	幕張メッセ・国際会議場	前号
ディペンダブルコンピューティング	24日(木)	13：30〜16：00	機械振興会館	8
画像工学 VLSI設計技術 集積回路	7日(月) 8日(火)	10：30〜16：55 9：00〜12：15	弘前大学・コラボ弘大・八甲田ホール	12
コンピュテーション	18日(金)	10：40〜17：00	名古屋工業大学	16
教育工学	19日(土)	13：00〜16：50	富山大学・五福キャンパス	17
ソフトウェアサイエンス	24日(木) 25日(金)	（未定）	ITビジネスプラザ武蔵	18
MEとバイオサイバネティックス	10日(木)	13：00〜15：40	大阪電気通信大学・四条畷キャンパス	18
クラウドネットワークロボット	17日(木) 18日(金)	（未定）	グランフロント大阪	20
今後の予定；パターン認識・メディア理解，知能ソフトウェア工学（29ページ）				
10月休会の研究会；ライフインテリジェンスとオフィス情報システム，言語理解とコミュニケーション，人工知能と知識処理，データ工学，ニューロコンピューティング，知能ソフトウェア工学，音声，医用画像，ソフトウェアインタプライズモデリング，リコンフィギャラブルシステム，情報通信システムセキュリティ，情報論的学習理論と機械学習，マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント，サービスコンピューティング				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日時		会場	告頁
福祉情報工学	26日(土) 27日(日)	13：00～16：35 8：20～11：15	霧島国際ホテル	27
今後の予定；ヒューマンコミュニケーション基礎（30ページ）				
10月休会の研究会；ヒューマンコミュニケーション基礎，ヒューマン情報処理，マルチメディア・仮想環境基礎				

◇第二種研究会開催案内

光応用電磁界計測研究会（PEM）	10月 3日(木)，4日(金)	金沢大学・サテライト・プラザ	16
第8回再生可能集積システム時限研究会	10月19日(土)	電気通信大学・調布キャンパス	30
第27回光通信システムシンポジウム	12月12日(木)，13日(金)	東レ総合研修センター	30

◇第二種研究会発表募集案内

アシュアランスシステム研究会	12月12日(木)	兵庫県立大学	31
第3回集積光デバイスと応用技術研究会	1月30日(木)，31日(金)	鬼怒川グランドホテル「夢の季」	32

複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は，本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております．本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は，(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい．ただし，企業等法人による社内利用目的の複写については，当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては，その必要はございません．(社外頒布目的の複写については，許諾が必要です．)
＜権利委託先＞　一般社団法人学術著作権協会
〒107-0052　東京都港区赤坂9-6-41　乃木坂ビル3F　FAX〔03〕3475-5619　E-mail : info@jaacc.jp

複写以外の許諾（著作物の引用，転載，翻訳等）に関しては，(社)学術著作権協会に委託致しておりません．
直接，下記へお問い合わせ下さい．
＜問合せ先＞　一般社団法人電子情報通信学会
〒105-0011　東京都港区芝公園3-5-8　機械振興会館内　TEL〔03〕3433-6691　FAX〔03〕3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication
Please obtain permission from the following Japan Reproduction Rights Center（JRRC）to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.
Obtaining permission to quote, reproduce ; translate, etc.
Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance（JAACC）
Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance（JAACC）
Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
Website　http://www.jaacc.jp/　E-mail : info@jaacc.jp　Fax : +81-33475-5619

――東京支部における開催――

★コンピュータシステム研究会（CPSY）

専門委員長　吉永　努　副委員長　安里　彰・中島康彦
幹事　中野浩嗣・入江英嗣　幹事補佐　井上浩明・大川　猛

日時　10 月 3 日（木）　10：45～15：30
会場　幕張メッセ国際会議場 301B 会議室（千葉市美浜区中瀬 2-1．http://www.m-messe.co.jp/access/index.html）
議題　ユーザを支えるコンピューティング及び一般―パーソナル機器からスマートシティまで―

ハードウェア設計・プロセッサ

1. ハードウェアモデリング言語 ArchHDL から Verilog HDL へのトランスレータの設計　○佐藤真平・吉瀬謙二（東工大）
2. 高信頼メニーコアシステム SmartCore における TMR 実行の提案と評価　○笹河良介・佐藤真平・吉瀬謙二（東工大）
3. ワイヤレス三次元積層マルチコアプロセッサ Cube-1 の実機評価　○天野英晴・小泉佑介・竹　康宏・松谷宏紀・黒田忠広（慶大）・坂本龍一・並木美太郎（東京農工大）・宇佐美公良（芝浦工大）・近藤正章（電通大）・中村　宏（東大）

午後　スマートシティ

4. 流通業の機能モデルに基づくビルデータ共有システムの評価と改善　○小牧大輔・福本　恭（日立）
5. 〔招待講演〕 スマートシティに向けたエネルギー需給の最適化制御　竹林知善（富士通研）

メディア処理・コンシューマデバイス

6. Adaptive Normalization Cross Correlation based Invisible Watermarking to Visible Watermarking　○Ta Minh Thanh（Tokyo Inst. of Tech.）・Pham Thanh Hiep（Yokohama National Univ.）
7. HMD 端末単体で動作する指先認識アルゴリズムの性能評価　○千竃航平・岩崎　央・森田光貴・吉見真聡・入江英嗣・吉永　努（電通大）
8. 光学シースルー方式 HMD に適した直観的ジェスチャー UI　○岩崎　央・千竃航平・森田光貴・吉見真聡・吉永　努・入江英嗣（電通大）

☆CPSY 研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日
11 月 8 日（金）　広島大〔締切済〕テーマ：クラウド，ネットワーク及び一般
11 月 27 日（水）～29 日（金）　鹿児島県文化センター〔未定〕テーマ：デザインガイア 2013―VLSI 設計の新しい大地―

【発表申込先】　下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
入江英嗣（電通大）
TEL〔042〕443-5635，FAX〔042〕443-5681
E-mail：irie@is.uec.ac.jp

★無線通信システム研究会（RCS）

専門委員長　府川和彦　副委員長　村田英一・岡本英二
幹事　小西　聡・ベンジャブール アナス
幹事補佐　星野正幸・増野　淳・森田基樹・岡崎彰浩・三上　学

日時　10 月 17 日（木）　9：30～18：10
18 日（金）　9：20～16：30
会場　上智大学四谷キャンパス中央図書館 8F L-821 会議室（千代田区紀尾井町 7-17-1．JR 中央線／東京メトロ丸ノ内線／南北線：四ッ谷駅麹町口・赤坂口から徒歩 5 分．http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access_yotsuya．TEL〔03〕3238-3511（中央図書館）　小川将克）
議題　無線通信方式，無線通信システム，標準化及び一般

17 日午前

1. 複数ストリーム拘束探索を用いる準最適 MIMO 信号検出―複数ストリーム拘束探索の原理―　○加藤勝也（ｼｬｰﾌﾟ）・府川和彦（東工大）・山田良太・岡本直樹（ｼｬｰﾌﾟ）・鈴木　博（東工大）
2. 複数ストリーム拘束探索を用いる準最適 MIMO 信号検出―三角行列化及びストリーム選択―　○加藤勝也（ｼｬｰﾌﾟ）・府川和彦（東工大）・山田良太・岡本直樹（ｼｬｰﾌﾟ）・鈴木　博（東工大）
3. 24×24 MIMO 屋外実験で測定されたチャネルデータを用いた 30 Gbps 超高速ビットレート移動通信の特性評価　○須山　聡・シン キユン（NTT ﾄﾞｺﾓ）・鈴木　博・府川和彦（東工大）・奥村幸彦（NTT ﾄﾞｺﾓ）
4. オーバーロードプリコーディングを用いた非直交 SU-MIMO の伝送特性　○中村　理・留場宏道・後藤淳悟・浜口泰弘（ｼｬｰﾌﾟ）
5. ダイナミック TDD を用いたスモールセルネットワークにおける送信電力制御を用いた干渉軽減法に関する検討　○高橋宏樹・横枕一成・今村公彦（ｼｬｰﾌﾟ）
6. 下りリンクヘテロジニアスネットワークのための多段階処理を用いた階層型干渉アライメント　○秋田谷朋紀・佐波孝彦（千葉工大）
7. 多ユーザーセミブラインド干渉アラインメントに関する一検討　○高井真人（静岡大）・石橋功至（電通大）・和田忠浩（静岡大）

17 日午後

8. 40 GHz 帯を用いた移動体無線通信システムのフィールド試験　○塚本　薫・加藤泰典・梅田周作・河原伸幸（三菱電機）・長山博幸（三菱総研）・川崎邦弘・中村一城（鉄道総研）・辻　宏之（NICT）・岡崎彰浩・石津文雄（三菱電機）
9. LTE-Advanced 下りリンクにおける RRH を用いた CoMP Coherent Joint Transmission の実験評価　○齊藤敬佑・川村輝雄・安藤英浩（NTT ﾄﾞｺﾓ）

特集セッション 1（将来無線システム）

10. 〔依頼講演〕 LTE-Advanced 上での端末間直接通信のための干渉制御の検討　○山崎智春・榮祝剛洋・福田憲由・藤代真人・柏瀬　薦・童　方偉・守田空悟（京ｾﾗ）
11. 〔依頼講演〕 無線アクセス技術の発展の方向性　○畑川養幸・北川幸一郎・小西　聡（KDDI 研）
12. 〔依頼講演〕 将来無線アクセス・モバイル光ネットワークの構想　○奥村幸彦・中村武宏（NTT ﾄﾞｺﾓ）

特集セッション 2（将来無線システム）

13. 〔依頼講演〕 超大容量化を実現するマルチバンド周波数協調ワイヤレスシステムの検討　○梅比良正弘・武田茂樹・宮嶋照行・鹿子嶋憲一（茨城大）
14. 〔依頼講演〕 無線アクセスシステムの PHY/MAC における柔軟性と自律性の向上に向けて　三瓶政一（阪大）

招待講演

15. 〔招待講演〕 3GPP 標準化と将来の展望―主にビジネスインパクトの側面から―　古谷之綱（東工大）

16.〔招待講演〕 セルラー通信技術の歴史と将来展望
安達文幸（東北大）

18 日午前

1. 最適送信周波数領域等化を用いる時空間符号化送受信ダイバーシチにおけるチャネル推定誤差の影響に関する一検討
○宮崎寛之・安達文幸（東北大）
2. 差動時空ブロック符号化のための判定帰還ブロック遅延検波の特性―変調多値数の拡大とダイバーシチ受信が与える影響―
久保博嗣（立命館大）
3. DFT-Precoded OFDMA における LMMSE 規範の繰り返し判定帰還チャネル推定を用いるターボ周波数領域等化のブロック誤り率特性 ○森　千尋（東京都市大）・川村輝雄（NTT ﾄﾞｺﾓ）・三木信彦（香川大）・佐和橋　衛（東京都市大）
4. 繰り返し干渉キャンセラを用いるシングルキャリア MIMO 空間多重における送受信協調 MMSE フィルタリング
○熊谷慎也・安達文幸（東北大）
5. 帯域外輻射電力制約下でのマルチキャリア信号のピーク振幅抑圧に関する検討 ○日野貴哉・牟田　修・古川　浩（九大）

招待講演

6.〔招待講演〕 無線 LAN の省電力化技術　小川将克（上智大）

18 日午後

7. 将来無線アクセス・モバイル光ネットワークにおけるマルチレイヤ無線制御技術 ○森広芳文・森岡康史・安田浩人・奥村幸彦（NTT ﾄﾞｺﾓ）
8. 将来無線アクセス・モバイル光ネットワークにおける超高速無線アクセス技術 ○須山　聡・シン キユン・武田和晃・岸山祥久・奥村幸彦（NTT ﾄﾞｺﾓ）
9. OFDM-DAT 通信方式の提案―シャノンの限界は迂回できるか？― 阿良田洋雄（REEA）
10. ヘテロジニアスネットワークにおける分散 Q-learning を用いたセル選択手法 ○工藤聡倫・大槻知明（慶大）
11. Adaptive Q-learning for cell selection during handover in a femtocell network ○Chaima Dhahri・Tomoaki Ohtsuki（Keio Univ.）
12. 無線ネットワークコーディング試作装置の CSMA モードにおける屋外伝送実験特性 ○増野　淳・丸田一輝・大槻暢朗・杉山隆利（NTT）
13. 飛び越し経路によるダイバーシチを考慮したマルチホップ伝送における干渉キャンセラに関する検討 ○松野貴徳・宮崎寛之・安達文幸（東北大）
14. マルチユーザ検出と ARQ を採用するユーザ多重割り当て予約型ランダムアクセス方式の理論解析 ○旦代智哉・鈴木　博・府川和彦・須山　聡（東工大）
15. Downlink Coverage Probability of Fractional Frequency Reuse for MIMO Heterogeneous Networks
○He Zhuang・Tomoaki Ohtsuki（Keio Univ.）
16. Radio Resource Management for Multiuser SC-FDMA/SDMA Transmission ○Abolfazl Mehbodniya・Fumiyuki Adachi（Tohoku Univ.）

◎17 日研究会終了後，懇親会を予定していますので奮って御参加下さい．

☆RCS 研究会今後の予定 〔　〕内発表申込締切日

11 月 21 日（木），22 日（金） 松江テルサ〔締切済〕テーマ：アダプティブアンテナ，等化，干渉キャンセラ，MIMO，無線通信，一般

12 月 19 日（木），20 日（金） 高松市文化芸術ホール〔10 月 10 日（木）〕テーマ：モバイル，アドホック，ユビキタス，無線，セキュリティ，マルチアクセス，アクセスネットワーク・UserNetworkInterface，Home ネットワーク，一般

1 月 23 日（木），24 日（金） 九大〔11 月 5 日（火）〕テーマ：無線通信のための信号処理及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
増野　淳（NTT）
E-mail：rcs_ac-entry@mail.ieice.org

★イメージ・メディア・クオリティ研究会（IMQ）

専門委員長　山田光穂　副委員長　堀田裕弘・杉山賢二
幹事　中口俊哉・前田　充　幹事補佐　工藤博章・齊藤新一郎

日時　10 月 18 日（金） 13：30～16：40
会場　千葉大学西千葉キャンパス（千葉市稲毛区弥生町 1-33. JR：西千葉駅徒歩 2 分（南門），京成みどり台駅徒歩 7 分（正門）．http://www.chiba-u.ac.jp/access/nishichiba/index.html TEL〔043〕290-3296　中口俊哉）

議題　医用画像と IMQ 一般

1.〔特別講演〕 MRI の画像化に関する基本コンセプトと画質評価法―メーカーの立場から― 久原重英（東芝ﾒﾃﾞｨｶﾙｼｽﾃﾑｽﾞ）
2. 確率共鳴を利用したコントラスト分解能の改善
山元勇輝・藤井啓輔・高瀬郁子（名大）・遠地志太（阪大医学部附属病院）・川浦稚代（名大）・森　政樹（名大医学部附属病院）・池田　充・○今井國治（名大）
3. 3D エフェクト効果及び 3D 字幕効果を見る際の輻輳眼球運動の分析 ○白鳥雄太・高橋いずみ・佐野啓介・渋田優輝・山田光穂（東海大）
4. 相関時間マッピングによる脳脊髄液動態の可視化
○八ツ代　諭・平山晃大・厚見秀樹・松前光紀・黒田　輝（東海大）
5. VR を用いた脳室内視鏡手術支援システムに関する研究
○白子　匠・濱本和彦・松前光記・黒田　輝・内田　理・厚見秀樹（東海大）
6. キャリブレーションフリーなポータブル蛍光色素観察システムの構築 ○鈴木　拓・中口俊哉（千葉大）・大坪誠治（釧路労災病院）・林　秀樹（千葉大）・草野満夫（釧路労災病院）

◎研究会終了後，懇親会を予定していますので御参加下さい．

☆IMQ 研究会今後の予定 〔　〕内発表申込締切日

12 月 13 日（金） 静岡大浜松キャンパス〔10 月 19 日（土）〕テーマ：ディスプレイと IMQ 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
中口俊哉（千葉大）
E-mail：nakaguchi@faculty.chiba-u.jp

◎IMQ 研究専門委員会ホームページ（http://www.imqa.jp/confcall.html）も御覧下さい．

★機構デバイス研究会（EMD）

専門委員長　長谷川　誠　副委員長　関川純哉・久我宣裕
幹事　服部康弘・阿部宜輝　幹事補佐　上野貴博

日時　10月18日（金）　13：30～15：45
会場　NTT厚木研究開発センタ（厚木市森の里若宮3-1. http://www.ntt.co.jp/sclab/maps/a.html　TEL〔046〕240-2262　阿部宜輝）
議題　トライポロジ及び一般

1. ECRスパッタカーボン薄膜の電気的・機械的特性の基板種別依存性　○内山田博三・大石竜生・森　龍斗・高橋大紀・大石健太郎・梅村　茂（千葉工大）・廣野　滋（MESｱﾌﾃｨｰ）・鎌田智之・丹羽　修（産総研）
2. Ag-C接点対における開離時アークの動きへの材料の影響　○鈴木真悟・関川純哉（静岡大）
3. 同軸管を用いたプリント基板のPIM測定における誘電体層の影響に関する実験的考察　○森田久美子・久我宣裕（横浜国大）
4. 貴金属ブラシを用いた電気摺動接触機構の接触電圧降下特性　○上野貴博・木地本翔大・渕本美布佑・澤　孝一郎（日本工大）
5. WS2/W基複合材料の高速しゅう動したときの電気的特性　○渡辺克忠（工学院大）・新井正臣（渡辺研）

◆日本トライポロジー；学会固体潤滑研究会，継電器・コンタクトテクノロジー研究会共催
☆EMD研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日
11月16日（土），17日（日）　華中科技大（中国・武漢）〔締切済〕テーマ：国際セッションIS-EMD2013

【問合先】
関川純哉（静岡大）
TEL & FAX〔053〕478-1618
E-mail：tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp
久我宣裕（横浜国大）
TEL & FAX〔045〕339-4279
E-mail：kuga@ynu.ac.jp
服部康弘（住友電装）
TEL〔059〕382-8634，FAX〔059〕382-8591
E-mail：yasuhiro-hattori@gate.sws.co.jp
阿部宜輝（NTTﾌｫﾄﾆｸｽ研究所）
TEL〔046〕240-2262，FAX〔046〕270-6421
E-mail：abe.yoshiteru@lab.ntt.co.jp
◎EMD研究会に関する最新の情報は，http://www.ieice.org/es/emd/jpn/を御参照下さい．

★思考と言語研究会（TL）

専門委員長　阪井和男　副委員長　佐良木　昌・近藤公久
幹事　久保村千明・黒田　航　幹事補佐　乾　孝司

日時　10月19日（土）　13：15～17：00
会場　早稲田大学8号館303/304/305会議室（http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html　原田康也）
議題　概念辞書と言語処理

1. スピーキングの自動評価に向けた言語項目の策定　○小林雄一郎（学振）・阿部真理子（中大）
2. 日本人英語学習者の英文黙読中の単語認知及び英単語発話時における語強勢情報利用の非対称性　○渡部宏樹・横川博一（神戸大）
3. 感情表現の論理構造を求めて　岩垣守彦

テーマセッション
4. 動的文脈ネットワークモデルを用いた語の多義性解消とその改良　○岡本　潤（嘉悦大）・石崎　俊（慶大）
5. GMAPIAシステムにおけるのデルベースと統合化辞書の概念―経営日本語教育システムの基本機能―　沢　恒雄（遊工研）
6. 連想概念辞書を利用した話題制御　○久保村千明（山野美容芸術短大）・亀田弘之（東京工科大）
7. 階層構造意味空間モデルによる知識獲得　高田明典（ﾌｪﾘｽ女子大）

【問合先】
久保村千明（山野美容芸術短大）
E-mail：ckubomura@yamano.ac.jp

★短距離無線通信研究会（SRW）

専門委員長　加藤修三　副委員長　加藤正文・原田博司
幹事　田野　哲・溝口匡人　幹事補佐　沢田浩和・温　允

日時　10月21日（月）　9：30～17：15
会場　情報通信研究機構ワイヤレスネットワーク研究所（横須賀市光の丘3-4．京浜急行線：YRP野比駅からバス10分．光の丘5番下車．http://www.nict.go.jp/wireless/access.html#yrp　TEL〔046〕847-5055　原田博司）
議題　Network，MAC，Adhoc関連技術，一般

1. Study on Multiple-hop Wireless Body Area Network based on CSMA/CA of IEEE802.15.6　Pham Thanh Hiep（Yokohama National Univ.）
2. Capacity of Multiple-Hop MIMO Relay System with Outdated CSI　○Pham Thanh Hiep（Yokohama National Univ.）・Nguyen Huy Hoang（Le Quy Don technical Univ.）
3. UHF帯屋内通信のための受信電力分布測定　○菅　智茂（東工大）・沢田浩和・宋　春毅・原田博司（NICT）・高田潤一（東工大）
4. 無線LANシステムにおけるSNR差を利用したSuccessive Optimization送信方法　○工藤理一・石原浩一・村上友規・ヒランタ アベーセーカラ・浅井裕介・溝口匡人（NTT）
5. 無線送信ベースバンドによるベースライン変動補償手法　○高野光司・中野大樹・大庭信之・甲田泰照・山根敏志・片山泰尚（日本IBM）
6. 効率的なマルチホップデータ収集のための階層型メッシュルーティング（HMTR）方式の基本特性に関する一検討　○ヴェルティナ ラバリジョンナ・児島史秀・原田博司（NICT）

午後
7. 〔招待講演〕 センサネットワーク用センサ技術の現状と動向　江刺正喜（東北大）
8. 〔招待講演〕 スマートユーティリティネットワーク・センサーネットワークを支える無線デバイスと市場動向と相互接続の必要性　椿原潤吾（ｱﾅﾛｸﾞ･ﾃﾞﾊﾞｲｾｽﾞ）
9. 〔招待講演〕 スマートユーティリティネットワーク・センサーネットワークを支える無線モジュールの開発動向・事例・相互接続に向けた課題（仮題）　魚住智志（村田製作所）

10.〔パネル討論〕 センサネットワーク用無線・センサデバイス・相互接続性の必要性 ○原田博司（NICT）・江刺正喜（東北大）・椿原潤吾（ｱﾅﾛｸﾞ･ﾃﾞﾊﾞｲｾｽﾞ）・魚住智志（村田製作所）

☆SRW 研究会今後の予定 〔 〕内発表申込締切日

12 月 16 日（月） 機械振興会館〔10 月 18 日（金）〕テーマ：WLAN，WPAN 関連技術，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
沢田浩和（NICT）
TEL〔046〕847-5055，FAX〔046〕847-5011
E-mail：srw-sec@mail.ieice.org

★インターネットアーキテクチャ研究会（IA）

専門委員長 石橋圭介
副委員長 秋山豊和・地引昌弘・中村 豊
幹事 衛藤将史・松浦知史
幹事補佐 義久智樹・山本 寛・渡里雅史

日時 10 月 22 日（火） 10：00～17：40

会場 東京大学先端知ビル 5F 武田ホール（文京区本郷 7-3-1．地下鉄丸の内線：本郷三丁目駅下車徒歩 8 分，地下鉄大江戸線：本郷三丁目駅下車徒歩 6 分，地下鉄千代田線：湯島駅または根津駅下車歩 8 分，地下鉄南北線：東大前駅下車徒歩 1 分，地下鉄三田線：春日駅下車徒歩 10 分．http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html）

議題 ネットワーク研究開発テストベッド運用・利用，一般

R＆E ネットワーク報告

1. JGN-X アップデート 下條真司（NICT／阪大）
2. SINET アップデート 漆谷重雄（NII）
3. APAN アップデート 小西和憲（APAN-JP）

R＆E ネットワークを活用した研究開発実証実験

4. リアルタイム指向ネットワークコンピューティング技術を用いたストリーミングクラウド機能の検証 ○丸山 充（神奈川工科大）・油谷 曉・垣内正年（奈良先端大）・大槻英樹・小林和真（NICT）・酒井昌男（NTT-IT）・小林正之（PFU）
5. UDT を用いた並列ファイル転送ツール基本性能評価 ○渡邉英伸（NICT）・黒澤 隆（日立）・村田健史（NICT）・木村映善（愛媛大）・建部修見（筑波大）

午後 R＆E ネットワークを活用した e-Science/e-Health

6. Belle II 実験における計算機モデルとネットワーク ○原 隆宣・三宅秀樹（高ｴﾈﾙｷﾞｰ加速器研究機構）・マーチン セビア（ﾒﾙﾎﾞﾙﾝ大）
7. 神岡地下実験施設におけるネットワーク利用の今昔，そして将来―KamLAND のネットワーク利用― ○玉江京子（東北大）・早戸良成（東大）
8. 地震観測データ流通システム JDXnet の現状とクラウド化 卜部 卓・○鷹野 澄・鶴岡 弘・中川茂樹（東大）
9. アタカマサブミリ波望遠鏡実験（ASTE）におけるインターネットを利用したリモート観測 ○芦田川京子・松居隆之・小杉城治・奥田武志（国立天文台）
10. 地域医療福祉情報ネットワーク構築を通して 中村直毅（東北大）

ネットワーク監視

11. IP バックボーンにおける OpenFlow を使ったモニタリングネットワークの構築―Interop Tokyo 2013 における ShowNet SDN の取り組み― ○田原裕市郎（KDDI）・齋藤修一（NEC）・石井秀治（NICT）・関谷勇司（東大）
12. 多数のセンサーが送出するトラヒックに対するアプリケーション分析手法 ○堀 良彰・フォン ヤオカイ（佐賀大）・永田 晃・小寺康平・中村勝一（ﾈｯﾄﾜｰｸ応用技研）
13. 多数のセンサーが送出するトラヒックに対する異常検知システムの提案 ○永田 晃・小寺康平・中村勝一（ﾈｯﾄﾜｰｸ応用技研）・堀 良彰（佐賀大）

パネルディスカッション

14. 超高速 R＆E ネットワークに向けて

◆ADVNET 共催

◎18：00～20：00，懇親会を開催します．詳細は後日お知らせ致します．

☆IA 研究会今後の予定 〔 〕内発表申込締切日

11 月 1 日（金） グランドプリンスホテル広島〔締切済〕テーマ：学生セッション，一般（日本学術振興会インターネット技術第 163 委員会共催）

12 月 19 日（木），20 日（金） 広島市大〔10 月 11 日（金）〕テーマ：性能評価とシミュレーション，信頼性技術，スループットやトラヒックの計測，品質（QoS）制御，輻輳制御，トラヒック・フロー制御，オーバーレイネットワーク・P2P，IPv6，マルチキャスト，ルーチング，DDoS 及び一般

1 月 30 日（木），31 日（金） 機械振興会館〔未定〕

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
IA 研究会事務局（九工大電子情報工学科尾家研究室内）
TEL＆FAX〔0948〕29-7652
E-mail：ia-submission@mail.ieice.org

◎IA 研究会ホームページ
http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/index.htm

★ディペンダブルコンピューティング研究会（DC）

専門委員長 梶原誠司 副委員長 金川信康
幹事 中村友洋・土屋達弘

日時 10 月 24 日（木） 13：30～16：00

会場 機械振興会館地下 3 階 1 号室（港区芝公園 3-5-8．東京メトロ日比谷線：神谷町駅下車徒歩 10 分，JR：浜松町駅下車徒歩 20 分，都営地下鉄三田線：御成門駅・大江戸線：赤羽橋駅下車徒歩 10 分．http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm TEL〔03〕3434-8211）

議題 ネットワーク環境でのディペンダビリティ

1. ネットワーク障害下におけるレプリカ配置を考慮した階層的 voting システムの可用性の評価 ○上田佑樹・小島英春・土屋達弘（阪大）
2. 異種 MANET 環境における自律分散クラスタリングによるネットワーク間経路修復手法 ○岡野圭成・大田知行・角田良明（広島市大）
3. ワイヤレスセンサネットワークにおける BloomFilter を用いた経路認証と偽陽性の影響について ○田辺法輝・河野英太郎・角田良明（広島市大）

4. 機械学習によるネットワークビッグデータの解析
○史　虹波・岩崎一彦（首都大東京）
5. マルチレベルセル NAND フラッシュメモリのための多元単方向誤り訂正符号　○小滝翔平・北神正人（千葉大）
6.〔招待講演〕 調整中
☆DC 研究会今後の予定 〔　〕内発表申込締切日
11 月 27 日（水）～29 日（金） 鹿児島県文化センター〔未定〕
テーマ：デザインガイア 2013―VLSI 設計の新しい大地―
【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html
【問合先】
土屋達弘（阪大大学院情報科学研究科）
E-mail：t-tutiya@ist.osaka-u.ac.jp
◎最新情報は，DC 研究会ホームページを御覧下さい．
http://www.ieice.org/iss/dc/jpn/index.html

★電子ディスプレイ研究会（EID）

専門委員長　木村　睦　副委員長　志賀智一・小南裕子
幹事　伊達宗和・山口雅浩
幹事補佐　山口留美子・山口　一・新田博幸・小澤史朗・中田　充

期日　10 月 28 日（月）
会場　機械振興会館
議題　**画像技術，視覚・画質関連，その他一般**
◆電気学会，映像情報メディア学会連催．SID 共催
◎開催プログラム等は EID 研究会の HP 等で御確認下さい．

★技術と社会・倫理研究会（SITE）

専門委員長　中西通雄　副委員長　吉開範章・岡田仁志
幹事　杉山典正・山肩大祐　幹事補佐　宮田純子・多川孝央

日時　10 月 29 日（火） 14：00～16：40
会場　日本大学理工学部駿河台キャンパス 1 号館（千代田区神田駿河台 1-8-14．JR 中央・総武線：御茶ノ水駅下車徒歩 3 分，東京メトロ千代田線：新御茶ノ水駅下車徒歩 3 分，東京メトロ丸ノ内線：御茶ノ水駅下車徒歩 5 分．http://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/access.html　吉開範章）
議題　**個人情報とプライバシー，一般**
1. 小中学校の教室授業のリアルタイム・ビデオ中継に関する倫理的諸問題の考察　○芳賀高洋（岐阜聖徳学園大）・大谷卓史（吉備国際大）
2. プライバシーの情報コントロール理論再考　大谷卓史（吉備国際大）
3. プライバシー共同規制の近年の動向　生貝直人（NII）
4.〔招待講演〕 OECD プライバシーガイドライン改正と我が国個人情報保護制度への影響　板倉陽一郎（ひかり総合法律事務所）
◎研究会終了後，懇親会を予定しておりますので是非御参加下さい．
☆SITE 研究会今後の予定 〔　〕内発表申込締切日
12 月 14 日（土），15 日（日） 琉球大〔未定〕テーマ：情報教育，一般
【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html
【問合先】
杉山典正
TEL〔06〕6954-4189，FAX〔06〕6954-4164
E-mail：sugiyama@ip.oit.ac.jp
◎公式 Web サイト　http://www.ieice.org/ess/site/

――北海道支部における開催――

★電子通信エネルギー技術研究会（EE）

専門委員長　庄山正仁　副委員長　大津　智
幹事　石塚洋一・馬場崎忠利　幹事補佐　山下暢彦

日時　10 月 10 日（木） 15：30～17：00
11 日（金） 10：45～12：45
会場　北海道大学クラーク会館大集会室（札幌市北区北 8 条西 5 丁目．JR 札幌駅から徒歩 15 分程度．http://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/campusmap/#access）
議題　**部品・照明・デバイス・材料技術関連，一般**
10 日
1. E 級増幅器の最大動作周波数のデューティ比による変化について　末次　正（福岡大）
2. タップドインダクタ降圧形コンバータの電力損失解析　○占部貴寛・西嶋仁浩・佐藤輝被・鍋島　隆（大分大）
3. 電圧ストレスを低減できるカップルドトランス位相シフト制御コンバータ　○宮田祥平・佐藤輝被・西嶋仁浩・鍋島　隆（大分大）
11 日
1. Y コンデンサの電位変動を考慮したブリッジレス PFC 回路のコモンモードノイズ電流に関する研究
○施　克威（九大）・富岡　聡（TDK ﾗﾑﾀﾞ）・庄山正仁（九大）
2. ハーフブリッジコンバータと多段接続カレントダブラを用いた二石式セル電圧バランス回路　○鵜野将年・久木田明夫（JAXA）
3. サーバー向けデジタル電源のデットタイム自動最適化機能の実現　細山尚登（FATEC）
4. スイッチトキャパシタを用いた高電圧アプリケーション用 LLC コンバータ　○三井　航・佐藤輝被・西嶋仁浩・鍋島　隆（大分大）
◆11 日 9：00～10：30，照明学会；光源・照明システム分科会併催．IEEE Power Electronics Society Japan 共催
◎10 日研究会終了後，懇親会（会費 4,000 円程度）を予定しています．是非御参加下さい．
☆EE 研究会今後の予定 〔　〕内発表申込締切日
11 月 22 日（金） 機械振興会館〔締切済〕テーマ：回路・制御技術関連，一般
【問合先】
山下暢彦（NTT 環境ｴﾈﾙｷﾞｰ研究所）
TEL〔0422〕59-4222，FAX〔0422〕59-5682
E-mail：yamashita.nobuhiko@lab.ntt.co.jp

★ネットワークシステム研究会（NS）

専門委員長　漆谷重雄　副委員長　平松　淳
幹事　木下和彦・柴田哲良　幹事補佐　金子雅志

日時　10 月 17 日（木）　9：25〜17：35
18 日（金）　9：00〜12：05
会場　北海道大学
議題　ネットワークアーキテクチャ（オーバレイ，P2P，ユビキタス NW，スケールフリー NW，アクティブ NW，NGN・新世代 NW），次世代パケットトランスポート（高速 Ethernet，IP over WDM，マルチサービスパケット技術，MPLS），グリッド，一般

17 日午前（A 会場）

1. EPC 仮想化アーキテクチャの一検討　○馬場宏基・東　信博・松本　実・則武克誌（NTT）
2. メトロ網における広域仮想 L2SW アーキテクチャの並列転送制御の評価　○伊達拓紀・樋口健一・片山　勝・小川宏明（NTT）
3. 拡張性と高信頼性を備えた通信ノードにおける情報処理機能部の冗長系再構築方式の一検討　○石井大介・奥野通貴（日立）

技術開発講演（A 会場）

4. 高信頼仮想ルータを実現する SDN トランスポート技術の提案　○林谷昌洋・長谷川洋平・水越康博（NEC）

NS（A 会場）

5. モバイルシンクノードへのセンサデータ配送プロトコル　○鶴巻利樹・桧垣博章（東京電機大）
6. 車載ノード間無線アドホック通信による仮想信号機を用いた衝突回避　○阿部恵介・桧垣博章（東京電機大）
7. アドホックネットワークにおけるセキュア分散転送を想定したノード素な複数経路構築手法の評価　○上森孝英・河野英太郎・角田良明（広島市大）

17 日午後（A 会場）（13：30〜）

8. 移動端末における高品質な通信を実現する快適経路の性能解析　○金井謙治・甲藤二郎（早大）・村瀬　勉（NEC）
9. 無線センサネットワークにおける見守り型エッジ探索方式　○門沢宏樹・朝香卓也（首都大東京）
10. モバイル無線センサネットワークにおける動的レール型データ収集法　○前田一樹・朝香卓也（首都大東京）
11. 無線 LAN アクセス網におけるスループット改善のための送信電力制御法に関する一検討　○西上敏生・高木由美・太田　能・玉置　久（神戸大）

ポスター講演（B 会場）

12. TCP/IP スタックにおけるチェックサム計算の GPU オフロードによる性能向上手法　○坪内佑樹・長谷川　剛・谷口義明・中野博隆・松岡茂登（阪大）
13. BitTorrent におけるピア間の協調による局所性を考慮したピース拡散ダウンロード方式　○江藤寿史・大坐畠　智・加藤聰彦（電通大）
14. ネットワーク制御とサービス制御を一元化したサービスプラットフォーム　○井上優也・廣田悠介・木下和彦（阪大）・戸出英樹（阪府大）・村上孝三（阪大）
15. 大容量ファイルダウンロードにおけるユーザ効用最大化を目的とした帯域割り当て方式　○勝元　健・木下和彦（阪大）・山井成良（岡山大）・村上孝三（阪大）
16. 地域の安全と賑わいを創出するソフトウェア制御ネットワーク技術とすれ違い通信技術に関する一検討　○橘　拓至・堀　俊和・福間慎治・藤元美俊・半田憲嗣（福井大）
17. ハイブリッド型 P2P ネットワークにおけるピアの通信速度を考慮した複製分割配置型コンテンツ共有手法の検討　○谷口祐亮（名工大）・菅原真司（千葉工大）・福嶋慶繁・石橋　豊（名工大）

招待講演 1（A 会場）

18. 〔招待講演〕 柔軟な移動通信ネットワーク実現に向けた取り組みについて　○清水敬司・中村哲也・岩科　滋・滝田　亘（NTT ﾄﾞｺﾓ）

18 日午前（A 会場）

1. ボトルネックを回避可能な並列分散処理手法の性能評価　○黄　民錫・金子　豊・竹内真也・苗村昌秀（NHK）
2. 〔奨励講演〕 MapReduce による大規模分散システムのシミュレーション　○杉野好宏，華井雅俊・首藤一幸（東工大）
3. 多様な通信特性を持つ端末のための信号量最適化方式の検討　○東　信博・馬場宏基・松本　実・則武克誌（NTT）
4. 〔奨励講演〕 Effects of Node-Based Delays on Tor Performance　○Kale Timothy Girry・Satoshi Ohzahata・Celimuge Wu・Toshihiko Kato（Univ. of Electro-Comm.）
5. コンテンツ指向型ネットワークにおける要求履歴を用いたキャッシュ効率向上手法の提案　○河野孝博（北九州市大）・嶋村昌義（東工大）・古閑宏幸（北九州市大）
6. 多視点ビデオ・音声（MVV-A）IP 伝送のためのマルチキャスト配信方式の QoE 評価　○酒向一徳・布目敏郎（名工大）
7. 〔奨励講演〕 Optimizing Video Streaming Services with Cooperative Routing and Content-Centric Networks　○Saran Tarnoi（SOKENDAI）・Kalika Suksomboon・Yusheng Ji（NII）

☆NS 研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日

11 月 14 日（木），15 日（金）　福江文化会館（五島列島）〔未定〕テーマ：ネットワーク品質，ネットワーク管理・計測，ネットワーク仮想化，一般

12 月 19 日（木），20 日（金）　高松市文化芸術ホール〔10 月 10 日（木）〕テーマ：モバイル，アドホック，ユビキタス，無線，セキュリティ，マルチアクセス，アクセスネットワーク・UserNetworkInterface，Home ネットワーク，一般

1 月 23 日（木），24 日（金）　琉球大〔未定〕テーマ：ネットワークソフトウェア（ソフトウェアアーキテクチャ，ミドルウェア），NW アプリケーション，SOA/SDP，NGN/IMS/API，分散制御・ダイナミックルーチング，グリッド，NW 及びシステム信頼性，NW 及びシステム評価，一般

【発表申込先】　下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
NS 研究会幹事及び幹事補佐
E-mail：ns-secretariat@mail.ieice.org
金子雅志（NTT）　TEL〔0422〕59-2847
柴田哲良（NTT）　TEL〔0422〕59-3205

◎最新情報は，NS 研ホームページを御覧下さい．
http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい．

★電子デバイス研究会（ED）

専門委員長　原　直紀　副委員長　前澤宏一
幹事　上田哲三・葛西誠也　幹事補佐　松永高治・鈴木寿一

日時　10月22日（火）　13：30～17：20
23日（水）　9：00～12：05

会場　北海道大学ファカルティハウス「エンレイソウ」（札幌市北区北11条西8丁目．JR：札幌駅，西コンコース北口より，徒歩15～20分．http://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/enreiso/　TEL〔011〕706-6509　葛西誠也）

議題　電子管と真空ナノエレクトロニクス

22日

1.〔招待講演〕 ダイヤモンドpn接合冷陰極の形成と真空スイッチ応用　○小泉　聡・竹内大輔（物材機構／JST）
2. 電気化学的に作製したナノ炭素材料からの電界放出　○岩井勇輔・小池高寿・定塚淳生・中村智宣・鬼塚好弘（鬼塚硝子）・三村秀典（静岡大）
3. グラフェン冷陰極からの電子放出特性の透過型電子顕微鏡その場測定　○村上勝久・吉田木の実・藤田淳一（筑波大）
4. 高温燃焼グラファイトカソードの特性評価　○根尾陽一郎（静岡大）・岩井勇輔・定塚淳生・中村智宣（鬼塚硝子）・三村秀則（静岡大）
5. 低速電子ビーム形成のための電界放出電子源引き出し電極系の設計　○後藤康仁・辻　博司（京大）
6. 静電レンズ一体型Field Emitter Arrayの電子軌道解析　○村田英一・下山　宏（名城大）・根尾陽一郎・三村秀典（静岡大）・吉田知也・長尾昌善（産総研）
7. 希土類酸化物及び遷移金属酸化物で修飾したW電界放射陰極の検討　○中根英章・武田紘己（室蘭工大）・川久保貴史（香川高専）
8. カーボン被覆フィールドエミッタの電子放射モデルの検討（第2報）　○樋口敏春・佐々木正洋・堀江翔太・山田洋一（筑波大）・松本修二・福田茂樹（高ｴﾈﾙｷﾞｰ加速器研究機構）

23日

1. シリコン冷陰極からの光支援電子放射の応答性　○嶋脇秀隆（八戸工大）・根尾陽一郎・三村秀典（静岡大）・若家冨士男・高井幹夫（阪大）・吉田知也・長尾昌善（産総研）
2. 二層レジストを用いたvolcano型ダブルゲートスピントエミッタの作製　○長尾昌善・吉田知也・吉澤俊一・西　孝（産総研）
3. グラフェンフラワーにおける電界放出とその応用　○岩井勇輔（鬼塚硝子）・村松一生（ｲﾝｷｭﾍﾞｰｼｮﾝ・ｱﾗｲｱﾝｽ）・坪井升吾・定塚淳生・中村智宣・鬼塚好弘（鬼塚硝子）・三村秀典（静岡大）
4. 赤外レーザ励起による焦電結晶からの電子放出とX線源への応用　○阿保　智・中浜弘介・高橋理明・若家冨士男・高井幹夫（阪大）
5. レーダー用電子同調マグネトロンの実用性能と探知能力の改善　○小畑英幸・辻　直樹・古元邦美（新日本無線）
6. フェーズドアレー用X帯800Wパルスミニ TWTの開発　○宗廣孝継・小林潤一・吉田　満・松岡順一（ﾈｯﾄｺﾑｾｯｸ）・上田芳信・開沼　聡（NEC）
7. 冷陰極HARP撮像板用アクティブマトリクス駆動回路の多画素化検討　○難波正和・本田悠葵・宮川和典・久保田　節（NHK）・江上典文（近畿大）

☆ED研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日
11月28日（木），29日（金）　阪大吹田キャンパス〔締切済〕
テーマ：窒化物及び混晶半導体デバイス，及び一般

【問合先】
上田哲三（ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ）
TEL〔06〕6906-4940，FAX〔06〕6906-2426
E-mail：ueda.tetsuzo@jp.panasonic.com
葛西誠也（北大）
TEL〔011〕706-6509，FAX〔011〕716-6004
E-mail：kasai@rciqe.hokudai.ac.jp

――東北支部における開催――

★超伝導エレクトロニクス研究会（SCE）

専門委員長　円福敬二
幹事　丸山道隆・廿日出　好　幹事補佐　赤池宏之

日時　10月2日（水）　13：00～18：05
3日（木）　9：00～12：30

会場　東北大学電気通信研究所ナノ・スピン総合研究棟4階カンファレンスルーム（仙台市青葉区片平2-1-1．仙台駅より徒歩約20分，またはバス「東北大正門前」下車徒歩約7分，または地下鉄「五橋駅」下車（北2番の出入口より地上へ）徒歩約8分．http://www.riec.tohoku.ac.jp/access/index-j.shtml　TEL〔022〕217-5420（会場）　佐藤茂雄・小野美　武）

議題　超伝導センシング基盤技術及びその応用，一般

2日

1. HTS-SQUIDを用いた試料回転型磁化率計の最適化と水分量計測への応用　○堺　健司・日下　瞬・岡本直大・浜崎大地・モハマド マワルディ サーリ・紀和利彦・塚田啓二（岡山大）
2. Bi-2212固有接合から放射される電磁波の接合サイズ依存性　○小瀧侑央・西方　翼（長岡技科大）・川上　彰（NICT）・加藤孝弘・鈴木常生・中山忠親・安井寛治・末松久幸・新原晧一（長岡技科大）
3. 衛星・探査機に搭載するサブミリ波帯ヘテロダイン受信機の開発　○菊池健一・笠井康子（NICT）・黒田剛史（東北大）・佐川英夫（NICT）・西堀俊幸（JAXA）・真鍋武嗣（阪府大）
4.〔招待講演〕 MKIDの開発―KEK・岡山大での開発研究―　○石野宏和（岡山大）・羽澄昌史（高ｴﾈ研）・樹林敦子・岐部佳朗（岡山大）・美馬　覚（理研）・佐藤伸明・吉田光宏（高ｴﾈ研）・渡辺宏記（総研大）
5. 宇宙マイクロ波背景放射（CMB）精密観測のための多素子超伝導共振器（MKID）カメラの開発　○唐津謙一（国立天文台）・関本裕太郎（国立天文台／東大）・野口　卓・鵜澤佳徳・松尾　宏・木内　等（国立天文台）・成瀬雅人（埼玉大）・新田冬夢（筑波大）・関根正和・関口繁之・岡田　隆（東大）
6.〔招待講演〕 ガンマ線検出用超伝導転移端センサの研究　○大野雅史・畠山修一・入松川知也・高橋浩之（東大）・ダマヤマンティ トゥシャラ・大谷知行（理研）・安宗貴志・高崎浩司（原子力機構）
7. 低発熱型SQUIDとFPGAを用いた超伝導遷移端型X線マイクロカロリメータのための周波数分割方式信号多重化装置の開発　○酒井和広・竹井　洋・山本　亮・満田和久・山崎典子（JAXA）・日高睦夫・永沢秀一・

神代　暁（産総研）・宮崎利行（理研）

8. 誘電体 X 線マイクロカロリメータの開発　○菊地貴大・関谷典央・満田和久・山崎典子・川崎繁男・竹井　洋（JAXA）・前畑京介（九大）・佐藤浩介（東京理科大）

9. 超伝導回路量子電磁力学系における大きな分散シフト　○猪股邦宏（理研）・山本　剛（NEC）・Pierre-Marie Billangeon（理研）・中村泰信（東大）・蔡　兆申（理研）

10. 超伝導転移端検出器のマイクロ波帯周波数多重読出―TES と MKIDs 技術の融合；国外動向と産総研の取組―　神代　暁（産総研）

3 日

1.〔招待講演〕 超伝導単一光子検出器アレイシステムの開発　○三木茂人・山下太郎・寺井弘高・王　鎮（NICT）

2. 高検出効率な低フィリングファクター超伝導ナノワイヤ単一光子検出器　○山下太郎・三木茂人・寺井弘高（NICT）・王　鎮（NICT/SIMIT）

3. 極低暗計数率超伝導単一光子検出器の作製及び 300 km 量子鍵配送実験　○柴田浩行・清水　薫・本庄利守・武居弘樹・都倉康弘（NTT）

4. 超伝導ストリップイオン検出器による巨大分子の高感度質量分析　○全　伸幸・志岐成友・藤井　剛・浮辺雅宏・小池正記（産総研）・Cristiano Roberto（CNR）・大久保雅隆（産総研）

5.〔招待講演〕 超伝導ストリップ線イオン検出器を用いた飛行時間分析装置のための単一磁束量子読みだし回路の研究　○吉川信行・佐野京佑・山梨裕希（横浜国大）・全　伸幸・大久保雅隆（産総研）

6. 外部のこぎり波入力による時間デジタル変換器の設計　○伊藤圭介・于　国偉・喜多祐真・田中雅光・藤巻　朗（名大）

7. 超伝導ナノワイヤ検出器を用いた光子数検出器用単一磁束量子論理デジタル信号処理回路　武田俊亮・成瀬将人・田井野　徹・○明連広昭（埼玉大）・陳　健・呉　培亨（南京大）

◆東北大学通信研究所共同プロジェクト「大規模超伝導量子検出器の実用化に関する研究」共催

◎招待講演は，当該技術のチュートリアル解説を一部含みます．

◎2 日 17：35～18：05 に研究室見学，18：30～20：30 に懇親会を予定しています．

【問合先】

丸山道隆（産総研）

TEL〔029〕861-4255，FAX〔029〕861-3469

E-mail：m-maruyama@aist.go.jp

★VLSI 設計技術研究会（VLD）

専門委員長　池田　誠　副委員長　澁谷利行

幹事　中武繁寿・峯岸孝行

★集積回路研究会（ICD）

専門委員長　山村　毅　副委員長　藤島　実

幹事　松岡俊匡・渡辺　理

幹事補佐　大内真一・吉田　毅・土谷　亮・範　公可

★画像工学研究会（IE）

専門委員長　藤井俊彰　副委員長　高村誠之・浜本隆之

幹事　久保田　彰・市ヶ谷敦郎　幹事補佐　三功浩嗣・松尾翔平

日時　10 月 7 日（月）　10：30～16：55

8 日（火）　9：00～12：15

会場　弘前大学コラボ弘大八甲田ホール（弘前市文京町 3 コラボ弘大 3F．http://www.hirosaki-u.ac.jp/access/access.html　今井　雅）

議題　システム LSI の応用とその要素技術，専用プロセッサ，プロセッサ，DSP，画像処理技術，及び一般

7 日午前

VLD-1. メモリを用いたユーザ再構成型マイコン周辺回路の LSI 実装　○松村哲哉（日大）・川村嘉郁（ﾙﾈｻｽ ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ）・岡田尚也（金沢大）・有本和民（岡山県立大）・牧野博之（阪工大）・松田吉雄（金沢大）

VLD-2. 2 相ハンドシェイクプロトコル非同期式回路向けマルチクロック・マルチエッジトリガ・フリップフロップの提案　○今井　雅（弘前大）・米田友洋（NII）

VLD-3. Dual パイプライン型自己同期回路の自動設計フローの構築　○伊東　敦・池田　誠（東大）

7 日午後

VLD-4.〔招待講演〕 画像コーデック LSI の技術動向と研究成果　後藤　敏（早大）

VLD-5.〔招待講演〕 HEVC/H. 265 の標準化動向とエンコーダ開発事例　坂手寛治（三菱電機）

IE-6. “額縁形探索窓”を採用した 8K-UHDTV 向け速超高速動きベクトル検出アルゴリズム　○関　健太郎・榎本忠儀（中大）

ICD-7. 3×倍速実時間 6 万語彙連続音声認識のための 40-nm，54-mW 音声認識専用プロセッサ　○何　光霽・宮本優貴・松田薫平・和泉慎太郎・川口　博・吉本雅彦（神戸大）

ICD-8. 高速・高精度の画像認識に最適な集合演算プロセッサー（SOP）の概要　○井上克己（AOT）・範　公可・曽和将容・リー デック フン（電通大）

8 日

VLD-1. 製造後遅延調整機能を持つ RDR アーキテクチャ向け高位合成手法の評価　○萩尾勇太・柳澤政生・戸川　望（早大）

VLD-2. スキャンシグネチャを用いた LED 暗号へのスキャンベース攻撃　○藤代美佳・柳澤政生・戸川　望（早大）

VLD-3. セレクタ論理を利用したバイリニア補間演算器設計と評価　○塩　雅史・柳澤政生・戸川　望（早大）

ICD-4. New Architecture for Multiple-Valued Fine-Grain Reconfigurable VLSI Based on Current-Mode Logic　○Xu Bai・Michitaka Kameyama（Tohoku Univ.）

ICD-5. ワード線電位を適応的に降圧して読み出しマージンを拡大した低電圧動作 6Tr CMOS SRAM　○小林伸彰・榎本忠儀（中大）

VLD-6. A delay-locked loop with multi-level channel length decomposed programming delay element　Yu Zhang・Mingyu Li・Qing Dong・○Shigetoshi Nakatake（Univ. of Kitakyushu）・Bo Yang（DAL）

VLD-7. A 197 nW，9 bit，10 KS/s SAR ADC with low power design strategy for leakage current improvement　○Gong Chen・Mingyu Li・Qing Dong・

Shigetoshi Nakatake（Univ. of Kitakyushu）・
Bo Yang（DAL）

◆情報処理学会；システム LSI 設計技術研究会連催

☆VLD 研究会今後の予定 〔 〕内発表申込締切日

11 月 15 日（金），16 日（土） ホーチミン市（ベトナム）〔締切済〕テーマ：2013 年ベトナム研究会（ICDV2013）

11 月 27 日（水）～29 日（金） 鹿児島県文化センター〔未定〕テーマ：デザインガイア 2013―VLSI 設計の新しい大地―

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
中武繁寿（北九州市大）
E-mail：nakatake@kitakyu-u.ac.jp

◎VLD 研究会ホームページも御覧下さい．
http://www.ieice.org/~vld/

☆ICD 研究会今後の予定 〔 〕内発表申込締切日

11 月 15 日（金），16 日（土） ホーチミン市（ベトナム）〔締切済〕テーマ：2013 年ベトナム研究会（ICDV2013）

11 月 27 日（水）～29 日（金） 鹿児島県文化センター〔未定〕テーマ：デザインガイア 2013―VLSI 設計の新しい大地―

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
渡辺 理（東芝）
E-mail：osamu7.watanabe@toshiba.co.jp

☆IE 研究会今後の予定 〔 〕内発表申込締切日

11 月 25 日（月），26 日（火） 久留米高専〔締切済〕テーマ：高精細度画像処理・表示，一般

12 月 5 日（木），6 日（金） 京都工繊大〔未定〕テーマ：画像符号化，通信・ストリーム技術，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
市ヶ谷敦郎（NHK）
E-mail：ie-kanji2013@mail.ieice.org

★シリコン材料・デバイス研究会（SDM）

専門委員長 奈良安雄 副委員長 大野裕三
幹事 笹子佳孝 幹事補佐 黒田理人

日時 10 月 17 日（木） 14：00～16：40
18 日（金） 9：30～14：30

会場 東北大学未来情報産業研究館 5F（仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-10．http://www.fff.niche.tohoku.ac.jp/index.html TEL〔022〕795-3977 黒田理人）

議題 プロセス科学と新プロセス技術

17 日

1.〔招待講演〕 SiC パワーデバイスの開発動向
四戸 孝（東芝）

2. Electrical Properties and Reliability of Ultrathin HfN Gate Insulator Formed on Si(100) and Si(110)
○Nithi Atthi・Dae-Hee Han・Shun-ichiro Ohmi（Tokyo Inst. of Tech.）

3. Effect of silicon surface roughness on 3-D MOS capacitor with ultrathin HfON gate insulator formed by ECR plasma sputtering
○Dae-Hee Han・Shun-ichiro Ohmi（Tokyo Inst. of Tech.）

4. 原子レベル平坦化 Si 表面のキャリアモビリティ特性に基づくマルチゲート MOSFET の構造設計
○黒田理人・中尾幸久・寺本章伸・須川成利・大見忠弘（東北大）

18 日午前

1. 内部量子効率 100% の PD 技術とオンチップ高透過積層膜を組み合わせた紫外光高感度・高信頼性 Si フォトダイオード
○幸田安真・黒田理人・中尾幸久・須川成利（東北大）

2. 窒素添加 LaB6 薄膜のデバイス応用に関する検討
○前田康貴・大見俊一郎（東工大）・後藤哲也・大見忠弘（東北大）

3. バイアス印加硬 X 線光電子分光法を用いた絶縁膜／Si 界面の評価
○池野成裕・永田晃基（明大）・陰地 宏・廣沢一郎（JASRI）・小椋厚志（明大）

4. 古典的分子動力学計算による物理的プラズマダメージ形成機構の検討―Fin 型 MOSFET での欠陥生成機構―
○江利口浩二・松田朝彦・中久保義則・鷹尾祥典・斧 高一（京大）

5. 積層型不揮発性メモリの設計法
渡辺重佳（湘南工大）

6. プラズマチャージングダメージが MOSFET の Random Telegraph Noise 特性に及ぼす影響
亀井政幸・中久保義則・鷹尾祥典・○江利口浩二・斧 高一（京大）

7. MOSFET のサブスレショルド領域における Random Telegraph Noise の時定数解析
○米澤彰浩・寺本章伸・小原俊樹・黒田理人・須川成利・大見忠弘（東北大）

◎17 日 17：00～19：00 に懇親会を開催します．

☆SDM 研究会今後の予定 〔 〕内発表申込締切日

11 月 14 日（木），15 日（金） 機械振興会館〔締切済〕テーマ：プロセス・デバイス・回路シミュレーション及び一般

【問合先】
黒田理人（東北大）
TEL〔022〕795-4833，FAX〔022〕795-4835
E-mail：kuroda@fff.niche.tohoku.ac.jp

★環境電磁工学研究会（EMCJ）

専門委員長 多氣昌生 副委員長 曽根秀昭
幹事 王 建青・秋山佳春 幹事補佐 平井義人・肖 鳳超

★マイクロ波研究会（MW）

専門委員長 黒木太司
副委員長 九鬼孝夫・中津川征士・山中宏治
幹事 河合 正・山之内慎吾 幹事補佐 清水隆志・大平昌敬

★エレクトロニクスシミュレーション研究会（EST）

専門委員長 柴田随道
副委員長 柏 達也・馬 哲旺・木村秀明
幹事 大貫進一郎・柴山 純 幹事補佐 陳 春平・千葉英利

日時 10 月 24 日（木） 9：00～18：00
25 日（金） 9：00～18：00

会場 東北大学青葉山キャンパスサイバーサイエンスセンター（仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3．仙台駅西口バスプール 9 番より宮教大行き・青葉台行き（710，713，715 系統）で情報科学研究科西下車（徒歩 2 分），または同じく 9 番より理・工学部

経由青葉城址循環（719，750，757 系統）で情報科学研究科前下車（徒歩 3 分）．http://www.isc.tohoku.ac.jp/map.html TEL〔022〕795-3407（会場）　曽根秀昭）

議題　EMC 一般，マイクロ波，電磁界解析

24 日午前

EMCJ-1．IH 調理器周辺のばく露レベル測定に関する一検討
○佐藤　健（東北学院大）・山下　翠・上村佳嗣（宇都宮大）

EMCJ-2．IEC62311 のカップリングファクターを用いたワイヤレス電力伝送装置の人体ばく露評価　○関根大輔・多氣昌生（首都大東京）

EMCJ-3．角膜上皮細胞へのミリ波 24 時間ばく露による影響評価　○椎名健雄・笠井陽子・鈴木敬久・宮田智子・多氣昌生（首都大東京）

EMCJ-4．110 GHz までのミリ波帯における同軸プローブ法を用いた生体組織の電気定数測定に関する検討
○石村祐太（青学大）・佐々木謙介・和氣加奈子・藤井勝巳・渡辺聡一（NICT）・橋本　修（青学大）

EST-5．電磁誘導型無線電力伝送に伴う電磁界による体内誘導量解析　○春原　哲・平田晃正（名工大）・大西輝夫（NTT ﾄﾞｺﾓ）

EST-6．電波吸収体の複素電磁パラメータの in-situ 測定に関する一検討　○陳　春平・小田純矢・鎌田克洋・加藤丈政・穴田哲夫（神奈川大）

EST-7．90 GHz におけるアルミナセラミックスを用いた電波吸収体の遠方界及び近傍界における吸収量評価　○小杉直輝・川崎友也・須賀良介（青学大）・前田益利・宇野　誠（ｳｲｾﾗ）・橋本　修（青学大）

24 日午後

MW-8．遮断円筒導波管反射法による各種液体の複素誘電率の低周波からの周波数特性に関する基礎検討　○柴田幸司・青名畑裕之（八戸工大）

MW-9．ミリ波帯における低抵抗導電性樹脂を用いた樹脂製ホーンアンテナの試作評価　○石井雄也・須賀良介（青学大）・西村　剛・小野寺真吾（出光興産）・橋本　修（青学大）

MW-10．アウトフェージング増幅器を用いた携帯電話基地局用送信機の効率改善　○木村重一・玉野井　健・馬庭　透・高野　健（富士通研）

EST-11．トポロジー最適化の電磁波問題への応用
○佐藤和夫・大門　真・藤川久喜（豊田中研）

EST-12．複合物理シミュレーションによる次世代磁気記録方式の検証　○大貫進一郎・高野祐太・久間　丹・芦澤好人・塚本　新・中川活二（日大）

EST-13．円形共振器解析のための BOR・2 次元ハイブリッド型 FDTD 法　○大寺康夫・広瀬　遥・山田博仁（東北大）

EST-14．OpenCL を用いた FPGA ベース FDTD アクセラレータの設計　○武井康浩・ハシタ ムトゥマラ ウィシディスーリヤ・張山昌論・亀山充隆（東北大）

EST-15．磁界ベクトル成分の陰的時間更新に基づく半陰的 FDTD スキーム　藤田和広（富士通）

EST-16．LOD-FDTD 法の GPU による高速化手法の一検討と生体電磁界解析への適用　○尾形洋樹（首都大東京）・佐々木謙介（NICT）・チャカロタイジェドヴィズノブ・鈴木敬久（首都大東京）・柴山　純（法政大）

EMCJ-17．〔招待講演〕 磁性体と IC チップレベル EMC
○山口正洋・室賀　翔・遠藤　恭（東北大）・永田　真（神戸大）・田中　聡（東北大）・堀　和明（ﾙﾈｻｽ ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ）

25 日午前

1．PFC 回路におけるノイズスペクトルの時間変化に対する実験的考察　○井渕貴章・上小牧隆磨・舟木　剛（阪大）

2．1 kV 以下の球電極 ESD に伴う電磁波放射に関する一考察
○川又　憲・嶺岸茂樹（東北学院大）・藤原　修（名工大）

EMCJ-3．プリント配線板上パターン電極先端形状が ESD ガンを用いた静電気放電試験におけるフラッシオーバ電圧特性に及ぼす影響　○加茂智士・岩井　将・大塚信也（九工大）

EMCJ-4．ESD ガンを用いた静電気放電試験におけるプリント配線板上パターン導体間フラッシオーバ電圧に及ぼす背後電極の影響と放射電磁波の特性　○岩井　将・加茂智士・埋金寿壮・大塚信也（九工大）

EMCJ-5．微速度開離接点（鉄）で見られる非線形 V-I 特性と ESD のビデオ観察について　○久保田啓義・佐々木俊介・石田広幸・高木　相（東北文化学園）

MW-6．マイクロ波無線電力伝送用高効率トランジスタ RF-DC 相互変換回路　○石川　亮・本城和彦（電通大）

MW-7．損失を考慮した共振器並列形帯域通過フィルタの等価回路パラメータ抽出法　○大平昌敬・馬　哲旺（埼玉大）

MW-8．電力分配比可変ブランチラインカプラの検討
○近藤　肇・谷地善光（中央電子）・石田　等（群馬高専）

25 日午後（13：30〜）

EST-9．パッチアンテナを上下に配置した電子レンジの給電条件による温度分布制御　○秋友克哉・須賀良介（青学大）・池田　光（ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ）・橋本　修（青学大）

EST-10．地上デジタル放送波測定用ホーン付き MSA に関する検討（その 2）　○稲木一平・須賀良介・橋本　修（青学大）

EST-11．高次の CBFM を用いた誘電体近傍アンテナの数値解析
○今野佳祐・陳　強（東北大）

EST-12．コンポーネント式シミュレータフレームワーク Py-LAF―グラフィカルユーザインタフェースの実装―
○塩見英久・岡村康行（阪大）

EST-13．非対称な差動伝送線路へのシールド実装効果に関する一検討　○萱野良樹・渡部拓哉（秋田大）・井上　浩（放送大）

EMCJ-14．マイクロストリップ線路とグラウンドスロット間の結合解析　○戸花照雄・笹森崇之・礒田陽次（秋田県立大）

EMCJ-15．FPGA のオンボード電源バウンスの LECCS モデルを用いた予測　○清水加奈・五百旗頭健吾・豊田啓孝（岡山大）・渡辺哲史（岡山県工技ｾﾝﾀｰ）

EMCJ-16．ダイオードを用いた電波反射及び吸収特性の能動的制御に関する基礎的検討　○北川真也・須賀良介・橋本　修（青学大）

EMCJ-17．近傍磁界計測による暗号 LSI の情報漏洩とその対策に関する検討　○大友真紀子・山口正洋（東北大）

EMCJ-18．漏えい情報を用いた遠方からの任意処理への故障注入メカニズムに関する検討　○小林瑞樹・林　優一・本間尚文・水木敬明・青木孝文・曽根秀昭（東北大）

◆電気学会；電磁環境技術委員会連催．IEEE EMC Society Sendai Chapter 協賛

◎24 日の研究会終了後，懇親会を予定していますので御参加下さい．
会場：東北大サイバーサイエンスセンター内
会費：4,000 円程度

☆EMCJ 研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日
11 月 22 日（金）　東京電機大〔締切済〕テーマ：EMC，一般

12 月 20 日（金） デンソー〔10 月 14 日（月）〕テーマ：電力，生体，EMC，一般
1 月 30 日（木），31 日（金） 佐賀大〔11 月 8 日（金）〕テーマ：通信，無線電力伝送，EMC，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
肖 鳳超（電通大情報・通信工学科電子情報ｼｽﾃﾑｺｰｽ）
〒182-8585 調布市調布ヶ丘 1-5-1
E-mail：emcj@mail.ieice.org

☆MW 研究会今後の予定 〔 〕内発表申込締切日
11 月 21 日（木），22 日（金） 鹿児島県文化センター〔締切済〕テーマ：マイクロ波一般
12 月 19 日（木），20 日（金） 埼玉大〔10 月 14 日（月）〕テーマ：学生研究会／マイクロ波一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
清水隆志（宇都宮大）
TEL & FAX〔028〕689-6132
E-mail：tshimizu@cc.utsunomiya-u.ac.jp
河合 正（兵庫県立大）
TEL & FAX〔079〕267-4873
E-mail：kawai@eng.h-hyogo.ac.jp

☆EST 研究会今後の予定 〔 〕内発表申込締切日
1 月 23 日（木），24 日（金） 同志社大（今出川）〔11 月 1 日（金）〕テーマ：光-無線融合 NW，新周波数（波長）帯デバイス，フォトニック NW・デバイス，フォトニック結晶，ファイバとその応用，光集積回路，光導波路素子，光スイッチング，導波路解析，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
陳 春平（神奈川大）
E-mail：est-entry@mail.ieice.org

――信越支部における開催――

★電子部品・材料研究会（CPM）

専門委員長 高野 泰 副委員長 野毛 悟
幹事 圓佛晃次・佐藤知正 幹事補佐 小舘淳一・岩田展幸

日時 10 月 24 日（木） 13：30～17：45
25 日（金） 9：30～12：15
会場 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」（新潟市中央区笹口 1-1 プラーカ 1・2 階．新潟駅南口から徒歩 3 分．http://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/access.html）
議題 薄膜プロセス・材料，一般

24 日
1. 電磁誘起透明化現象を模擬するメタマテリアルにおける電磁波の群速度制御 ○玉山泰宏・安井寛治（長岡技科大）・中西俊博・北野正雄（京大）
2. 自己発熱が Bi-2212 固有ジョセフソン接合の発振特性に及ぼす影響 ○西方 翼・小瀧侑央・加藤孝弘（長岡技科大）・石田弘樹（富山高専）・末松久幸・玉山泰宏（長岡技科大）・川上 彰（NICT）・安井寛治（長岡技科大）
3. パルスレーザー堆積法による Bi 系フェライトを用いた人工超格子の作製 ○岩田展幸・渡部雄太・及川貴大・稲葉隆哲・大島佳祐・山本 寛（日大）
4. 溶液成長法によって作製した PbS 薄膜の膜質の成長時間依存性 ○摩須大輝・高野 泰・石田明広（静岡大）
5. 溶液成長法を用いた SnS 膜の作製 ○山中雄貴・高野 泰（静岡大）
6. SiC コーティングフィラメントを用いた HWCVD 法による SiC 薄膜の低温形成と構造評価 ○阿部克也・小澤勇斗・山上朋彦（信州大）
7. 金属元素をドープした石英ガラスの紫外光励起よる発光特性の検討 野毛 悟（沼津高専）
8. 低温プロセスによる SiNx 膜の特性評価 ○武山真弓・佐藤 勝（北見工大）・小林靖志・中田義弘・中村友二（富士通研）・野矢 厚（北見工大）
9. Cu 表面保護膜としての Al-Nb 合金薄膜の酸化特性 ○野矢 厚・武山真弓（北見工大）

25 日
1. プラズマ励起原子層堆積法による室温酸化チタン成膜 ○鹿又健作・大場尚志・籾山克章・鈴木貴彦・ボシール アハンマド・久保田 繁・平原和弘・廣瀬文彦（山形大）
2. Fe 及び FeSi 蒸着材料からの固相反応法による Si 上鉄シリサイド薄膜形成 ○籾山克章・鹿又健作・有馬ボシールアハンマド・久保田 繁・廣瀬文彦（山形大）
3. Synthesis of Mesoporous Iron Oxide nano-/micro-particles and Their Characterization ○Bashir Ahmmad・Fumihiko Hirose（Yamagata Univ.）
4. アルコールを原料とした熱 CVD 法による CNT の作製 ○久保直希・山田渓介・山上朋彦・上村喜一（信州大）
5. 絶縁膜中に分散させた CNT 冷陰極の開発 ○浅田裕司・山上朋彦・上村喜一（信州大）
6. 高密度プラズマ環境下のガスフロースパッタ法によるダイヤモンド薄膜の作製 ○石井琢馬・佐藤祐二・渡邊貴晴・石井 清・佐久間洋志（宇都宮大）

☆CPM 研究会今後の予定 〔 〕内発表申込締切日
11 月 27 日（水）～29 日（金） 鹿児島県文化センター〔未定〕テーマ：デザインガイア 2013―VLSI 設計の新しい大地―
11 月 28 日（木），29 日（金） 阪大吹田キャンパス〔締切済〕テーマ：窒化物及び混晶半導体デバイス，及び一般

――東海支部における開催――

★超音波研究会（US）

専門委員長 梅村晋一郎 副委員長 橋本研也・松川真美
幹事 美谷周二朗・山口 匡 幹事補佐 野村英之

日時 10 月 9 日（水） 13：30～16：45
会場 産業技術総合研究所名古屋駅前イノベーションハブ（名古屋市中村区名駅 4-4-38 愛知県産業労働センター（ウインクあいち）15 階．名古屋駅から徒歩約 2 分．http://www.ekimae-innova.jp/access.html TEL〔052〕583-6454 小塚晃透）
議題
1. ハイブリッド-時間反転法を用いたアルミニウム材の塑性変形

の検出　○野村大志・林　康久（静岡大）
2. 高周波レオ・オプティクス測定を用いた液晶の並進配向挙動に対する混合物の効果　○神谷太志・松岡辰郎（名大）
3. 熱音響におけるエネルギー効率の定義について―数値シミュレーション―　○安井久一・小塚晃透・安岡正喜・加藤一実（産総研）
4. 硫酸・リン酸水溶液中シングルバブル・キャビテーションの気泡ダイナミクスとソノルミネッセンス　畑中信一（電通大）
5. 微粒子濃縮のための水中超音波の定在波音場の検討　○小塚晃透・安井久一（産総研）・江口穫正（長野県工技総合ｾﾝﾀｰ）・畑中信一（電通大）
6. モード結合理論を用いたパッシブ弾性表面波センサの解析　○元治拓磨・近藤　淳（静岡大）

◆日本音響学会；超音波研究委員会，IEEE UFFC Society Japan Chapter 共催

☆US 研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日
11 月 11 日（月），12 日（火）　金沢工大〔締切済〕テーマ：一般
11 月 23 日（土）　同志社大室町キャンパス寒梅館〔締切済〕テーマ：水中音響，一般（共催：海洋音響学会）
12 月 18 日（水）　日大駿河台キャンパス〔10 月 16 日（水）〕テーマ：強力超音波，一般（共催：日本塑性加工学会超音波応用加工分科会）
1 月　関西大〔未定〕テーマ：応用（電気）音響，超音波，一般（音響・超音波サブソサイエティ合同研究会）

【発表申込先】　下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
山口　匡（千葉大）
TEL & FAX〔043〕290-3267
E-mail：yamaguchi@faculty.chiba-u.jp
美谷周二朗（東大）
TEL〔03〕5452-6122，FAX〔03〕5452-6123
E-mail：mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい．
http://www.ieice.org/~us

★コンピュテーション研究会（COMP）

専門委員長　今井桂子　副委員長　伊藤大雄
幹事　河村彰星・全　眞嬉

日時　10 月 18 日（金）　10：40～17：00
会場　名古屋工業大学 3 号館会議室（名古屋市昭和区御器所町．JR 中央線：鶴舞駅，地下鉄鶴舞線：鶴舞駅より徒歩 7-10 分．http://www.nitech.ac.jp/access/index.html　泉　泰介）
議題
1. 巨大な組合せの疎集合を表現するための三分索引化 ZDD　○青木洋士（北大）・戸田貴久（JST ERATO 湊）・湊　真一（北大）
2. 距離遺伝グラフにおけるハミルトン閉路問題　○神保孝則・平田富夫（名大）
3. 高階圧縮の高速化と効率の良い符号化の提案　○矢口和也（東北大）・小林直樹（東大）・篠原　歩（東北大）

午後（13：55～）
4. 〔チュートリアル講演〕 計算複雑さへの招待（4）：計算限界証明における障壁　玉置　卓（京大）
5. Zero Knowledge Proofs with Classical and Quantum Constant-Space Verifiers　○Marcos Villagra・Tomoyuki Yamakami（Univ. of Fukui）
6. フロベニウスの硬貨交換問題に対する構文解析表を用いたアルゴリズム　松原俊一（青学大）

☆COMP 研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日
12 月 20 日（金），21 日（土）　沖縄産業支援センター〔10 月 3 日（木）〕

【発表申込先】　下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
河村彰星（東大大学院情報理工学系研究科ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ科学専攻）
〒113-8656　文京区本郷 7-3-1
E-mail：kawamura@is.s.u-tokyo.ac.jp

――北陸支部における開催――

★アンテナ・伝播研究会（A・P）

専門委員長　新井宏之　副委員長　長　敬三
幹事　高橋　徹・榊原久二男　幹事補佐　道下尚文

★光応用電磁界計測研究会（PEM）（第二種研究会）

専門委員長　陳　強　副委員長　黒川　悟・大西輝夫
幹事　村田博司・都甲浩芳　幹事補佐　水野麻弥

◎本研究会は A・P 研究会と PEM 研究会の併催です．研究会資料は各研究会ごとに発行されます．

日時　10 月 3 日（木）　11：00～17：15
4 日（金）　9：30～15：00
会場　金沢大学サテライト・プラザ（金沢市西町三番丁 16 金沢市西町教育研修館内．金沢駅より香林坊・片町方面バス（北陸鉄道）乗車約 5 分，武蔵ヶ辻で下車，徒歩約 5 分（北國銀行から尾崎神社へ進み，左側）．http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_koho/satellite/default.htm　TEL〔076〕234-4858　八木谷　聡）
議題　測定，一般

3 日午前　A・P 研
A・P-1. DOA-Matrix 法と SAGE アルゴリズムを用いた到来電波の到来方向及び角度広がり推定に関する検討　○奥野将士・菊間信良・平山　裕・榊原久二男（名工大）
A・P-2. ヘテロジーニアスネットワークにおける実伝搬測定とレイトレースによる干渉量評価の特性比較　○久住圭介・西森健太郎（新潟大）・北尾光司郎・今井哲朗（NTT ﾄﾞｺﾓ）

3 日午後　A・P 研
A・P-3. SHF 帯における人体の遮蔽と散乱に関する実験的検討―SHF/EHF 帯を用いる超高速モバイル無線アクセスの実現に向けて―　○トラン ゴクハオ・今井哲朗・斎藤健太郎・奥村幸彦（NTT ﾄﾞｺﾓ）
A・P-4. BAN-OTA Testing Using a Fading Emulator Considering the Variation of K-factor Due to the Dynamic Characteristics of Human Motion　○Kun Li・Kazuhiro Honda・Koichi Ogawa（Toyama Univ.）

PEM 研，AMT 研

PEM-5. 平衡線路で給電された様々な線状アンテナに対する平衡・不平衡モード分析　石井　望（新潟大）

PEM-6. 放射中心を用いた EMI 測定用広帯域アンテナのアンテナ係数測定と RoF 技術の適用　○黒川　悟・廣瀬雅信・飴谷充隆（産総研）・鳥羽良和（精工技研）

PEM-7. アンテナ測定の高精度化のための小形 PD モジュール　○西本研悟・原口英介・安藤俊行・深沢　徹・宮下裕章（三菱電機）

A・P 研，PEM 研，AMT 研　チュートリアル講演

A・P-8.〔チュートリアル講演〕 アンテナ近傍界の測定から利得・パターンへの各種変換法　廣瀬雅信（産総研）

全米工学アカデミー 2013 チャールズ・スターク・ドレーバー賞受賞記念特別講演

A・P-9.〔特別講演〕 移動伝播研究の回想（口頭発表）　奥村善久

4 日午前　A・P 研

A・P-1. 人体の影響を考慮した端末用アンテナ指向性の一検討　○太田　潤・田中幸治・小笠原恒平・前山利幸（拓殖大）

A・P-2. 相互結合を考慮した近接配置アレーによるスーパーゲインアンテナに関する検討　○野口　明・新井宏之（横浜国大）

A・P-3. アレーアンテナ用広帯域給電回路に関する一検討　○西阪飛鳥・恵比根佳雄（電業工作）

A・P-4. フェーズドアレーアンテナを用いて変調処理を行う送信システムにおける変調方式の一検討　○後藤　準・紀平一成・高橋　徹・宮下裕章（三菱電機）

A・P-5. 衛星マルチビーム用 Ka 帯アレーアンテナの一検討　○林　昌孝（拓殖大）・辻　宏之・豊嶋守生（NICT）・前山利幸（拓殖大）

4 日午後　PEM 研，AMT 研　チュートリアル講演（12：45〜）

PEM-6.〔チュートリアル講演〕 電気光学効果を利用した電磁界センサーにおけるアンテナの設計法　陳　強・阿部寛人（東北大）

A・P 研

A・P-7. ITS 通信環境における MMSE アダプティブアレーの干渉抑圧特性　○右川卓哉・藤元美俊・堀　俊和（福井大）

A・P-8. A Study on Multi-User MIMO System Based on Time-Domain THP under Frequency Selective Fading　○Tetsuki Taniguchi（Univ. of Electro-Comm.）・Nordin Ramli（MIMOS Berhad）・Yoshio Karasawa（Univ. of Electro-Comm.）

A・P-9. 負荷変調を用いたパッシブ MIMO の実伝送評価　○寺崎圭祐・本間尚樹（岩手大）

◆AMT 研併催，IEEE AP-S Nagoya Chapter 共催

3 日議題 9. の特別講演は IEEE AP-S Japan，Nagoya，Fukuoka，Kansai Chapters，A・P 研究会共催

◎3 日研究会終了後に，懇親会を開催致しますので，奮って御参加下さい．

☆A・P 研究会今後の予定 〔　〕内発表申込締切日

11 月 21 日（木），22 日（金） 松江テルサ〔締切済〕テーマ：アダプティブアンテナ，等化，干渉キャンセラ，MIMO，無線通信，一般

12 月 12 日（木） 機械振興会館〔10 月 10 日（木）〕テーマ：一般

12 月 20 日（金） 沖縄県内〔11 月 10 日（日）〕テーマ：無線設備・アンテナシステム測定技術

1 月 8 日（水）〜10 日（金） Le Quy Don Technical Univ.（Hanoi）〔10 月 10 日（木）〕テーマ：Vietnam-Japan International Symposium on Antennas and Propagation

1 月 22 日（水），23 日（木） 宝山ホール（鹿児島県文化ｾﾝﾀｰ）〔11 月 10 日（日）〕テーマ：電波伝搬，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
榊原久二男（名工大）
E-mail：ap_ac-secretary@mail.ieice.org

★教育工学研究会（ET）

専門委員長　赤倉貴子　副委員長　小西達裕
幹事　國宗永佳・光原弘幸　幹事補佐　東本崇仁・森本容介

日時　10 月 19 日（土） 13：00〜16：50

会場　富山大学五福キャンパス共通教育棟 A 棟 A23 番教室（富山市五福 3190．JR 富山駅から市内電車またはバスで約 20 分．http://www.u-toyama.ac.jp/access/gofuku/index.html　上木佐季子）

議題　LMS と e-ポートフォリオ／一般

1. 看護学生の看護師のイメージの改善に関する一考察　松原　勇（石川看護大）
2. 講義映像・音声のインターネット配信の視聴傾向と検索機能　○森本容介・山田恒夫（放送大）
3. ブレンディッド学習でのノート指導の効果と学習者特性との関係　○中山　実（東工大）・六浦光一（信州大）・山本洋雄（東工大）
4. 授業設計への適用を目指した ARCS モデルに基づいた学習意欲変容の検討　○大前祐斗・中平勝子・福村好美（長岡技科大）
5. e ポートフォリオシステム「Mahara」における省察的学習支援機能の開発とその評価　森本康彦（学芸大）
6. 大学院研究室での自己調整を促す学習目標コミュニケーションのための e ポートフォリオ　○鍋田智広・小川泰佑・池田　満（北陸先端大）
7. SCORM 2004 教材における構造テスト支援ツールの検討　田中頼人（早大）
8. ブレンデッドラーニングを導入した演習実践　○中平勝子・田本士郎・福村好美（長岡技科大）

◆IEEE Education Society Japan Chapter 協賛

☆ET 研究会今後の予定 〔　〕内発表申込締切日

11 月 16 日（土） 会津大〔締切済〕テーマ：Internet of Things と学習支援／一般

1 月 11 日（土） 目白大〔11 月 8 日（金）〕テーマ：スキル教育と学習支援環境／一般

3 月 8 日（土） 高知高専〔1 月 14 日（火）〕テーマ：マルチメディア技術の教育活用／一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
國宗永佳（信州大）
TEL & FAX〔026〕269-5502
E-mail：kunimune@shinshu-u.ac.jp

◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には，自動的に発表キャンセルとなります．原稿がない発表は認めていませんので御注意下さい．

★ソフトウェアサイエンス研究会（SS）

専門委員長　中島　震　副委員長　結縁祥治
幹事　鷲崎弘宜・高田喜朗　幹事補佐　小林隆志

期日　10月24日（木），25日（金）
会場　ITビジネスプラザ武蔵（金沢市武蔵町14-31．http://www.bp-musashi.jp/　TEL〔076〕224-6340）
議題　一般
◆情報処理学会；ソフトウェア工学研究会連催
◎開催プログラム等はSS研究会のHP等で御確認下さい．

――関西支部における開催――

★MEとバイオサイバネティックス研究会（MBE）

専門委員長　中尾光之　副委員長　神保泰彦
幹事　渡邉高志・小谷　潔　幹事補佐　中村和浩・高山祐三

日時　10月10日（木）　13：00～15：40
会場　大阪電気通信大学四條畷キャンパス7号館113号室（予定）（四條畷市清滝1130-70．京阪本線：大和田駅下車，京阪バス「四條畷電通大行」約20分．JR学研都市線：四条畷駅下車，近鉄バス「四條畷電通大行」約10分．http://www.osakac.ac.jp/institution/access.html　TEL〔072〕876-5128（内線5188）　中村英夫）
議題　ME一般
1. トーン-エントロピー法による呼吸筋トレーニングが及ぼす心臓自律神経系活動の評価　○齋藤宏志・中村英夫（阪電通大）
2. 夜間就寝時における光電容積脈波センサのみを用いたカフレス血圧変動量推定　○近藤里帆・河中治樹・小栗宏次（愛知県立大）
3. 主成分分析を用いた映像酔い判別法に関する研究　○永井大地・木竜　徹（新潟大）
4. 筋シナジー基づく下肢筋活動評価のユビキタス化に向けた検討　○室井貴史・木竜　徹（新潟大）
5. 立体音響のための骨伝導の振動伝播解析　○松崎成敏・黒田嘉宏・浦西友樹・井村誠孝・大城　理（阪大）
6. 能動的画像処理を用いた生体組織細胞の位相差光学顕微鏡観察　○三宅泰広・日坂真樹・生田　孝（阪電通大）

◆日本生体医工学会；MEとバイオサイバネティックス研究会共催
☆MBE研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日
11月22日（金），23日（土）　東北大〔締切済〕テーマ：BCI／BMIとその周辺，一般
12月　岐阜大
1月　佐賀大
【発表申込先】　下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html
【問合先】
中村和浩（秋田県立脳血管研究ｾﾝﾀｰ）
〒010-0874　秋田市千秋久保田町6-10
TEL〔018〕833-0115，FAX〔018〕833-2104
E-mail：knam@akita-noken.jp

★応用音響研究会（EA）

専門委員長　岩谷幸雄　副委員長　三好正人・苣木禎史
幹事　戸上真人・水町光徳　幹事補佐　宮部滋樹

日時　10月11日（金）　13：00～15：45
会場　NTTコミュニケーション科学基礎研究所（相楽郡精華町光台2-4．http://www.kecl.ntt.co.jp/rps/access-keihanna.html　中谷智広）
議題
1. 時空間周波数領域クロストークキャンセラを用いた平行直線アレイによる音空間収録と再生　○岡本拓磨・榎本成悟・西村竜一（NICT）
2. 映像の有無を伴う音響反射板方式の音像定位精度の評価　○澤崎博章・山下春香・中谷彰皓・片桐　滋・大崎美穂（同志社大）
3. 〔招待講演〕Independent Component Analysis：Basic Theory and Recent Advances　Aapo Hyvarinen（Univ. Helsinki）

◆日本音響学会；電気音響研究会共催
◎16：00～17：00，NTTコミュニケーション科学基礎研究所ラボツアーを開催します．
☆EA研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日
11月14日（木），15日（金）　県立広島大〔未定〕テーマ：異種メディア融合，コンテンツ処理，メディア検索，電子透かし，一般
12月　金沢大〔未定〕テーマ：一般
1月　関西大〔未定〕テーマ：応用（電気）音響，超音波，一般（音響・超音波サブソサイエティ合同研究会）
【発表申込先】　下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html
【問合先】
水町光徳（九工大）
TEL〔093〕884-3245，FAX〔093〕884-3203
E-mail：mizumach@ecs.kyutech.ac.jp

★有機エレクトロニクス研究会（OME）

専門委員長　加藤景三　副委員長　松田直樹
幹事　森　竜雄・瀧本　清　幹事補佐　鴻野晃洋・井上振一郎

日時　10月11日（金）　10：00～17：00
会場　大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島4-3-53．京阪中之島駅より徒歩5分または地下鉄四つ橋線：肥後橋駅より徒歩10分．http://www.onc.osaka-u.ac.jp/index.php　TEL〔06〕6444-2100　中村雅一（奈良先端大））
議題　有機デバイス・センサ，一般
1. 埋め込み電極によるトップゲート型C8-BTBT FETの低電圧駆動化　○木村　友・永瀬　隆・小林隆史（阪府大）・瀧宮和男（広島大）・池田征明（日本化薬）・内藤裕義（阪府大）
2. フルオレン系有機発光トランジスタの銀ナノワイヤソースド

レイン電極による電気光学特性への影響　○平岡浩一・池添郁也・梶井博武・大森　裕（阪大）

3. 有機トランジスタを使用したRFID用アクティブアンテナの作製　○長谷川　奨・磯田俊介・橋詰貴裕・山内　博・酒井正俊・國吉繁一・飯塚正明・工藤一浩（千葉大）

4. FDTD法によるOFET型THzセンサの電磁界解析　○上田智也（奈良先端大）・李　世光（千葉大）・鈴木　諒（奈良先端大）・藤井勝之（南山大）・松原亮介・中村雅一（奈良先端大）

5. 時間領域差分法を用いたコレステリックブルー相液晶の光学特性解析　○小川康宏・吉田浩之・尾崎雅則（阪大）

午後（12：40〜）

6. 真空中におけるイオン液体の蒸気圧測定と蒸発モデルの提案　○綾野真人・小柴康子・三崎雅裕・石田謙司（神戸大）

7. イオン液体電極を用いた有機強誘電体の電気特性評価　○広沢啓介・小柴康子・三崎雅裕・石田謙司（神戸大）

8. 有機多結晶膜における移動度制限要因の新規解析方法　○松原亮介・中村峻介・落合慧紀・中村雅一（奈良先端大）

9. ポリマーゲート絶縁膜を用いたフルオレン系有機発光トランジスタにおける絶縁層／半導体層界面の影響　○伊勢雅人・池添郁也・平岡浩一・田中　仁・梶井博武・大森　裕（阪大）

10. P3HT : C70複合体の光起電力特性における組成依存性　多田和也（兵庫県立大）

11. アルキルメトキシシランを用いた簡便なグラフェン誘導体の合成と分散性の評価　○大竹亜紗美・坂口幸一・内野聖子（佐賀大）・明渡邦夫（豊田中研）・江良正直（佐賀大）

12. 光電子分光法を用いた有機／金属界面における電子放出現象に関する研究　○田中仙君（近畿大）・大谷知宏・廣光一郎（島根大）

13. 熱刺激電流測定法による有機気光学デバイスの熱安定性の評価　○杵村和彦・池本龍馬（東工大）・大友　明・山田俊樹（NICT）・田口　大・間中孝彰・岩本光正（東工大）

14. グラヤノトキシンによる培養筋肉の電界誘起収縮運動の抑制　○宇戸禎仁・アルムフティ バヤーン・井上恵美・寺井忠正（阪工大）

15. ネマチック及びカイラルネマチック液晶の光学組織における不均一性のセキュリティ応用　○中山敬三（近畿大）・大坪順次（静岡大）

16. ホスホン酸SAMを用いた銅フタロシアニンの配向制御　○大西俊輝・小柴康子・三崎雅裕・石田謙司（神戸大）

17. CuPcナノ柱状構造の作製　○前川侑大・前田篤志（阪府大高専）・武藤浩行・松田厚範（豊橋技科大）

☆OME研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日

11月22日（金）　機械振興会館〔締切済〕テーマ：光機能性有機材料・デバイス，光非線形現象，一般

12月17日（火）　機械振興会館〔締切済〕テーマ：電池，電気化学，表面修飾，触媒，界面その場測定，キャパシタ

【問合先】

森　竜雄（愛知工大）

E-mail：t2mori@aitech.ac.jp

瀧本　清（ｷﾔﾉﾝ）

E-mail：takimoto.kiyoshi@canon.co.jp

★情報ネットワーク研究会（IN）

専門委員長　浅見　徹　副委員長　小林秀承

幹事　五十嵐弓将・荒井大輔　幹事補佐　野村啓仁・大下裕一

日時　10月17日（木）　14：30〜16：45

18日（金）　10：30〜13：50

会場　大阪大学吹田キャンパス銀杏会館（吹田市山田丘2-2．JR茨木駅から近鉄バスで「阪大病院・阪大本部前」行きに乗車．終点「阪大本部前」下車．http://www.med.osaka-u.ac.jp/jpn/access/index.html）

議題　障害対策・BCP，信頼性技術，セキュリティ・プライバシー保護技術，認証／ID管理，Webサービス／SOA／ROA基盤，ソーシャルネットワーク（SNS）及び一般

17日

1. 異種分散Webサービスに基づくコンテキストアウェアサービスの管理フレームワークの提案　○高塚広貴・まつ本真佑・佐伯幸郎・中村匡秀（神戸大）

2. トラヒック予測を考慮したマルチパス制御の検討と評価　○大歳達也・大下裕一・村田正幸（阪大）・高橋洋介・上山憲昭・石橋圭介・塩本公平（NTT）・橋本智昭（阪大）

3. Improving VANET unicast routing protocols by using cooperative relays and network coding　○Celimuge Wu・Satoshi Ohzahata（Univ. of Electro-Comm.）・Yusheng Ji（NII）・Toshihiko Kato（Univ. of Electro-Comm.）

4. 〔招待講演〕　進化可能な情報ネットワークの構築に向けて　村田正幸（阪大）

18日午前

1. 突発的災害時における緊急避難情報の瞬時交換・共有のための等数指向型マルチホップ制御方式　○片山哲誌・今西亮太・藤本まなと・一谷　謙・和田友孝（関西大）・崔　永福（東明大）・岡田博美（関西大）

2. ERESS（非常時緊急救命避難支援システム）におけるDFTを用いた災害発生自動検出アルゴリズム　○樋口裕子・藤村　純・中村隆文・小郷克文・津高健太郎・和田友孝（関西大）・大月一弘（神戸大）・岡田博美（関西大）

3. ERESS（非常時緊急救命避難支援システム）における加速度・角速度センサとSVMを用いた被災者行動の状態判定アルゴリズム　○藤村　純・中村隆文・樋口裕子・小郷克文・津高健太郎・和田友孝（関西大）・大月一弘（神戸大）・岡田博美（関西大）

18日午後

4. 既存ソケットアプリケーションをIDベース通信可能とするミドルウェアの実装と評価　○福島裕介・ベド カフレ・原井洋明（NICT）

5. グローバルIXトラヒック収集・分析・公開システムの開発　○山下雅人・八名和夫・上田崇介（法政大）

☆IN研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日

11月21日（木），22日（金）　熊本大〔締切済〕テーマ：ホームネットワーク，ユビキタスネットワーク，モバイルネットワーク，クラウドコンピューティング，コンテキストウェア，位置情報サービス，e-コマース，モバイルアプリケーション及び一般

12月19日（木），20日（金）　広島市大〔10月11日（金）〕テーマ：性能評価とシミュレーション，信頼性技術，スループットやトラヒックの計測，品質（QoS）制御，輻輳制御，トラヒック・フロー制御，オーバーレイネットワーク・

P2P，IPv6，マルチキャスト，ルーチング，DDoS 及び一般

1 月 23 日（木），24 日（金） 名古屋国際センター〔11 月 8 日（金）〕テーマ：ネットワークソフトウェア，コンテンツ配信／流通，ソーシャルネットワーク（SNS），データ分析・処理基盤，ビッグデータ及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐
E-mail：in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org
五十嵐弓将（NTT）
TEL〔0422〕59-2873，FAX〔0422〕59-5671
野村啓仁（NTT）
TEL〔0422〕59-3946，FAX〔0422〕59-5671

◎IN 研究会ホームページ
http://www.ieice.org/cs/in/jpn/

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できません．原稿の提出が締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり，原稿なしでの御発表となります．ただし，原稿未提出の場合，講演中止とする場合もあります．

★クラウドネットワークロボット研究会（CNR）

委員長　萩田紀博　副委員長　土井美和子・今井倫太
幹事　宮下敬宏・神原誠之　幹事補佐　中尾敏康・坂本大介

期日　10 月 17 日（木），18 日（金）
会場　グランフロント大阪
議題　オープンソースソフト／ハードとサービスを繋ぐクラウドネットワークロボティクス

1. rospeex：サービスロボットのためのクラウド型音声コミュニケーションツールキット　○杉浦孔明・堀　智織・是津耕司（NICT）

他，数件の発表あり

◎開催プログラム等は CNR 研究会の HP 等で御確認下さい．

★光ファイバ応用技術研究会（OFT）

専門委員長　冨田　茂
幹事　泉田　史・大塚健一郎　幹事補佐　山田裕介・大村真樹

日時　10 月 24 日（木） 13：00～17：55
25 日（金） 9：25～12：00

会場　エルトピア奈良（奈良市西木辻町 93-6．JR 奈良駅（東出口）から徒歩 10 分．近鉄奈良駅から，9 番乗り場でバス（市内循環・内回り）に乗り，「瓦町バス停」下車すぐ．http://www.pref.nara.jp/15735.htm　TEL〔0742〕26-6900）

議題

24 日

1. 全光クロック再生を用いた RZ-OOK/RZ-DPSK フォーマット変換　○岡　直哉・松浦基晴（電通大）
2. チャープを伴わない光フーリエ変換を用いた低歪み光可変遅延線　○堀込亮平・來住直人（電通大）
3. 半導体光増幅器の光波形変換においてポンプ光に RZ-DPSK を用いた場合の特性検証　○土居祐太・來住直人・松浦基晴（電通大）
4. 非線形光ループミラーと縮退四光波混合を用いた光サンプリング方式の時間分解能に関する検討　○渡辺真也・三好悠司・大橋正治・久保田寛和（阪府大）
5. ルーラルエリア向け架空配線用ケーブルの開発　○大野昌史・松澤　隆・福手貴朗・伊佐地瑞基・工藤由人・塩原　悟・山中正義・岡田直樹・森岡寛遵・菊地秀夫（ﾌｼﾞｸﾗ）
6. ルーラルエリアに対応したコネクタ付光ファイバケーブル　○舌間誠二（SEI ｵﾌﾟﾃｨﾌﾛﾝﾃｨｱ）・沖　宣直（日本通信電材）・高見正和・宮野　寛・大塚健一郎・佐野知巳・上田知彦（住友電工）
7. ダブルクラッド光ファイバを用いた光給電型光ファイバ無線伝送　○佐藤　淳・松浦基晴（電通大）
8. 〔招待講演〕 国際会議 OFS-22 参加報告　村山英晶（東大）
9. 遠端反射ブリルアン利得解析による接続損失測定法　○高橋　央・戸毛邦弘・伊藤文彦・鬼頭千尋（NTT）
10. ハイブリッドラマン増幅によるパッシブ光アクセス網の高度化　加島宜雄（芝浦工大）
11. タブレット端末を用いた保守作業支援のための AR ナビゲーションシステム　○大串幾太郎・片山和典・真鍋哲也（NTT）

25 日

1. 〔フェロー記念講演〕 ブリュアン散乱を応用した光ケーブルの評価技術と分布型光ファイバセンサ　堀口常雄（芝浦工大）
2. トレンチ型曲げ不感マルチモードファイバのモード解析と実験　○相葉孝充（茨城大）・若林知敬（矢崎総業）・田中正俊（三菱電線）・小山田弥平（茨城大）
3. Few-mode ファイバにおける実効遮断波長の測定に関する検討　○半澤信智・馬　麟・辻川恭三・山本文彦（NTT）
4. マルチコア光ファイバのコア形状パラメータとクロストークの関係　○山本修平・大橋正治・三好悠司（阪府大）
5. 六角孔フェルールを用いたマルチコアファイバ接続　○八若正義・田中正俊・藤巻洋介・谷口浩一（三菱電線）

◎24 日研究会終了後，懇親会を予定していますので御参加下さい．

☆OFT 研究会今後の予定 〔　〕内発表申込締切日

11 月 21 日（木），22 日（金） 長岡技科大〔締切済〕テーマ：光アクセスシステム・次世代 PON，地上・衛星放送システム，衛星通信システム，CATV システム，イーサネット，伝送監視制御，光ファイバケーブル・コード，通信用光ファイバ，光線路保守監視・試験技術，光ファイバ測定技術，地上・衛星放送関連デバイス・機器・設備，家庭用受信デバイス・機器，ホーリーファイバ，機能性光ファイバ，光ファイバ線路構成部品，光回路部品，周波数有効利用技術，変復調技術，電磁界解析及びシミュレーション技術，無線・光伝送境界領域，光ケーブル布設技術，光ファイバ線路設計技術，光ファイバ線路構成部品信頼性，空間・可視光伝送，一般

1 月 23 日（木），24 日（金） 東京〔11 月 1 日（金）〕テーマ：一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】

大村真樹（住友電工）
TEL〔045〕853-7167，FAX〔045〕851-1565
E-mail：ohmura@sei.co.jp

◎OFT 研究会では，2011 年 1 月より「奨励賞」，「学生奨励賞」を新設しました．一般講演の中から選定しますので，積極的な御投稿をお願い致します．選奨規定については，OFT ホーム

ページを参照下さい．
http://www.ieice.org/cs/oft/jpn/

★ソフトウェア無線研究会（SR）

専門委員長　阪口　啓　副委員長　藤井威生・梅林健太
幹事　亀田　卓・田久　修
幹事補佐　石津健太郎・矢野一人・稲森真美子

日時　10月24日（木）　10：00～16：50
25日（金）　9：00～16：45
会場　大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島4-3-53．JR大阪駅から徒歩25分．http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/img/map_jn.pdf　衣斐信介）
議題　技術展示，製品展示，ソフトウェア無線機，無線ハードウェア技術，国際ワークショップ，一般
24日午前　技術展示・製品展示紹介
24日午後　技術展示
1.〔技術展示〕 周波数共用型コグニティブ無線システムのネットワーク性能評価を可能とするネットワークシミュレータの開発　○大島浩嗣・西浦升人・山口純市（構造計画研）
2.〔技術展示〕 共同干渉キャンセルを行うMU-MIMOシステムの伝送実験　○藤本裕真・篠原　諒・村田英一（京大）
3.〔技術展示〕 ワンセグ放送を用いたプライマリユーザ保護に関する検証実験及び屋内エミュレーション　○草刈徳之・安藤圭佑・塚本和也・鶴　正人・尾家祐二（九工大）・北村優行・中川洸佑・稲毛　契・藤井威生（電通大）・関　幸一・クレモ ハリス・アルトゥンタシュ オヌル・田中英明（ﾄﾖﾀIT開発ｾﾝﾀｰ）
4.〔技術展示〕 IEEE802.11afとIEEE802.22を用いて一次利用局及び二次利用局と共存が可能なホワイトスペース通信ネットワーク　○石津健太郎・Zhou Lan・Ha Nguyen Tran・Keiichi Mizutani・Stanislav Filin（NICT）・長谷川圭吾・竹川雅之・柳澤　慶・トウ キャートベン・佐々木誠司・浅野勝洋（日立国際電気）・村上　誉・原田博司（NICT）
5.〔技術展示〕 ディペンダブル・エアのための周波数領域等化器のASIC実装と評価　○窪庭純平・小松和寛・三宅裕士・亀田　卓（東北大）・岩田　誠（高知工科大）・平　明徳・末松憲治・高木　直・坪内和夫（東北大）
6.〔技術展示〕 送受信ビームフォーミングを用いたMIMOコグニティブ無線システムの試作及び評価　○岩田亮介・ヴァ ヴッター（東工大）・阪口　啓（阪大）・荒木純道（東工大）
7.〔技術展示〕 広帯域周波数センシングを実現する無線プラットフォームの提案　○芝　宏礼・山口　陽・山田貴之・加保貴奈・俊長秀紀・中川匡夫・上原一浩（NTT）
8.〔技術展示〕 Time-Based型ADC（TAD）を用いたRF受信IC　○寺澤智仁・神谷有志・川島宏之・鈴木正信・渡辺高元・澤田　学（ﾃﾞﾝｿｰ）・Hou YU・廣岡慶之・Ninh Hong Phuc・宮原正也・松澤　昭（東工大）

招待講演
9.〔招待講演〕 柔軟なヘテロジニアスネットワーク構築に向けて　三瓶政一（阪大）

25日午前　一般講演
1. TVホワイトスペース帯無線通信システムにおける適応時間軸ウインドウイング処理に基づく送信電力制御　○水谷圭一・原田博司（NICT）
2. TVホワイトスペース利用無線LANシステムIEEE 802.11af/D5.0準拠ハードウェア試作機　○水谷圭一・松村　武・石津健太郎・藍　洲・村上　誉・原田博司（NICT）
3. 無線リソース減少時のデータ送出タイミング制御による複数デバイス同時送信時の輻輳回避手法の一検討　○塚本悟司・前田隆宏・宮坂朋宏・伴　弘司・有吉正行・小林　聖（ATR）
4. 各種無線通信のブロードバンド化と周波数有効利用について―LTEへの集約―　古谷之綱（東工大）

招待講演
5.〔招待講演〕 異種無線ネットワークにおける効率的周波数共用　木下和彦（阪大）

25日午後　一般講演（13：35～）
6. Outage in Primary Service due to Secondary Transmissions　Foo YeeLoo（MMU, Malaysia）
7. Joint Antenna Selection and Power Allocation for Distributed-STBC Cognitive Small Cell Networks　○Massa Ndong・Takeo Fujii（Univ. of Electro-Comm.）
8. A Study on Static Terahertz Channel Modeling for Nanosensor Communication　○Joonas Kokkoniemi・Janne Lehtomaki（Univ. Oulu）・Kenta Umebayashi（Tokyo Univ. of Agriculture and Tech.）
9. UHF帯用低アンテナ高近距離での電波伝搬測定　○菅　智茂（東工大）・沢田浩和・宋　春毅・原田博司（NICT）・高田潤一（東工大）
10. UHF帯建物侵入損及び透過損測定　○沢田浩和（NICT）・菅　智茂（東工大）・宋　春毅・原田博司（NICT）
11. コグニティブ車車間ネットワークにおけるデータベース連携型協調センシング　○大上裕也・北村優行・稲毛　契・藤井威生（電通大）
12. ヘテロジニアス型コグニティブ無線を適用する公共用移動通信システムの同期取得を兼ねたビット誤り率改善方式の検討　○森山雅文・藤井威生（電通大）

◎SR研が後援する下記の国際ワークショップが同一会場にて10月23日（研究会前日）に開催されますので，こちらも合わせて御参加下さい．（詳細は後日公開予定）
International Workshop on Cloud Cooperated Heterogeneous Networks―Union of Large Coverage at Micro-wave and Ultra Wideband at Mm-wave―
◎24日研究会終了後に懇親会を予定していますので是非御参加下さい．
☆SR研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日
1月23日（木），24日（金）　東北大〔11月8日（金）〕テーマ：コグニティブ無線，ソフトウェア無線，M2M/D2D，標準化，一般
【発表申込先】　下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html
【問合先】
矢野一人（ATR）
TEL〔0774〕95-1578，FAX〔0774〕95-1508
E-mail：yano@m.ieice.org
◎最新情報はSR研究会のホームページを御覧下さい．
http://www.ieice.org/cs/sr/jpn/

――四国支部における開催――

★非線形問題研究会（NLP）

専門委員長　池口　徹　副委員長　小西啓治
幹事　神野健哉・薄　良彦　幹事補佐　木村貴幸・原　尚之

日時　10月28日（月）　9：30～18：00
29日（火）　9：30～17：45

会場　サンポートホール高松63会議室（高松市サンポート2-1. http://www.sunport-hall.jp/access/　TEL〔087〕825-5000 丹治裕一・北島博之（香川大））

議題

28日午前

1. 複数解探索を行うFirefly Algorithm　○上村昌史・松下春奈（香川大）
2. 2つのテンプレートを交互に配置したCNNでの画像処理の調査　○舛岡辰哉・夏野一成・上手洋子・西尾芳文（徳島大）
3. 切り替えテンプレートを用いた2層CNNによる動画像処理　○夏野一成・上手洋子・西尾芳文（徳島大）
4. 逆向きに抵抗結合された伝送線路を含むチュア回路の解析　○近藤直弥・上手洋子・西尾芳文（徳島大）
5. Schmitt Trigger確率共鳴受信機における微弱信号検出の性能評価　○千賀敬太・田中裕也・山里敬也（名大）・田所幸浩（豊田中研）・荒井伸太郎（香川高専）
6. 半円と楕円を組み合わせて構成した歪んだプリンテッド・スパイラル・インダクタを用いた変圧器　○棚田祐司・山内将行・西尾和貴（広島工大）
7. 一般化固有値問題の解法を用いたE級増幅器の動作モデリング　○亀井弘人・丹治裕一（香川大）
8. Resonant Converter with Class E_M Inverter　○Hiroo Sekiya・Tomoharu Nagasima（Chiba Univ.）・Xiuqin Wei（Fukuoka Univ.）

28日午後（13：30～）

9. 二次割当問題解法のパラメータ探索―粒子群最適化法とGPGPUを用いた場合―　○橘　俊宏（湘南工科大）・安達雅春（東京電機大）
10. 遺伝的アルゴリズムを用いた非線形スパース最適化―食材・配合量最適化問題の解法―　○佐藤仁樹（公立はこだて未来大）・佐藤雅子（ｲﾝｾﾝﾄ）
11. リング状に交差結合されたカオス回路にみられる同期現象の調査　○蔭山侃杜・上手洋子・西尾芳文（徳島大）
12. 異なるサイズのリング状結合発振器を結合させたときに観測される同期現象　○久米保奈美・上手洋子・西尾芳文（徳島大）
13. 連続最適化問題における解の数理構造（2）―最適解の必要十分条件と解の個数の個数の上（下）限評価―　○金光秀雄（北海道教大）・今井英明・宮腰政明（北大）
14. 正準型決定論的粒子群最適化法　神野健哉（日本工大）
15. Solution Decision Method of Quadratic Assignment Problem from Mutually Connected Chaotic Neural Network　○Takafumi Matsuura（Tokyo Univ. of Science）・Tohru Ikeguchi（Saitama Univ.）
16. カオスダイナミクスに従う粒子群による最適化手法について　○山仲芳和・坪根　正（長岡技科大）
17. 多角形構造による環状抑制形ネットワークの同期現象　○正地裕貴・上手洋子・西尾芳文（徳島大）
18. ロバスト有限時間M%整定制御について　○太田有三（神戸大）・トウ宇川（ｲｼﾀﾞ）・増淵　泉（神戸大）
19. 準周期解の分岐境界線について　○篠塚吉正・稲葉直彦（明大）・関川宗久（宇都宮大）・遠藤哲郎（明大）
20. 2次元格子状に結合された発振器に見られる同相同期と交互逆相同期が混在した状態における位相反転波動の伝搬と反射　○戸谷悦士・山内将行（広島工大）・西尾芳文（徳島大）
21. 親密度を用いた離散Firefly Algorithmと，そのQAPへの応用　○石川茉実・松下春奈（香川大）
22. 捕食者を加えた粒子群最適化での捕食範囲の調査　○犬飼規雄・井上拓也・上手洋子・西尾芳文（徳島大）

29日午前

1. 非同期同時振動発振器の結合系に見られる波動現象　○藤岡沙織（徳島大）・楊　暘（西安交通大）・上手洋子・西尾芳文（徳島大）
2. BVP発振器の結合方式による分岐と発振状態の特徴　○西内悠祐（高知高専）・上田哲史（徳島大）・川上　博（JST）
3. A network of asynchronous cellular automaton based neuron for prediction of spike trains　○Takashi Matsubara（Osaka Univ.）・Hiroyuki Torikai（Kyoto Sangyo Univ.）
4. 符号特性の電流源を含むカオススパイキング発振器のスパイク間隔特性の一考察　○田中貴裕・松岡祐介（米子高専）
5. 定電力負荷を伴う直流マイクログリッドシステムの遅延フィードバック制御　○小西啓治・杉谷栄規・原　尚之（阪府大）
6. 遅延フィードバックを有するヒステリシス区分定数回路　○眞鍋大地・坪根　正（長岡技科大）
7. 〔招待講演〕トラフィックダイナミクスに基づくネットワーク自己組織化　青木高明（香川大）

29日午後

8. 区分定数発振器の結合系に見られる同期現象と分岐の解析　○鈴木恵介・坪根　正（長岡技科大）
9. デジタルスパイクマップの動作の基本的な分類について　○斎藤利通・堀本成俊（法政大）
10. DS-netとアクティブニューロンモデルの有効性の検討　○早川吉弘・奥田　光（仙台高専）・渡邊裕斗・中島康治（東北大）
11. GPUを用いた高機能ニューラルネットワークの高速計算　○丹野航太（東北大）・早川吉弘（仙台高専）
12. 2種類のテンプレートを用いたセルラーニューラルネットワークの発振現象と固有値の関係について　○細川康輝（四国大）・西尾芳文（徳島大）
13. ニューロン新生が階層型ニューラルネットワークに及ぼす影響の調査　○横山裕太・生田智敬・上手洋子・西尾芳文（徳島大）
14. 励起と屈折を伴う量子波伝搬の古典粒子によるモデル化の試み　○川畑勇馬・藤坂尚登・神尾武司（広島市大）
15. 反射・透過・結合を伴う量子波伝搬の古典粒子によるモデル化の試み　○平見信之・藤坂尚登・神尾武司（広島市大）
16. Ω行列の系統的構成法に関する一考察　○高橋規一（岡山大）・西　哲生（早大）
17. 4次元自律系のバースト発振の解析　○稲葉純平（徳島大）・西内悠祐（高知高専）・上田哲史（徳島大）・川上　博（JST）
18. ノンコヒーレントカオス通信システムのための誤り訂正手法

の一検討　荒井伸太郎（香川高専）
19. 自立心を持つ粒子群最適化を使用した複雑ネットワークの最短経路探索　○石井陽子・松下春奈（香川大）
20. パタン形成を用いたランダムに配置されたセンサーの自律分散制御　○長尾英一郎・北島博之（香川大）
21. Constrained Maximum Likelihood Estimation in the Presence of Unknown Array Phase Errors　○Xiang Cao・Yoko Uwate・Yoshifumi Nishio（Tokushima Univ.）・J. Xin（Xi'an Jiaotong Univ.）
22. 一次元座標上に配置されたカオス回路ネットワークにみられる同期現象について　○塩本　純・上手洋子（徳島大）・オット トーマス（ﾁｭｰﾘｯﾋ応用科学大）・西尾芳文（徳島大）

☆NLP 研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日
12 月 6 日（金），7 日（土）　City Univ. of Hong Kong〔10 月 16 日（水）〕テーマ：一般
1 月 21 日（火），22 日（水）　ニセコパークホテル〔11 月 11 日（月）〕テーマ：一般

【発表申込先】　下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
神野健哉（日本工大）
TEL〔0480〕33-7659，FAX〔0480〕33-7680
E-mail：jinno@nit.ac.jp

――九州支部における開催――

★信頼性研究会（R）

専門委員長　木村光宏　副委員長　馬渡宏泰
幹事　安里　彰・岡村寛之
幹事補佐　田村信幸・マラット ザニケエフ

日時　10 月 18 日（金）　13：30～17：10
会場　九州工業大学サテライトキャンパス kyutech プラザ（福岡市中央区天神 1-7-11 イムズ 11 階．http://www.kyutech.ac.jp/facilities/satellite-campus/　TEL〔050〕3650-6665　廣瀬英雄）
議題　信頼性一般
1. PoP : Prediction on Prediction　廣瀬英雄・作村建紀・○小柳祐貴（九工大）
2. A Neural Network Model for Forecasting Precipitation Extreme　○Junaida Sulaiman・Hideo Hirose（Kyushu Inst. of Tech.）
3. A Mathematical Deterioration Model for the Thermal Stress　○Hideo Hirose・Takenori Sakumura（Kyushu Inst. of Tech.）
4. クラウドコンピューティングに対するトラフィック依存型ジャンプ拡散モデルに基づく最適メンテナンス問題　○田村慶信（山口大）・山田　茂（鳥取大）
5. システムの共通原因故障率の推定について　○弓削哲史・柳　繁（防衛大）
6. 日本における年間ぬれ時間の経年変化分析　○外間正浩・澤田　孝（NTT）
7. Black Swan Based VM Placement and Migration Optimizations in Clouds—Towards Reliability Profiling of Multi-VM Applications, Data Centers, and Clouds—　Marat Zhanikeev（Kyushu Inst. of Tech.）
8. メッカ巡礼後の MERS 感染拡大予測　○徳貞美子・徳永正和・作村建紀・廣瀬英雄（九工大）
9. Rainfall Intensity Forecasting using the Multiple-input Transfer Function with Application to Makassar Case from 2001 to 2010　○Herdianti Darwis・Hideo Hirose（Kyushu Inst. of Tech.）
10. EM タイプ IRT を用いて不完全マトリクスから完全マトリクスを推定する方法について　○作村建紀・廣瀬英雄（九工大）

◆IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催　日本信頼性学会協賛

☆R 研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日
11 月 14 日（木）　中央電気倶楽部〔締切済〕テーマ：半導体と電子デバイスの信頼性，信頼性一般
12 月 13 日（金）　機械振興会館〔10 月 16 日（水）〕テーマ：信頼性国際規格，保全性，信頼性一般

【発表申込先】　下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
安里　彰（富士通）
E-mail：asato@jp.fujitsu.com

★衛星通信研究会（SAT）

専門委員長　上羽正純　副委員長　樫木勘四郎・豊嶋守生
幹事　山下史洋・今田諭志

日時　10 月 24 日（木）　9：30～17：40
25 日（金）　9：00～17：35
会場　IP CITY ホテル福岡（福岡市博多区中洲 5-2-18．地下鉄福岡空港線：中洲川端駅（2 番出口）から徒歩 1 分．http://www.iphotel.co.jp/index.php）
議題　衛星通信技術及び一般（JC-SAT 2013）

24 日午前　Current Status and Future Plans-1
1. Opening Remarks-1 from Japan　Masazumi Ueba（Muroran Inst. of Tech.）
2. Opening Remarks-2 from Korea　Jong Won Eun（Namseoul Univ.）
3.〔基調講演〕 Recent Topics in Standardization Activities and Studies of Satellite Related Agenda Items of WRC-15 in ITU-R Study Group 4　Nobuyuki Kawai（KDDI）
4.〔基調講演〕 A New Roadmap for Satellite Development in Korea　○Ho-Jin Lee・Hee Wook Kim・Do-Seob Ahn（ETRI）

Current Status and Future Plans-2
5. On recent trends in systems and technologies of mobile satellite communications　○Amane Miura・Hiroyuki Tsuji・Maki Akioka・Takashi Takahashi・Naoko Yoshimura・Shinichi Taira・Morio Toyoshima・Naoto Kadowaki（NICT）
6. Recent R & D Activities for Integrated Satellite/Terrestrial Communication in Satellite 2 GHz Bands　○Hee Wook Kim・Kunseok Kang・Bon-Jun Ku・Ho-Jin Lee（ETRI）

24 日午後　Satellite Communication Systems and Applications
7. Development and performance test of DBF/Channelizer for

STICS ○Yu Ito・Hajime Fukuchi（Tokyo Metropolitan Univ.）・Teruaki Orikasa・Amane Miura（NICT）

8. On very small satellite mission SOCRATES for space optical communicationexperiment ○Maki Akioka・Yoshihisa Takayama・Yoshisada Koyama（NICT）・Akira Miyake・Mamoru Yamada（AES）

9. Dynamic Replication Control with Load Mitigation of Satellite Communication in Disruption-Tolerant Networks ○Asato Takahashi・Hiroki Nishiyama・Nei Kato（Tohoku Univ.）・Katsuya Nakahira・Takatoshi Sugiyama（NTT）

Satellite System Technologies

10. A Study on the Architectural Design of the Environmental Ground Station System for GEO-KOMPSAT-2B ○Jong Won Eun（Namseoul Univ.）・Chang-Keun Song・Sang-Deok Lee（Climate and Air Quality Research Department National Inst. of Environmental Reaserch）

11. Development of GNSS Position Accuracy Simulation System（GPASS）Using 3-D Building Maps, Signal Propagation Model, and the Receiver Correlator Model ○Yang-Won Lee（PKNU）・Ryosuke Shibasaki（Univ. of Tokyo）

12. Using Virtualization Technologies for Satellite Ground Segments ○Soojeon Lee・Won Chan Jung・Byoung-Sun Lee・Doseob Ahn（ETRI）

Disaster Recovery Operations

13. Satellite Communication Networks Valid for Disaster Recovery Noriharu Suematsu・Suguru Kameda・Hiroshi Oguma（Tohoku Univ.）・Mitsuru Sasanuma（SJC）・Shigeru Eguchi（ISB）・○Hideki Nakane（CCI）

14. Development of the data communications solution by WIDESTAR II in disaster restoration ○Shinichi Sasaki・Toshiyuki Kanekiyo・Yoshinori Nakasuga・Naohito Yamajou・Kenji Kamogawa（NTT DOCOMO）

15. Field Trials on Wireless Bridge Using Small Unmanned Aircrafts to Provide Telecommunications to Isolated Areas in Large-Scale Disasters ○Ryu Miura・Ken-ichi Takizawa・Fumie Ono・Mikio Suzuki・Hiroyuki Tsuji（NICT）

16. A novel MSS communication device for smartphones ○Dae Il Oh・Jae Pil Lee・Young Min Kim・Jin Hyo Park・Jang Soo Ryoo（APSI）

25 日午前　Satellite Communication Technologies-1

1. Multiple Symbol Differential Detection with Majority Decision Method for MDPSK in Rician Fading Channel ○Hiroyasu Ishikawa（Nihon Univ.）・Hideyuki Shinonaga（Toyo Univ.）

2. An APSK receiver with nonlinear distortion compensation for satellite communication systems Minoru Okada（NAIST）

3. Comparative Study of 16APSK and 16QAM Modulation for Return Link Burst Transmission via Satellite ○Pansoo Kim・Deock-Gil Oh（ETRI）

Satellite Communication Technologies-2

4. Synchronization Methods for Satellite Communications—In search of ideal phase-lock techniques— Osamu Ichiyoshi（HNfB21C）

5. Study on Input Channel Filter and Output Multiplexer for Satellites Payload ○Changsoo Kwak・Hong-Yeol Lee・Manseok Uhm・Inbok Yom（ETRI）

6. The development of Demodulator for Data collection platforms（DCP）in Himawari ground station ○Takeshi Nakao・Koji Tomitsuka・Takanori Shoji・Hideyuki Tanaka・Tsuyoshi Fuji（Mitsubishi Electric）

25 日午後　Antenna Technologies and Propagation Analysis-1

7. Study on Flexible Output Power Control for Ka Band Satellite Payload ○Manseok Uhm・Sohyeun Yun・Seongmo Moon・Honggu Ji・Donghwan Shin・Inbok Yom（ETRI）

8. Comparison of Dynamic Resource Management schemes with Active Beam Selection for Multi-beam Satellite Networks ○Unhee Park・Hee Wook Kim・Dae Sub Oh・Bon-Jun Ku（ETRI）

9. A study of Ka band high throughput satellite Yoichi Koishi（NEC）

Antenna Technologies and Propagation Analysis-2

10. Experimental result of Distributed Array Antenna contoroller for ESV employing 3 antennas ○Kouhei Suzaki・Takashi Hirose・Takatoshi Sugiyama（NTT）

11. In-Beam Rain Statistics for Adaptive Satellite Power Control Scheme ○Hajime Fukuchi・Shu Hanada（Tokyo Metropolitan Univ.）

12. Analysis of ionospheric layer for improving GPS signal reception ○Jin-Ho Jo・Moon-Hee You・Cheol-Oh Jeong・Yong-Min Lee（ETRI）・Hwan-Sang Lee（NRRA）

Antenna Technologies and Propagation Analysis-3

13. A study of effect analysis of Satellite Anomaly Events affected by Space Environment ○Cheol-Oh Jeong・Moon-Hee You・Jin-Ho Jo・Yong-Min Lee（ETRI）・Hwan-Sang Lee（NRRA）

14. Evaluation of Time-Diversity Scheme Using Rain Radar Data Over Japan ○Takuya Shiba・Hajime Fukuchi（Tokyo Metropolitan Univ.）

15. A study on the effects of ground and upper atmospheric wind speed on rain attenuation characteristics in Ku-band satellite communications links ○Yasuyuki Maekawa・Yutaka Inamori・Takashi Harada・Yoshiaki Shibagaki（Osaka Electro-Com. Univ.）

16. Closing Remarks-1 from Japan Kanshiro Kashiki（KDDI Labs.）

17. Closing Remarks-2 from Korea Doseob Ahn（ETRI）

◆Korea Society of Space Technology（KOSST）連催

【問合先】

SAT 研究会幹事
E-mail：sat_ac-sec@mail.ieice.org
山下史洋（NTT）
TEL〔046〕859-2093，FAX〔046〕855-1752
今田諭志（KDDI 研）
TEL〔080〕6744-6252，FAX〔03〕6678-0457

★光通信システム研究会（OCS）

専門委員長　水落隆司　副委員長　富澤将人
幹事　乾　哲郎・斎藤恒聡

★光エレクトロニクス研究会（OPE）

専門委員長　山田博仁　副委員長　鈴木扇太
幹事　橋本俊和　幹事補佐　荒川太郎・中川剛二

★レーザ・量子エレクトロニクス研究会（LQE）

専門委員長　松尾慎治　副委員長　近藤正彦
幹事　田中　有・有賀　博

日時　10 月 24 日（木）　9：30～19：05
25 日（金）　9：20～18：30

会場　門司港・海峡ロマンホール（北九州市門司区東港町 6-72. JR 門司港駅から徒歩 2 分．http://www.kanmon-mojiko.com/access/　水波　徹（九工大））

議題　超高速伝送，変復調，分散補償技術，超高速光信号処理技術，広帯域光増幅，WDM 技術，受光デバイス，高光出力伝送技術，及び一般（ECOC 報告）

24 日午前

1. Si/SiO_2 曲線方向性結合器を用いた結合特性の波長依存性低減　○森野久康・丸山武男・飯山宏一（金沢大）
2. イオン注入法を用いたサブバンド間遷移超高速全光ゲートスイッチの高性能化　○秋本良一・Feng Jijun・牛頭信一郎・物集照夫・石川　浩（産総研）
3. 石英導波路型 100 GHz 間隔 40-λ 1×4 波長選択スイッチ　○吉田健将・浅倉秀明（慶大）・水野隆之・高橋　浩（NTT）・津田裕之（慶大）
4. 電気光学ポリマーを使った光導波路スイッチへの応用　横山士吉（九大）
5. マルチモードポリマー光導波路におけるクロストーク解析　○工藤拓也・石榑崇明（慶大）
6. MMI（Multi-Mode Interference）型導波路を利用した段差型擬似 LP21 モードコンバータ　○茶円　豊・田中涼太・浜本貴一（九大）

24 日午後（13：15～）

7. 〔招待講演〕 ECOC2013 報告―基幹伝送関連―　○五十嵐浩司・釣谷剛宏（KDDI 研）
8. 〔招待講演〕 ECOC2013 報告―光アクセス関連―　吉田智暁（NTT）
9. 〔招待講演〕 ECOC2013 報告―光ネットワーク関連―　小田祥一朗（富士通研）
10. 〔招待講演〕 ECOC2013 報告―光ファイバ関連―　宮部　亮（古河電工）
11. 〔招待講演〕 ECOC2013 報告―パッシブモジュール／デバイス関連―　阿部宜輝（NTT）
12. 〔招待講演〕 ECOC2013 報告―アクティブデバイス関連―　松浦裕之（産総研）
13. MCF コネクタの接続特性　○境目賢義・長瀬　亮（千葉工大）・渡辺健吾・斎藤恒聡（古河電工）
14. ビスマスベース波長可変短パルス能動モード同期ファイバリングレーザの特性評価　村井　透（東京理科大）
15. 空間位相変調器を用いた広帯域 PMD/PDL ベクトルエミュレータ　○神田祥宏・村井　仁（OKI）
16. コヒーレントレシーバの高感度化に向けた 90° ハイブリッド集積型受光素子　○米田昌博・井上尚子・八木英樹・増山竜二・勝山智和・菊地健彦・大西　裕・立岩義弘・武智　勝・小路　元（住友電工）
17. InGaAlAs EAM を集積した並列リング共振器型波長可変レーザによる 25 Gbit/s 波長ルーティング型光パケットスイッチ　○瀬川　徹・小林　亘・中原達志・高橋　亮（NTT）
18. 高出力レーザによるレンズ調芯手法を用いたハイブリッド集積多チャネル光送信モジュール開発　○村尾覚志・安井伸之・望月敬太・下野真也・小寺秀和・森田大輔・大和屋　武・有賀　博（三菱電機）
19. 偏波多重を用いた 100 GbE 用光送信モジュール（TOSA）　○大山貴晴・大木　明・高畑清人・伊藤敏夫・布谷伸浩・藤澤　剛・金澤　慈・伊賀龍三・三条広明（NTT）

25 日午前

1. 一方向発振半導体リングレーザの実現に向けた TE モード半導体光アイソレータの性能評価　○阪西祥平・坂東敬広・清水大雅（東京農工大）
2. シリコンフォトニクス波長可変レーザーの高出力・安定動作　○北　智洋・根本景太・山田博仁（東北大）
3. 周波数掃引型光干渉断層計における周波数可変レーザの線幅の影響　○高嵜美文・黒田圭司・吉國裕三（北里大）
4. InAs 量子ドットの受光デバイス応用に関する検討　○梅沢俊匡・赤羽浩一・菅野敦史・川西哲也（NICT）
5. 25 Gbit/s 級 InAlAs アバランシェフォトダイオードの高性能化　○名田允洋・村本好史・横山春喜・石橋忠夫・松崎秀昭（NTT）
6. 導波路型 PD を用いた 1.3/1.55 μm 帯共用高速受信モジュール　○大畠伸夫・白尾瑞樹・有賀　博（三菱電機）

25 日午後（13：05～）

7. Y-00（光通信量子暗号）通信システムの大容量化に関する検討　○二見史生・広田　修（玉川大）
8. 光ファイバ通信における複数光検波器による受信感度の改善　神尾享秀（NICT）
9. 100/400 Gb/s ベース信号のトランスポートネットワークにおける設備コスト及び消費電力に関する一検討　○吉兼　昇・五十嵐浩司・釣谷剛宏（KDDI 研）
10. 遠隔励起 EDFA システムにおける全光型利得一定制御法の検討　○田中宏幸・北村　心・大西健太・田山恵一・信川友宏・増田浩次（島根大）
11. Demonstration of resonance frequency enhancement effect by using split pumping region in active multi-mode interferometer laser diode　○Mohammad Nasir Uddin・Takaaki Kizu・Yasuhiro Hinokuma・Kazuhiro Tanabe（Kyushu Univ.）・Akio Tajima（NEC）・Kazutoshi Kato・Kiichi Hamamoto（Kyushu Univ.）
12. 光増幅器を導入したキャビティリングダウン分光法に関する予備的検討　○辻野美樹・外薗裕仁・陳　嬌・浜本貴一（九大）
13. 赤外吸収分光用シリカハイメサ導波路の光分布評価　○外薗裕仁・陳　嬌・辻野美樹・浜本貴一（九大）
14. 金属周期構造におけるプラズモン共鳴吸収とその応用　○松田豊稔・小田川裕之・吉永圭介・木場信一郎（熊本高専）
15. 偏波ダイバーシティ・ガードバンドレス波長変換器の検討　○井上　崇・谷澤　健・並木　周（産総研）
16. 光周波数変換を用いた高精度な周波数スロットへの分散型多重　○加藤智行・岡部　亮（富士通研）・Thomas Richter・

Robert Elschner・Carsten Schmidt-Langhorst・Colja Schubert（HHI）・渡辺茂樹（富士通研）

17. コヒーレント光通信システムにおける多次元変復調方式の検討　○石村昇太・菊池和朗（東大）

18. フル C 帯 110.9-Tbit/s 6,370- km マルチコアファイバ伝送実験　○五十嵐浩司・竹島公貴・釣谷剛宏・高橋英憲・角田聖也・森田逸郎・鈴木正敏（KDDI 研）・土田幸寛・忠隈昌輝・前田幸一・齋藤恒聡・渡辺健吾・今村勝典・杉崎隆一（古河電工）

☆OCS 研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日

11 月 21 日（木），22 日（金）　長岡技科大〔締切済〕テーマ：光アクセスシステム・次世代 PON，地上・衛星放送システム，衛星通信システム，CATV システム，イーサネット，伝送監視制御，光ファイバケーブル・コード，通信用光ファイバ，光線路保守監視・試験技術，光ファイバ測定技術，地上・衛星放送関連デバイス・機器・設備，家庭用受信デバイス・機器，ホーリーファイバ，機能性光ファイバ，光ファイバ線路構成部品，光回路部品，周波数有効利用技術，変復調技術，電磁界解析及びシミュレーション技術，無線・光伝送境界領域，光ケーブル布設技術，光ファイバ線路設計技術，光ファイバ線路構成部品信頼性，空間・可視光伝送，一般

1 月 23 日（木），24 日（金）　八丈島〔11 月 8 日（金）〕テーマ：コア・メトロシステム，光アクセスシステム・次世代 PON，ブロードバンドアクセス方式，（広域）イーサネット，光伝達網（OTN），高速インタフェース，アナログ光伝送，量子通信，一般

【発表申込先】　下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】

斎藤恒聡（古河電工）
TEL〔0436〕42-1725，FAX〔0436〕42-9340
E-mail：tsune@ch.furukawa.co.jp

◎OCS ホームページ
http://www.ieice.org/~ocs/jpn-new/index.php

◎OCS 研究会では，2007 年より「光通信システム研究会　奨励賞」及び「光通信システム研究会　論文賞」を設立しました．毎年 9 月～翌年 8 月の OCS 研究会に投稿した論文を対象に選考し，翌年 12 月の光通信システムシンポジウムにて表彰します．詳しくは OCS ホームページを御覧下さい

☆OPE 研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日

11 月 22 日（金）　機械振興会館〔締切済〕テーマ：光機能性有機材料・デバイス，光非線形現象，一般

12 月 20 日（金）　機械振興会館〔10 月 16 日（水）〕テーマ：光パッシブコンポネント（フィルタ，コネクタ，MEMS），シリコンフォトニクス，一般

1 月 23 日（木），24 日（金）　同志社大（今出川）〔11 月 1 日（金）〕テーマ：光-無線融合 NW，新周波数（波長）帯デバイス，フォトニック NW・デバイス，フォトニック結晶，ファイバとその応用，光集積回路，光導波路素子，光スイッチング，導波路解析，一般

【発表申込先】　下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】

橋本俊和（NTT ﾌｫﾄﾆｸｽ研究所）
〒243-0198　厚木市森の里若宮 3-1
TEL〔046〕240-2044，FAX〔046〕240-2365
E-mail：hashimoto.toshikazu@lab.ntt.co.jp
荒川太郎（横浜国大）
〒240-8501　横浜市保土ケ谷区常盤台 79-5
TEL〔045〕339-4143，FAX〔045〕338-1157
E-mail：arakawa@ynu.ac.jp
中川剛二（富士通研）
〒211-8588　川崎市中原区上小田中 4-1-1
TEL〔044〕754-2643，FAX〔044〕754-2640
E-mail：gnakagawa@jp.fujitsu.com

◎OPE 研究会ホームページ
http://www.ieice.or.jp/es/ope/

◎OPE 研究会では，H18 年度より「学生優秀研究賞」を新設しました．学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しますので，積極的な御投稿をお待ちしています．詳細は研究会 HP を御覧下さい．

☆LQE 研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日

11 月 28 日（木），29 日（金）　阪大吹田キャンパス〔締切済〕テーマ：窒化物及び混晶半導体デバイス，及び一般

12 月 13 日（金）　機械振興会館〔10 月 14 日（月）〕テーマ：半導体レーザ関連技術，及び一般

1 月 23 日（木），24 日（金）　同志社大（今出川）〔11 月 1 日（金）〕テーマ：光-無線融合 NW，新周波数（波長）帯デバイス，フォトニック NW・デバイス，フォトニック結晶，ファイバとその応用，光集積回路，光導波路素子，光スイッチング，導波路解析，一般

【発表申込先】　下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】

田中　有（富士通研）
TEL〔046〕250-8251，FAX〔046〕250-8146
E-mail：yu_tanaka@jp.fujitsu.com
有賀　博（三菱電機）
TEL〔0467〕41-2906，FAX〔0467〕41-2519
E-mail：Aruga.Hiroshi@ab.MitsubishiElectric.co.jp

◎LQE 研究会ホームページ
http://www.ieice.org/~lqe/jpn/

◎LQE 研究会では平成 18 年度より「LQE 奨励賞」を設けました．対象は発表年度の 4 月 1 日時点で 32 歳以下の若手研究者（学生を含む）です．積極的に御投稿下さい．

★磁気記録・情報ストレージ研究会（MR）

専門委員長　杉田龍二
幹事　稲葉信幸・小出大一　幹事補佐　白鳥聡志・神邊哲也

日時　10 月 24 日（木）　13：40～16：50
25 日（金）　9：30～11：40

会場　福岡交通センタービル博多バスターミナル 9F 第 5 ホール（福岡市博多区博多駅中央街 2-1．JR 博多駅から徒歩 1 分，福岡空港から地下鉄で 8 分．http://www.f-kc.jp/index.php
TEL〔092〕802-3744　松山公秀（九大））

議題　ヘッド・スピントロニクス，一般

24 日

1. Can We Benefit from Solid State Drives in Rich Multimedia Content Processing, Storage and Streaming?
Marat Zhanikeev（Kyushu Inst. of Tech.）

2. シフト多重とペリストロフィック多重を複合した記録方式による高密度化　○長尾雄大・吉田周平・山本　学（東京理科大）

MR-3. 自己参照型ホログラフィックメモリにおける単一記録ホログラムの読み出し特性　○高林正典・江藤太亮（九工大）・文仙正俊（福岡大）・岡本　淳（北大）・岡本　卓（九工大）

MR-4. Ni/Co 垂直磁化膜の磁壁エネルギー　○豊木研太郎・白土　優・中谷亮一（阪大）

MR-5.〔招待講演〕 磁性元素を含まない Ge-Sb-Te 相変化メモリからの室温巨大磁気抵抗効果の出現　○富永淳二・ポール フォンス・コロボフ アレキサンダー（産総研）

25 日

MR-1. 磁壁による 2 進符号化データを用いたスピン波干渉型論理演算動作　○浦塚泰夫・大藪周平・陳　寰屹・彭　博・大槻一紗雄・田中輝光・松山公秀（九大）

MR-2. 熱影響下におけるマイクロ波アシストを利用した瓦記録に関する研究　○柏木翔太・大塚勇人・田中輝光・松山公秀（九大）

MR-3.〔招待講演〕 完全格子整合した磁気トンネル接合の巨大トンネル磁気抵抗効果—スピネル $MgAl_2O_4$ 系バリアの現状—　○介川裕章・猪俣浩一郎・三谷誠司（物材機構）

◆映像情報メディア学会；マルチメディアストレージ研究会連催，日本磁気学会；ナノマグネティクス専門研究会，IEEE CE Soc. Japan Chapter 併催

◎24 日研究会終了後，懇親会を予定しています．

☆MR 研究会今後の予定 〔　〕内発表申込締切日

11 月 15 日（金） 早大〔締切済〕テーマ：ハードディスクドライブ，一般

◎最新情報は，MR 研究会ホームページを御覧下さい．

http://www.ieice.or.jp/es/mr/jpn/index.html

★福祉情報工学研究会（WIT）

専門委員長　井野秀一　副委員長　泉　隆

幹事　和田親宗・酒向慎司・若月大輔

幹事補佐　雨宮智浩・伊藤　尚・梶谷　勇

日時　10 月 26 日（土） 13：00〜16：35

27 日（日） 8：20〜11：15

会場　霧島国際ホテル（霧島市牧園町高千穂 3930．鹿児島空港／JR 霧島神宮駅／JR 霧島温泉駅から路線バス・レンタカー・タクシー利用で，霧島国際ホテルまで約 30 分．http://www.kirikoku.co.jp/access/access.html　TEL〔099〕220-1111　岡村俊彦（鹿児島県立短大））

議題　福祉情報工学，人間工学，一般

26 日

1. タブレット端末を用いた認知症予防システムの効果的適用に関する一考察　○花田　涼・北越大輔・鈴木雅人（東京高専）
2. 振戦抑制のためのモデル化と手書きアシストへの応用　○今井　勝・楠田　衛・麻生晋併・大塚弘文・柴里弘毅（熊本高専）
3. 確率共鳴現象を利用した触覚知覚感度の向上効果に関する考察　○栗田雄一・末田大和（広島大）・上田　淳（ｼﾞｮｰｼﾞｱ工科大）・辻　敏夫（広島大）
4. 温冷覚同時刺激のための刺激呈示条件の検討　○半田匡識・和田親宗（九工大）
5. 電気刺激による把持力フィードバック制御　○島袋陽香理・田川善彦（九工大）
6. テレノイドによる高齢者支援—特別養護老人ホームへの導入の経過報告—　○桑村海光（阪大／ATR）・山崎竜二・西尾修一（ATR）・石黒　浩（阪大／ATR）
7. 装着型センサを用いた高次脳機能障がい者の運転技能評価システムに関する研究　○鳥山朋二・浦島　智・中村正樹（富山県立大）・野村忠雄・大島淳一・吉野　修（富山県高志ﾘﾊﾋﾞﾘ病院）・中山拓巳・刀祢翔平（富山県立大）
8. 少量のアルコール摂取による認知機能への影響及び生理反応　○三宅晋司・石　明寛（産業医大）・萩原知絵（済生会八幡総合病院）・倉岡宏幸（九工大）・伊豆英恵（酒類総合研）
9. 人間の認知特性に着目したデザイン評価手法の一提案　○茶木盛暢・山岡俊樹（和歌山大）
10. 脈波伝播時間とストレス評価との関係　○倉岡宏幸（九工大）・三宅晋司（産業医科大）・和田親宗（九工大）

27 日

1. 視覚障害児のための音の移動感を用いた線形図形の生成による図形教育への応用　○庄内慶一・杉本雅彦（拓殖大北海道短大）・清水道夫（長野県短大）・伊東一典（信州大名誉教授）
2. カラーレーションによる障害物知覚に影響を与える要因についての検討　○徳富悌志・上見憲弘（大分大）
3. 加齢による聴覚と発話の相互作用　水町光徳（九工大）
4. 等価電気回路と有限要素法を用いた呼吸音センサの設計　○城屋敷健志・和田親宗（九工大）
5. センサーによる位置推定と仮想点字ブロックを用いて視覚障害者を歩行支援する電子白杖　○古川裕士・濱川　礼（中京大）
6. 無線センサを用いた電気刺激による歩容改善支援システムの開発　○舟木一弘・柿本龍也（九工大）
7. 生活訓練のための視覚障害者向けタッチタイピングソフトウェアの導入実験とその評価　○濱口沙織・江崎修央（鳥羽商船高専）・石川充英・小林一哉・山崎智章（東京視覚障害者支援ｾﾝﾀｰ）
8. 嚥下障害者の咽頭相機能改善のための電気刺激　○田川善彦・林　幹悟・新田益大（九工大）・山本敏康（岡山理科大）

◆日本人間工学会九州・沖縄支部第 34 回大会共催

◎26 日 16：50〜18：05，27 日 11：30〜12：15 に人類働態学会；西日本地方会第 38 回大会が併催されます．プログラムは 10/1 以降，人類働態学会ホームページ http://www.humanergology.com/に掲示

◎26 日 19：00 から懇親会を企画しています．是非御参加下さい．

◎日本人間工学会九州沖縄支部では，学生の優れた発表を表彰しています．全発表終了後（27 日），表彰式を行いますので，こちらにも御参加下さい．学生の皆さんは，受賞を目指して発表準備をなさって下さい．

◎プログラムについては変更が生じる場合がありますので，ホームページで御確認下さい．

☆WIT 研究会今後の予定 〔　〕内発表申込締切日

12 月 12 日（木） 産総研臨海副都心センター〔未定〕

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．

http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

★ワイドバンドシステム研究会（WBS）

専門委員長　佐々木重信　副委員長　前原文明・羽渕裕真
幹事　藤井雅弘・松波　勲　幹事補佐　石橋功至・小澤佑介

日時　10月31日（木）　13：15～16：50
　　11月 1 日（金）　 9：30～11：50
会場　屋久島環境文化村センター（熊毛郡屋久島町宮之浦823-1．宮之浦港から徒歩5分，屋久島空港からバス25分，タクシー20分，安房港からバス40分，タクシー30分．https://www.yakushima.or.jp/htdocs/index.php?action=pages_view_main&page_id=17　稲森真美子（東海大））
議題　グリーンワイヤレス，一般

31日

1. 色変調を用いた並列伝送型無線可視光通信システムに関する研究　○古川治樹・和田忠浩・椋本介士（静岡大）
2. 屋内可視光通信における調光制御可能なPPM方式の情報伝送効率向上法　○尾崎　崇・小澤佑介・楳田洋太郎（東京理科大）
3. Simultaneous Wireless Information and Energy Transfer for MIMO Relay Channel with Antenna Switching　Ioannis Krikidis（Univ. of Cyprus）・○Shigenobu Sasaki（Niigata Univ.）・Stelios Timotheou（Univ. of Cyprus）
4. 様々な周囲環境における人体近傍伝搬チャネルの周波数帯域幅依存性　○広瀬　幸・小林岳彦（東京電機大）
5. 現実的な非線形増幅を施したときの送信電力制御を用いたOFDMクリッピング＆フィルタリングの適用効果　○丸小倫己・竹渕翔矢・前原文明（早大）
6. 円偏光光無線OFDM方式における雑音を低減する復調法の一検討　○萩原和男・大内浩司（静岡大）
7. OFDM移動受信における繰り返し復調を用いたMIMO-ICIキャンセラに関する検討　○中村　聡（東京理科大）・大野光平（明大）・伊丹　誠（東京理科大）
8. ピーク電力低減を用いたOFDM信号の電力増幅効率改善に関する比較検討　○松岡雅樹・吉沢竜太・落合秀樹（横浜国大）

11月1日

1. 2 GHz帯電波伝搬測定結果を用いた小型無人航空機間無線リンクの通信性能評価　○山川泰典（明大）・滝沢賢一・小野文枝・辻　宏之（NICT）・井家上哲史（明大）・三浦　龍（NICT）
2. 小型無人航空機を用いた無線中継システムのアウテージ確率に関する一検討　○小野文枝（NICT）・落合秀樹（横浜国大）・滝沢賢一・鈴木幹雄・三浦　龍（NICT）
3. 無人航空機システムにおける通信システム設計とその評価　○滝沢賢一・小野文枝・辻　宏之・三浦　龍（NICT）
4. 海中における電磁波利用無線通信に関する一検討　○大浜俊樹（明大）・滝沢賢一（NICT）・井家上哲史（明大）
5. インダクティブカプラ型1線式PLCシステム　○都築伸二（愛媛大）・松井　隆（四国電力）・山田芳郎（愛媛大）

☆WBS研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日
12月　東京理科大〔未定〕テーマ：ITS通信，一般
【発表申込先】　下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html
【問合先】
藤井雅弘
TEL & FAX〔028〕689-7118
E-mail：fujii@is.utsunomiya-u.ac.jp

――海外における開催――

★インターネットアーキテクチャ研究会（IA）

専門委員長　石橋圭介
副委員長　秋山豊和・地引昌弘・中村　豊
幹事　衛藤将史・松浦知史
幹事補佐　義久智樹・山本　寛・渡里雅史

日時　10月10日（木）　12：45～17：30
　　11日（金）　 9：30～17：45
会場　Konkuk University, Seoul, Korea（http://www.ieice.org/~ia/seoul2013/）
議題　Internet Architecture and Applications

10日　Invited Talk

1. 〔招待講演〕 An IP Address Management System for IPv6 Network　Sangwook Bae・Shimin Sun・Li Han・○Sunyoung Han（Konkuk Univ.）
2. 〔招待講演〕 Cardinality in Big Data—Examples in L3 & L7 Network　Takeshi Mitamura（JPRS）・○Kenichi Yoshida（Univ. of Tsukuba）

Network Security

3. Proposal of a Network Control System to Detect, Analyze and Mitigate Targeted Cyber Attacks　○Hirokazu Hasegawa・Yukiko Yamaguchi・Hajime Shimada・Hiroki Takakura（Nagoya Univ.）
4. Design and Implementation of DNSSEC Simulator using Unmodified Real Implementations　Tomohiro Ishihara・Hajime Tazaki・○Yuji Sekiya（Univ. of Tokyo）

Invited Talk

5. TBD

Information/Content Centric Network

6. Selective Cache Information Diffusion in Content-Centric Networking　○Ryoichi Ishiyama・Keiichiro Tsukamoto（Osaka Univ.）・Hiroyuki Ohsaki（Kwansei Gakuin Univ.）
7. Design of Information Centric Networking on Clean-slate Layered Architecture　○Takao Kondo・Heryanto・Komei Shimamura・Kunitake Kaneko・Fumio Teraoka（Keio Univ.）
8. ICNの性能比較に関する研究　○進藤　匠・岡村耕二（九大）

11日午前　Invited Talk

1. 〔招待講演〕 Challenges and Applications of SDN in Interop Tokyo ShowNet 2013　Yuji Sekiya（Univ. of Tokyo）
2. TBD

Cloud Networking

3. A Study of Network Issues for Implementing Large Scale

Academic Cloud Service ○Yoshiaki Kasahara・Eisuke Ito（Kyushu Univ.）

4. A study about dynamic VM image deployment for autoscaling across multiple cloud systems ○Yuko Kamiya・Toshihiko Shimokawa（Kyushu Sangyo Univ.）

11 日午後　Invited Talk

5. TBD

6. TBD

Network Control and QoS

7. Network Quality Effect on QoE of IP-based services ○Norihiro Fukumoto・Sumaru Niida・Shigehiro Ano（KDDI Labs.）

8. On a prediction algorithm of arrivals of mobile terminal for a green wireless LAN system ○Motoyuki Ohmori（Tottori Univ.）・Koji Okamura（Kyushu Univ.）

DDOS, Privacy, Ecology

9. Two-Stage Map Table Extension on LISP for DDoS Attack Mitigation ○Kazuya Okada・Hiroaki Hazeyama・Youki Kadobayashi（NAIST）

10. Privacy Aware Transformation（PAT）and its application for privacy preserving data analysis ○Ikuo Nakagawa・Yoshifumi Hashimoto（Intec）・Masahiro Hiji（Tohoku Univ.）・Hiroshi Esaki（Univ. of Tokyo）

11. Digital Infrastructure Ecology—Adopting Landscape Ecology Means for Planning IT Infrastructure and Smart Grid— ○Sunglim LEE・Koji Okamura（Kyushu Univ.）

12. Introduction of Keyword Centric Network（KCN） ○Koji Okamura（Kyushu Univ.）・Motoyuki Ohmori（Tottori Univ.）

☆IA 研究会今後の予定 〔　〕内発表申込締切日

10 月 22 日（火） 東大先端知ビル〔締切済〕テーマ：ネットワーク研究開発テストベッド運用・利用，一般（ADVNET 共催）

11 月 1 日（金） グランドプリンスホテル広島〔締切済〕テーマ：学生セッション，一般（日本学術振興会インターネット技術第 163 委員会共催）

12 月 19 日（木），20 日（金） 広島市大〔10 月 11 日（金）〕テーマ：性能評価とシミュレーション，信頼性技術，スループットやトラヒックの計測，品質（QoS）制御，輻輳制御，トラヒック・フロー制御，オーバーレイネットワーク・P2P，IPv6，マルチキャスト，ルーチング，DDoS 及び一般

1 月 30 日（木），31 日（金） 機械振興会館〔未定〕

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】

IA 研究会事務局（九工大電子情報工学科尾家研究室内）
TEL & FAX〔0948〕29-7652
E-mail：ia-submission@mail.ieice.org

◎IA 研究会ホームページ
http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/index.htm

――今後の予定――

★パターン認識・メディア理解研究会（PRMU）

専門委員長　鷲見和彦　副委員長　柏野邦夫・黄瀬浩一
幹事　田中　宏・堀田政二　幹事補佐　島田敬士・井尻善久

☆PRMU 研究会今後の予定 〔　〕内発表申込締切日

1 月 23 日（木），24 日（金） 阪大吹田キャンパス〔11 月 7 日（木）〕テーマ：主テーマ『人体・動作の認識』，社会課題『福祉と共生』，企画『国際会議報告』

パターン認識・メディア理解の目標の一つに人を中心とした世界の記述が挙げられます．人の動作を認識・理解し，そのタイミングに合わせて情報を提供したり手助けする機能は知能情報システムの一つの理想形でしょう．また，人を中心とした記述が可能になれば人の作業の代替機能をもたらす技術の出現も期待できます．

本研究会では「人体・動作の認識」を主テーマとして研究を募集します．具体的には，人体部位の抽出・追跡，動作認識のためのプリミティブな特徴量抽出，動作のセグメンテーション，時系列情報処理などの要素技術から，人体・動作の認識，より高次な情報処理となる意図や意味の認識，更にはその応用技術となる歩行者同定，異常検出，見守り，マーケティング，ロボットとのインタラクションなど人体・動作の認識やこれらの技術がもたらす応用を幅広く議論したいと思います．

一方，パターン認識・メディア理解の研究は，これまでのような研究室での実験にとどまらず，実際に処理を必要とする現場での展開が期待されています．本研究会では社会課題テーマとして「福祉と共生」に関連する研究を募集します．主テーマの「人体・動作の認識」に関係するものはもちろん，それ以外のパターン認識・メディア理解の技術が医療や福祉などの現場に浸透するための社会課題解決型の研究テーマを広く募集します．

なお，上記のようなテーマセッションに加え，一般セッションや国際会議報告についても募集します．本研究会は，マルチメディア・仮想環境基礎研究会の共催，情報処理学会の CVIM の連催となっており，分野を超えた研究者が一堂に会する機会となっています．研究会の枠を越えた議論の場として活用頂けましたら幸いです．

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

★知能ソフトウェア工学研究会（KBSE）

専門委員長　松浦佐江子　副委員長　飯島　正
幹事　粂野文洋・竹内広宜　幹事補佐　後藤隆彰・青木善貴

☆KBSE 研究会今後の予定

11 月 1 日（金），2 日（土） 愛媛大城北キャンパス校友会館 テーマ：一般

◎詳細は KBSE 研究会ホームページを御覧下さい．
http://www.selab.is.ritsumei.ac.jp/kbse/

★ヒューマンコミュニケーション基礎研究会（HCS）

専門委員長　渡辺昌洋　副委員長　伊藤京子・松田昌史
幹事　井上智雄・渡邊伸行
幹事補佐　林　勇吾・小森政嗣・田中貴紘

☆HCS 研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日

11 月 9 日（土）　阪大豊中キャンパス〔締切済〕テーマ：感情とコミュニケーション及び一般（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター共催）

HCS 研究会では，人のコミュニケーションの活動の解明に関する基礎研究から，人や社会を幸せにするコミュニケーションのあり方や方法の探求に関する応用研究まで幅広いテーマを扱っています．

今回の研究会では，感情とコミュニケーションを中心テーマとし，対人コミュニケーションの方法論や基盤的知見の発見に関する研究，インタフェースやヒューマン・エージェント・インタラクションに関連した機械と人とのコミュニケーションの技術などの研究発表，その他，ヒューマンコミュニケーション一般についての発表も予定しています．

※開催地となる大阪大学は人間に外見や動きが酷似したアンドロイドロボットの開発で国内外に広く知られています．本研究会に併せて，アンドロイドロボットの見学会を予定しています．

【問合先】

小森政嗣（阪電通大）
E-mail：komori@oecu.jp
小川浩平（阪大）
E-mail：ogawa@irl.sys.es.osaka-u.ac.jp

◇　◇　第二種研究会開催案内　◇　◇

●第 8 回再生可能集積システム時限研究会

委員長　上原　稔（東洋大）
副委員長　中尾健彦（東芝）・名古屋　彰（岡山大）
日時　平成 25 年 10 月 19 日（土）　13：00～17：30
会場　電気通信大学調布キャンパス西 10 号館 2F 大会議室
プログラム

1. パッチクランプ用 CMOS オンチップ IV コンバータの特性評価　川島拓也・中山　渉・安田洋平・中野誠彦（慶大）
2. 加熱処理による故障した GPU の再生実験　川原尚人（鳥取大）
3. 省エネルギーな分散処理システムのための専用ハードウェアの設計　吉見真聡・入江英嗣・吉永　努（電気通信大）
4. 〔招待講演〕 システムソフトウェアにおける“再生”技術　山田浩史（東京農工大）
5. 並列プロセッサ用スモールワールドネットワークアーキテクチャ　森　秀樹・上原　稔（東洋大）
6. 再生可能計算システムの研究動向―WReCS-2013 ワークショップ報告―　上原　稔（東洋大）

ポスターセッション

7. 低速ストレージのための分割ファイル方式　上原　稔（東洋大）
8. BYOD に基づく仮想 PC 教室の提案　上原　稔（東洋大）
9. 過飽和クラウドのエネルギー管理におけるインスタンス割り当て方式の評価　高部優一郎・上原　稔（東洋大）
10. 代謝型リングの設計　上原　稔・森　秀樹（東洋大）

参加資格　特に制限はありません．
参加費　2,000 円　学生　無料（会場でお支払い下さい）
研究会終了後（18：30～21：00）に懇親会を行います．
会場：kirakutei Kirakuya
会費：3,500 円

【問合先】

上原　稔（東洋大）
E-mail：uehara@toyo.jp
吉見真聡（電通大）
E-mail：yoshimi@is.uec.ac.jp

◎RIS ホームページも御覧下さい．
https://sites.google.com/site/renewableintegratedsystems/
主催　再生可能集積システム時限研究専門委員会

●第 27 回光通信システムシンポジウム「グローバル戦略が拓く光通信の未来―新たなステージへのシナリオ―」

実行委員長　石田　修（NEL）
実行副委員長　水落　隆司（三菱電機）
日時　平成 25 年 12 月 12 日（木）　12：30～20：55
（受付は 11：30 より開始予定）
13 日（金）　9：00～17：10
（受付は 8：00 より開始予定）
会場　東レ総合研修センター（三島市末広町 21-9．JR 線：三島駅北口から徒歩 12 分またはタクシー 2 分．http://www.toray.co.jp/location/loc_401.html）
概要

今年 27 回目を迎える光通信シンポジウムでは，「技術で勝って，グローバルビジネスでも勝つ」ことを目的に，グローバル戦略について俯瞰的に議論し，日本の光通信関連産業の新たな時代に向けた方向性を展望します．本シンポジウムでは，ビジネス・技術の両面を広く網羅する基調講演，招待講演，ワークショップ，ランプセッションを企画しています．更に将来の担い手となる若手の方を対象としたポスターセッション，光通信用部品・計測機器等の光通信関連製品の展示会，及び公的ファンドの委託研究等の最新研究成果を紹介する展示会も併設して開催致します．関係者多数の御参加をお待ちしております．

〔基調講演〕 サイエンス社会における日本の産業競争力を考える（仮）　元橋一之（東大）
その他　招待講演，ワークショップ，ランプセッション，OCS 表彰式を実施．（詳細はプログラム参照）
展示会　例年同様，講演会場前ロビーにて展示会を実施します．
参加資格　特に制限はありません
参加費　学会員 8,000 円，非会員 11,000 円，学生 1,000 円
宿泊　調整中
懇親会　12 日夕刻に開催
参加申込締切日　11 月 7 日（木）（9 月下旬参加申し込み受付開始予定（下記 OCS ホームページより））

【講演内容問合先】

乾　哲郎（NTT）
TEL〔046〕859-2455，FAX〔046〕859-5541
E-mail：inui.tetsuro-ocs@lab.ntt.co.jp

【参加問合先】
斎藤恒聡（古河電工）
TEL〔0436〕42-1725，FAX〔0436〕42-9340
E-mail：ocs@furukawa.co.jp

プログラム（仮）
変更する場合があります．最新プログラムは OCS の HP（http://www.ieice.org/cs/ocs/jpn/）を御参照下さい．

12 日
1.〔基調講演〕 サイエンス社会における日本の産業競争力を考える（仮） 元橋一之（東大）
2. 2013 年 OCS 表彰式
昨年 9 月～今年 8 月の光通信システム研究会で発表された論文から，特に優れた論文と若手講演者に対し，それぞれ論文賞と奨励賞を授与します．
3. ポスターセッション
今回もポスターセッションを実施します．公募形式で原則 33 歳未満の方を対象とします．（学術的内容に限ります）
4. ワークショップ 1：内容未定（4 件程度）
◎17：45～19：05 に懇親会を行います．
5. ランプセッション：内容未定

13 日
1. 招待講演：内容未定（3 件程度）
2. ワークショップ 2：内容未定（4 件程度）
展示会　例年同様，講演会場前ロビーにて展示会を実施します．
12 月 12 日（木） 11：30～12：30，14：00～15：15
13 日（金） 8：00～ 9：00，12：30～13：50
主催　光通信システム研究専門委員会
◎第 27 回光通信システムシンポジウムポスター発表募集
今回もポスターセッションを公募します．発表者は原則 33 歳未満の方を対象とします．下記の分野に関係する学術的内容に限ります．
［カテゴリ 1：光ファイバ伝送路］
光ファイバケーブル・コード，通信用光ファイバ，光線路保守監視・試験技術，接続・配線技術，光ファイバ測定技術，光コネクタ，ホーリーファイバ，機能性光ファイバ
［カテゴリ 2：光通信方式］
光変復調方式，多値光変復調，コヒーレント光通信，光増幅・中継技術，非線形・偏波問題，アナログ光伝送，空間・可視光伝送，量子通信
［カテゴリ 3：光通信網・規格］
コア・メトロシステム，海底伝送システム，光アクセスシステム・次世代 PON，イーサネット，光伝達網（OTN），高速インタフェース，伝送監視制御，光伝送システム設計・ツール
［カテゴリ 4：光通信機器］
光中継装置，光クロスコネクト（OXC），光分岐挿入多重（OADM），光送受信機・光端局装置，光通信用ディジタル信号処理，誤り訂正，光多重・分離装置，光通信計測
［カテゴリ 5：デバイスのシステム応用］
分散補償デバイス，光信号処理，合分波器，光ファイバ型デバイス，発光・受光素子，光スイッチ素子，光測定器，光通信用 LSI
発表申込締切　10 月 11 日（金） 17：00
予稿提出締切　11 月 15 日（金） 17：00
ポスター発表　12 月 12 日（木） 14：00～15：20
予稿：A4 縦 1 ページ，日本語または英語，書式は信学会大会の一般講演予稿と同様（様式は OCS ページに掲載）
ポスター：サイズ：A0 縦（横 84 cm×縦 119 cm）以内
日本語または英語，書式は自由，印刷物を当日持参
【発表申込先】
乾　哲郎（NTT）
TEL〔046〕859-2455，FAX〔046〕859-5541
E-mail：ocs-poster@mail.ieice.org

◇　◇　第二種研究会発表募集案内　◇　◇

●アシュアランスシステム研究会

委員長　角田良明（広島市大）
期日　平成 25 年 12 月 12 日（木）
会場　兵庫県立大学
講演申込締切　11 月 7 日（木）
講演申込方法
氏名，所属，講演題目，概要（数行），連絡先（住所，TEL，FAX，E-mail）を E-mail で下記問合先，申込先にお送り下さい．追って必要事項をお知らせします．
本研究会は，以下に示すような経緯と目的からディペンダブルコンピューティング研究専門委員会の下に第二種研究会として開催しています．本研究会は新しい技術であるアシュアランスシステムの今後の発展に寄与することを目的とします．多くの方々の御参加をお願い致します．
研究会の内容
近年，ネットワークの発展に伴い，自律したシステムが接続されるようになっています．これらシステムは異種のニーズを持つだけでなく，頻繁にニーズが変化します．このようなニーズの異種性と状況変動に対する適応性を満たし，異種システムを共存させる技術を「アシュアランスシステム技術」と呼びます．
1996 年には，日米欧の関係者を中心とし，IEEE にて High Assurance System Engineering 国際会議が設立されました．国内では，1998 年以降フォールトトレラントシステム研究会（現ディペンダブルコンピューティング研究会）にて「アシュアランスシステム」が特集され，大学や企業からニーズ，問題点，解決策，実用例などについて多数発表されました．
このような経緯から，アシュアランスシステムに関する先進的な議論と提案の場として 2000 年にアシュアランスシステム研究会を発足致しました．また，2002 年から毎年，Assurance in Distributed Systems and Networks 国際会議が開催されています．そのため，ネットワーク分野へのアシュアランスシステム技術の応用についての研究も進んできました．
本研究会では，制御／情報系システムから，大規模広域システム，超分散システムまで，システム技術，ネットワーク技術，デバイス技術，応用について，設計技術，実装技術，評価技術，先進的な応用事例など幅広くアシュアランスシステムに関する諸問題を研究対象項目とします．
【問合先・申込先】 幹事
河野英太郎（広島市大）
E-mail：kouno@hiroshima-cu.ac.jp
主催　ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会
共催　兵庫県立大学応用情報科学研究科附属社会応用情報センター

●第3回集積光デバイスと応用技術研究会

委員長　粕川秋彦（古河電工）　副委員長　横井秀樹（芝浦工大）

集積光デバイスと応用技術研究会は，光デバイスの高性能化・高機能化・集積化技術を中心に，特にその応用技術を含めた研究分野に関する情報交換，議論の機会を提供しています．第3回研究会は，集積光デバイスの応用技術の研究・開発動向及びその今後の展開に関するホットトピックについての招待講演とランプセッション，学生ポスターセッションを盛り込んだ1泊2日の研究会を企画しております．また，下記のとおり一般講演・学生ポスター講演を募集しますので，積極的な論文発表・御参加をお願い致します．

日時　平成26年1月30日（木）　13：00～31日（金）　15：30

会場　鬼怒川グランドホテル「夢の季」（日光市鬼怒川温泉大原1021．東武鬼怒川線：鬼怒川温泉駅から徒歩で8分．http://www.kgh.co.jp/）

テーマ「集積光デバイス技術とその応用展開」

内容（予定）

光インターコネクション・シリコンフォトニクス，InP系光集積回路・フォトニック結晶，超高速光通信技術，光信号処理，光応用技術

発表申込　10月15日（火）までに，講演題名，概要（数行），著者，所属，連絡先（住所，TEL，FAX，E-mail）を下記幹事までお知らせ下さい．

原稿提出　1月14日（火）締切．A4判，6枚程度．講演申込者には執筆要領を送付します．

参加資格　特に問いません

参加申込　宿泊希望者12月27日（金）締切，日帰り希望者は研究会開催当日，会場にて受け付けます（事前申し込み不要）．

参加費　一般宿泊者　20,000円，一般日帰り者　7,000円，
　　学生宿泊者　10,000円，学生日帰り者　1,000円

【講演申込・問合先】　幹事

向原智一（古河電工）
TEL〔0436〕42-1771，FAX〔0436〕42-1775
E-mail：tmuka@yokoken.furukawa.co.jp

山下兼一（京都工繊大）
TEL〔075〕724-7423，FAX〔075〕724-7400
E-mail：yamasita@kit.ac.jp

◎最新情報は，集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会のホームページを御覧下さい．
http://www.ieice.org/~ipd/jpn/welcome.html

主催　集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会

協賛（予定）　光エレクトロニクス研究専門委員会，レーザ・量子エレクトロニクス研究専門委員会，シリコンフォトニクス時限研究専門委員会，IEEE Photonics Society Japan Chapter

本会発行新刊案内

非線形システムは解析から設計・利用の時代に

非線形システムが社会を動かす

並木淳治　著
B5判並製　定価3,150円(税込)

人間的日常の感情から，“ファッション，流行，流言飛語，パニック”などの発散的現象や，“起業，投資，マネージメント”などの実際の経済活動等，ほとんどの現象は100%人間の相互干渉性が作り出す現象である．要素間干渉を完全に排した線形システムでは表現不可能な非線形システムこそが，私たちを取り囲むほとんどの社会，経済，精神活動を説明・制御する源であるとの立場から，まずそのモデル化，解析手法について分かりやすく説明し，それらの現象の解析評価，そして特に設計・制御・利用を可能にする手法を提示し，一部はExcelプログラム添付で実感させることを試みた．社会システムに興味を持つ全読者へ．

《内容目次》ダイナミックシステムのモデル化／線形システムの功罪（非線形システムとは）／超巨大システムの社会的安定の根源／古典的非線形システムを読み解く／これからの非線形システムはこう操れ／見え出した非線形飼い慣らし手法／エージェント移動をつかさどる多次元セルオートマトンの提案

〒105-0011　東京都港区芝公園3丁目5番8号　機械振興会館内　振替口座00120-0-35300
TEL〔03〕3433-6691(代)　FAX〔03〕3433-6659　E-mail：kaiin@ieice.org
正員，学生員等の個人会員の方の注文を承ります．2割引・送本費500円 上記番号で御注文下さい．

一般社団法人　**電子情報通信学会**

◉…　講演会・講習会・学術研究集会等　…◉

――北陸支部――

●講演会

日　時　平成25年10月3日（木）　14：45～16：15
会　場　富山大学工学部共通講義棟210教室（富山市五福3190）
講　師　丸岡　章（石巻専修大）
演　題　パズルを用いた情報トレーニング
参加費　無料
参加資格　会員以外の方も入場できます．事前の参加申込みは不要です．
詳しくは北陸支部HP：http://www.ieice.org/hokuriku/を御覧下さい．
問合先　富山大学工学部知能情報工学科　参沢匡将
TEL〔076〕445-6753，misawa@eng.u-toyama.ac.jp
主　催　電子情報通信学会北陸支部

――関西支部――

●電気四学会関西支部専門講習会「イメージング技術の最新動向」

イメージセンサの進化に伴いイメージング技術は，放送現場から医療，自然科学，セキュリティ分野と活躍の場を広げています．今回は，「イメージング技術の最新動向」と題し最近注目されているイメージング技術に触れる講習会を企画しました．

つきましては最先端を担う方々に御講演頂きますので，奮って御参加下さい．

日　時　平成25年10月29日（火）　10：00～17：15
会　場　中央電気倶楽部513号室（大阪市北区堂島浜2-1-25，堂島地下街南詰を右側に上り，右へ約50 m，左側のレンガ造り建物）

講師と題目
（1）　開講の挨拶　　映像情報メディア学会関西支部支部長
（2）　イメージセンサの技術動向　　太田　淳（奈良先端大）
（3）　200万画素SOIダイオード方式非冷却赤外線イメージセンサ　　上野雅史（三菱電機）
（4）　月探査機「かぐや」で活躍したイメージング技術　　岩崎　晃（東大）
（5）　スーパハイビジョンのイメージング技術　　船津良平（NHK）
（6）　超高感度イメージングの医療応用　　杉本真樹（神戸大）
（7）　閉講の挨拶　　映像情報メディア学会関西支部庶務幹事

聴講料　主催学会会員（正員10,000円，准員・学生員　無料）（会員非課税），会員外（一般15,000円，学生5,000円）（会員外消費税込み）
定　員　80名（定員になり次第，締め切らせて頂きます）
申込方法　講習会題目・開催日・会員種別・氏名・連絡先（会社名・所属・郵便番号・所在地・電話番号）等を映像情報メディア学会関西支部のHP（http://www.ite.or.jp/kansai/）からお申込み下さい．後日，参加章と請求書を郵送します．なお，FAX，E-mailの場合は下記へお申込み下さい．
申込先　〒530-0004　大阪市北区堂島浜2-1-25
中央電気倶楽部内関西電気関連学会事務センター
TEL〔06〕6341-2529，FAX〔06〕6341-2534
denki4g@ares.eonet.ne.jp
主　催　電子情報通信学会・映像情報メディア学会・電気学会・照明学会各関西支部

●准員及び学生員のための講演会（後半）

例年，電気四学会関西支部では，平素は聴講できない他大学並びに一般企業の諸先生方の講義を交換講義の形で聴講できるように，定期講演会を開催しています．

平成25年度の後半分は，下記により開催しますのでこの機会を生かして自由に御聴講下さるよう，御案内申し上げます．

・11月19日（火）　13：00～15：00
テーマ：スマートグリッドを支えるエネルギーマネジメント技術とその実証
講　師：小島康弘（三菱電機）
会　場：大阪産業大学（4号館5階4510会議室）
TEL〔072〕875-3001

・11月19日（火）　12：50～14：20
テーマ：スマート家電サービスの開発
講　師：富岡　豊（パナソニック）
会　場：京都工芸繊維大学
（松ヶ崎キャンパス西部構内西実験棟2階WL23）
TEL〔075〕724-7477

・11月21日（木）　13：00～14：30
テーマ：SiCパワーデバイスが拓く未来
講　師：中村　孝（ローム）
会　場：兵庫県立大学（姫路工学キャンパス）
TEL〔079〕267-4878

・11月25日（月）　16：20～17：50
テーマ：知財の基本とその重要性
講　師：有本　昭（元ペンタックス）
会　場：立命館大学
（びわこ・くさつキャンパスプリズムホール）
TEL〔077〕561-2883

・11月25日（月）　16：30～18：00
テーマ：有機エレクトロニクスとエナジーハーベスティング
講　師：中村雅一（奈良先端大）
会　場：近畿大学（東大阪キャンパス19-2講義室）
TEL〔06〕4307-4327

・11月28日（木）　13：00～14：30
テーマ：スマートエネルギーイノベーション
講　師：岩井利明（パナソニック）
会　場：奈良工業高等専門学校（大視聴覚室）
TEL〔0743〕55-6102

・12月4日（水）　13：20～14：50
テーマ：光が拓くネットワークリッチなグローバル社会
―世界で光る日本の技術―
講　師：富澤将人（NTT）
会　場：大阪工業大学（常翔学園OITホール）
TEL〔06〕6954-4770

・12月5日（木）　13：00～14：00
テーマ：歌声合成システムVOCALOIDと新しい音楽の潮流
講　師：剣持秀紀（ヤマハ）
会　場：関西大学（第四学舎三号館3101教室）
TEL〔06〕6368-1119

・12月6日（金）　13：20～14：50
テーマ：電子顕微鏡の世界―電子線ホログラフィーによる超伝導磁束量子の観察―

講　師：原田　研（日立）
会　場：摂南大学（寝屋川キャンパス 12 号館 4 階 1241 教室）
TEL〔072〕839-9149

●電気四学会関西支部一般見学会

地球環境問題や昨今のエネルギー需給のひっ迫により，電気，ガスをはじめ様々なエネルギーに対する関心が高まっています．そして，スマートグリッド／スマートシティといったエネルギーのより効率的な使い方が注目されているほか，企業だけでなく各家庭での省エネの取組みも活発になっています．

そこで今回の一般見学会では，エネルギー問題に関する更なる意識向上を目的として，大阪ガスガス科学館と関西電力堺港発電所及び堺太陽光発電所を見学します．

ガス科学館では都市ガス・天然ガスの利用技術，そしてエネルギーの有効利用と環境問題について紹介頂くほか，都市ガス工場の見学も行います．また，天然ガスによる火力発電施設の堺港発電所では，低炭素化に向けた様々な取組みを紹介頂きます．更に，国内最大級のメガソーラー施設である堺太陽光発電所では，今後注目される再生可能エネルギーの先端技術を見学致します．皆様，奮って御参加下さい．

日　時　平成 25 年 11 月 22 日（金）　9：00～17：00
集合時間　9：00（時間厳守，晴雨不問）
集合場所　阪急三番街高速バスターミナル（阪急梅田駅 1F：http://bus.hankyu.co.jp/map/0005.html）
行　程
9：00　阪急三番街高速バスターミナル出発
10：00～12：00　大阪ガス ガス科学館（高石市：http://www.osakagas.co.jp/gasscience/）
12：00～13：40　バスで移動（昼食含）
13：40～16：10　堺港発電所 PR 館，堺太陽光発電所，堺港発電所（火力）（堺市：http://www1.kepco.co.jp/energy/fpac/community/plant/04.html）
※工事・作業及び天候状況により，やむを得ず発電所の見学を「変更」，または「中止」させて頂く場合がございます．
17：00　大阪駅にて解散
参加人数　40 名（申込先着順，定員になり次第締め切らせて頂きます）
参加費　2,000 円（昼食代を含み，当日徴収致します．消費税込）
申込方法　参加希望者は，氏名・年令・所属・電話番号を電子情報通信学会関西支部の HP（http://www.ieice.org/kansai/）からお申込み下さい．なお，E-mail，FAX，はがきでも受け付けますので，下記にお申込み下さい．
申込先　〒530-0004　大阪市北区堂島浜 2-1-25
中央電気倶楽部内関西電気関連学会事務センター
TEL〔06〕6341-2529，FAX〔06〕6341-2534
denki4g@ares.eonet.ne.jp
主　催　電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部，電子情報通信学会関西支部学生会

●電気四学会関西支部専門講習会「保護リレーにおける通信利用技術の現状と高度化」

保護リレーシステムは，電力系統の大規模化，複雑化にも的確に対応し，公衆保安の確保や電力系統の安定かつ効率的な運用に寄与してきました．この背景として，保護リレーシステムの動作時間の高速化，選択遮断の高度化など，機能向上・信頼度向上を実現するため保護リレーシステムと同時に通信システムが整備されてきたことが大きいです．

また，近年の，高度情報化社会の急速な進展がけん引力となって，より高度な通信技術が開発・導入されており，今後，保護リレーシステムへの適用が期待されます．更に今後は，初期に設置されたディジタル形保護リレー装置と伝送装置の更新が大量に見込まれるため，保護・通信が一体となった合理的な設備形成を検討する必要があります．

これらのことから，将来における設備形成の効率化や更なる系統の安定運用への寄与を目的とし，保護リレーシステムの実態把握，今後の課題などを取りまとめましたのでここにその成果を広く紹介致します．奮っての御参加をお待ちしています．

日　時　平成 25 年 11 月 26 日（火）　14：00～16：50
会　場　中央電気倶楽部 513 号室（交通等前掲参照）
題目と講師：（司会）黒井浩二（関西電力）
（1）　開講の挨拶　電気学会関西支部支部長
（2）　保護リレーシステムと通信技術　奥山孝幸（東北電力）
（3）　通信技術に対する保護リレーの要求性能　片山善博（三菱電機）
（4）　海外における通信技術及び通信利用技術の調査　山下義章（九州電力）
（5）　保護リレーシステムに関わる通信利用技術の動向と適用検討　大場英二（電力中研）
（6）　新たな通信技術を利用した将来の保護リレーシステム　酒井寛好（北海道電力）
（7）　閉講の挨拶　電気学会関西支部総務企画幹事
参加費（テキスト代別）
主催学会　会員 4,000 円，准員 1,500 円（会員不課税），会員外 5,000 円（会員外消費税込み），学生無料
テキスト　電気学会技術報告 1276 号「保護リレーにおける通信利用技術の現状と高度化」（定価 1,470 円）を使用します．希望者には特別価格（1,100 円）で頒布致します．テキストが必要な方は 11 月 12 日（火）までに事前お申込みをお願い致します．はがきは締切日必着でお願いします．Web 申込みではテキストの要否欄に「要」を，はがき/FAX/E-mail には，「テキスト希望」と書いて下さい．テキストは当日お渡し致します．
定　員　80 名（定員になり次第，締め切ります）
申込方法　電気学会関西支部 HP（http://www2.iee.or.jp/ver2/kansai/）からお申込み下さい．はがき，FAX または E-mail による申込みの場合，講習会題目，開催日，会員種別，氏名，連絡先（会社あるいは学校名，所属，郵便番号，所在地，電話番号）並びにテキストの要否を，下記の申込先まで御連絡下さい．後日，参加書と請求書をお送りします．なお，お知らせ頂きました個人情報は，行事を運営する目的以外に使用することはありません．
申込先　〒530-0004　大阪市北区堂島浜 2-1-25
中央電気倶楽部内関西電気関連学会事務センター
TEL〔06〕6341-2529，FAX〔06〕6341-2534
denki4g@ares.eonet.ne.jp
主　催　電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部
共　催　電気学会保護リレーシステム技術委員会

――本　会　が　協　賛　等　の　も　の――

（※は参加費割引あり）

第 80 回ロボット工学セミナー「意味」や「状況」を扱うロボット技術―記号化・対話・ビッグデータ（※）

期　日　平成 25 年 10 月 9 日（水）
会　場　東京大学本郷キャンパス（東京都文京区）
問合先　日本ロボット学会事務局　担当　水谷
TEL〔03〕3812-7594，FAX〔03〕3812-4628
seminar@rsj.or.jp

GPS/GNSS シンポジウム 2013

期　日　平成 25 年 10 月 29 日（火）～11 月 2 日（土）
会　場　東京海洋大学越中島キャンパス（東京都江東区）
問合先　測位航法学会事務局　吉田（東京海洋大学内）
TEL & FAX〔03〕5245-7365

薄膜材料デバイス研究会　第 10 回研究集会「薄膜デバイスの応用展開」

期　日　平成 25 年 10 月 31 日（木）～11 月 2 日（土）
会　場　龍谷大学アバンティ響都ホール（京都市）
問合先　薄膜材料デバイス研究会事務局（大阪府立大学大学院工学研究科内）　TEL & FAX〔072〕254-9490
nagase@pe.osakafu-u.ac.jp

平成 25 年材料科学基礎講座「最先端電池の材料科学」（※）

期　日　平成 25 年 11 月 6 日（水）
会　場　東京電機大学東京千住キャンパス（東京都足立区）
問合先　日本材料科学会（裳華房内）
TEL〔03〕3262-9166，FAX〔03〕3262-7257
mssj@shokabo.co.jp　http://www.mssj.gr.jp

第 43 回結晶成長国内会議（NCCG-43）

期　日　平成 25 年 11 月 6 日（水）～8 日（金）
会　場　長野市生涯学習センター（TOiGO 内）（長野市）
問合先　日本結晶成長学会事務局
TEL〔03〕5950-4741，FAX〔03〕5950-1292
jacg@words-smile.com

第 24 回プラズマエレクトロニクス講習会―プラズマプロセスの基礎と応用・制御技術の最前線―

期　日　平成 25 年 11 月 8 日（金）
会　場　東京大学武田先端知ビル（東京都文京区）
問合先　応用物理学会分科会担当　上村
TEL〔03〕5802-0863，FAX〔03〕5802-6250
kamimura@jsap.or.jp

平成 25 年度「やまぐちグリーン部材クラスター」研究成果発表会 in Tokyo

期　日　平成 25 年 11 月 8 日（金）
会　場　第一ホテル東京シーフォート（東京都品川区）
問合先　山口県産業技術センタークラスターセンター事務局　担当　石田，片桐
TEL〔0836〕53-5061，FAX〔0836〕53-5072
ygc@iti-yamaguchi.or.jp
http://www.iti-yamaguchi.or.jp/docs/2013080100032/

有機分子・バイオエレクトロニクス分科会講習会―有機薄膜太陽電池の最前線―（※）

期　日　平成 25 年 11 月 11 日（月）
会　場　京都テルサ大会議室（京都市）
問合先　応用物理学会分科会担当　上村
divisions@jsap.or.jp

Optics & Photonics Japan 2013「光のことなら OPJ―春日野で光を科学する―」（※）

期　日　平成 25 年 11 月 12 日（火）～14 日（木）
会　場　奈良県新公会堂（奈良市）
問合先　OPJ2013 事務局（アドスリー内）
TEL〔03〕5925-2840，FAX〔03〕5925-2913
opj@opt-j.com
http://osj-jsap.jp/opj/opj2013/

第 137 回温度計測部会講演会（※）

期　日　平成 25 年 11 月 15 日（金）
会　場　大田区産業プラザ PiO（東京都大田区）
問合先　計測自動制御学会部門協議会担当　鈴木
TEL〔03〕3814-4121，FAX〔03〕3814-4699
bumon@sice.or.jp

第 21 回カメラ技術セミナー（※）

期　日　平成 25 年 11 月 21 日（木）
会　場　国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）
問合先　日本写真学会（東京工芸大学内）
TEL〔03〕3373-0724，FAX〔03〕3299-5887
spstj@pht.t-kougei.ac.jp
http://www.spstj.org/

2013 年度（10 周年記念）学術講演会（※）

期　日　平成 25 年 11 月 22 日（金），23 日（土）
会　場　産業技術大学院大学（東京都品川区）
問合先　日本 e-Learning 学会事務局
TEL & FAX〔044〕856-3620
jela-npo@m7.gyao.ne.jp
http://hwm7.gyao.ne.jp/jela-npo/

第 42 回薄膜・表面物理基礎講座（2013）「薄膜の成長過程の解明と制御：薄膜のナノ構造を自由に制御するために」（※）

期　日　平成 25 年 11 月 25 日（月）
会　場　東京工業大学蔵前会館（東京都目黒区）
問合先　応用物理学会分科会担当　上村
TEL〔03〕5802-0863，FAX〔03〕5802-6250
kamimura@jsap.or.jp

SICE セミナー「制御系設計の基礎・実践」2013（※）

期　日　平成 25 年 11 月 25 日（月），26 日（火）
会　場　首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス（東京都千代田区）
問合先　計測自動制御学会部門協議会担当　鈴木
TEL〔03〕3814-4121，FAX〔03〕3814-4699
bumon@sice.or.jp

第 22 回ポリマー材料フォーラム
期　日　平成 25 年 11 月 28 日（木），29 日（金）
会　場　タワーホール船堀（東京都江戸川区）
問合先　高分子学会　神宮司
TEL〔03〕5540-3771，FAX〔03〕5540-3737
22pmf@spsj.or.jp

第 10 回ロボット聴覚システム HARK 講習会
期　日　平成 25 年 12 月 5 日（木）
会　場　早稲田大学西早稲田キャンパス（東京都新宿区）
問合先　京都大学大学院情報学研究科　奥乃　博
TEL〔075〕753-5376，FAX〔075〕753-5977
okuno@i.kyoto-u.ac.jp

第 19 回アコースティック・エミッション総合コンファレンス（※）
期　日　平成 25 年 12 月 5 日（木），6 日（金）
会　場　関西大学千里山キャンパス（吹田市）
問合先　日本非破壊検査協会学術課同コンファレンス係
TEL〔03〕5821-5105，FAX〔03〕3863-6524
nakamura@jsndi.or.jp　http://www.jsndi.jp/

HAI シンポジウム 2013（HAI-2013）
期　日　平成 25 年 12 月 7 日（土），8 日（日）
会　場　岐阜大学駅前サテライトキャンパス（岐阜市）
問合先　プログラム実行委員長　角所　考（関西学院大学）
kakusho@kwansei.ac.jp

人文科学とコンピュータシンポジウム 2013（じんもんこん 2013）「人文科学とコンピュータの新たなパラダイム」（※）
期　日　平成 25 年 12 月 9 日（月）～14 日（土）
会　場　京都大学百周年時計台記念館（京都市）
問合先　PNC Annual Conference and Joint Meetings2013 Organizing Committee
pnc2013@cias.kyoto-u.ac.jp

第 40 回冬期講習会「光ファイバ技術の最前線」（※）
期　日　平成 26 年 1 月 16 日（木），17 日（金）
会　場　東京大学本郷キャンパス山上会館（東京都文京区）
問合先　応用物理学会分科会担当　上村
divisions@jsap.or.jp

第 26 回自律分散システム・シンポジウム（※）
期　日　平成 26 年 1 月 23 日（木），24 日（金）
会　場　東京大学本郷キャンパス山上会館（東京都文京区）
問合先　計測自動制御学会部門協議会担当
TEL〔03〕3814-4121　bumon@sice.or.jp

シンポジウム「モバイル '14」（※）
期　日　平成 26 年 3 月 13 日（木），14 日（金）
会　場　立命館大学びわこくさつキャンパス（草津市）
問合先　モバイル学会事務局（神戸女子大学内）
TEL & FAX〔078〕737-2349
mgo@mobilergo.com　http://www.mobilergo.com/

日本地球惑星科学連合 2014 年大会
期　日　平成 26 年 4 月 28 日（月）～5 月 2 日（金）
会　場　パシフィコ横浜（横浜市）
問合先　日本地球惑星科学連合事務局
TEL〔03〕6914-2080，FAX〔03〕6914-2088
office@jpgu.org　http://www.jpgu.org/meeting/

◉…… 国　際　会　議 …… ◉

第 26 回国際超電導シンポジウム（ISS 2013）
期　日　2013 年 11 月 18 日（月）～20 日（水）
会　場　タワーホール船堀（東京都江戸川区）
問合先　国際超電導産業技術研究センター普及啓発・国際部
TEL〔044〕850-1612，FAX〔044〕850-1613
iss@istec.or.jp

International Workshop on Novel Superconductors and Super Materials 2013 by FIRST Program
期　日　2013 年 11 月 21 日（木），22 日（金）
会　場　品川グランドセントラルタワー The Grand Hall（東京都港区）
問合先　会議事務局　東京工業大学フロンティア研究機構　藤津悟
TEL〔045〕924-5127，ns2-2013@lucid.msl.titech.ac.jp
http://www.supera.titech.ac.jp/ns22013/index.html

OPTICS & PHOTONICS International Exhibition 2014（OPIE'14）（※）
期　日　2014 年 4 月 23 日（水）～25 日（金）
会　場　パシフィコ横浜（横浜市）
問合先　オプトロニクス社事業推進室　宇津野
TEL〔03〕3269-3550，FAX〔03〕3269-2551
utsuno@optronics.co.jp
http://www.optronics.co.jp

受賞候補者募集等

――平成 25 年度学術奨励賞・受賞候補者推薦用紙――

今年度の学術奨励賞は，2013 年総合大会（岐阜大学）及び，2013 年ソサイエティ大会［基礎・境界，通信，エレクトロニクスの 3 ソサイエティになります］（福岡工業大学）の講演者を対象に選定致します．受賞者は，上記 2 大会における各座長，各ソサイエティ学術奨励賞選定委員会委員・投票委員及び一般会員等からの推薦を各ソサイエティ学術奨励賞選定委員会が所定の手続に従い審査して理事会で決定致します．

つきましては，今回は 2013 年ソサイエティ大会の講演者を対象として募集致しますので，下記の推薦要領を御参照の上多数の会員の方々が御推薦下さるようお願い致します．

＜被推薦者の条件＞
1. 本会会員であること
2. 2013 年ソサイエティ大会において講演者として登録かつ講演を行った者（一般講演，シンポジウム講演）であること．
3. 当該大会の開催年の 12 月 31 日において 33 歳未満の者であること．ただし翌年 1 月 1 日が誕生日の者は選定の対象とする．
4. 過去に本奨励賞を受けたことのない者であること．

＜推薦者の資格及び推薦数・推薦用紙＞

本会正員に限る．前記被推薦者の条件 1.～4. 項に該当し，適格と認められる者 1 名を推薦．下記の推薦用紙を切り取り所定事項を漏れなく記入し，電子情報通信学会事務局大会・研究会部宛てに郵送すること．

＜締切期日＞　**平成 25 年 10 月 11 日（金）必着**（以後の到着は無効となります）

切　取　線

平成 25 年度学術奨励賞・受賞候補者の推薦用紙

ふりがな 講演者氏名 （条件 2） 所属	会員番号：（条件 1）　年齢：（条件 3）
発表大会名	2013 年ソサイエティ大会（福岡工業大学）
（講演番号） 題名	（　　）
推薦理由	
推薦者 氏名	正　員（会員番号：　　）

（注）・推薦理由は，必ず記入して下さい．
・御推薦の講演者の中には同姓同名の方がいらっしゃいますので，お分かりでございましたら会員番号を御記入頂きますようお願い申し上げます．（氏名，会員番号等は個人情報ですのでお取扱いには御注意下さい．）

――平成 25 年度論文賞候補論文推薦について（通信ソサイエティ）――

＊＊＊＊＊ Nomination guidelines for the 2013 Best Paper Awards of IEICE（Communications Society）＊＊＊＊＊

通信ソサイエティから，ソサイエティ会員（正員）の皆様へ平成 25 年度論文賞候補論文推薦のお願いです．論文賞は，各ソサイエティ論文誌に掲載された論文から，特に優秀なものを毎年各 3 編選出し表彰するものです．通信ソサイエティ会員（正員）の皆様には積極的な御推薦をお願い致します．

なお，論文賞候補に推薦された論文は，通信ソサイエティ論文賞候補論文としても推薦されます．通信ソサイエティ論文賞は，通信ソサイエティが 2006 年度に創設し，Best Paper Award, Best Tutorial Paper Award, Best Letter Award のようにカテゴリー別に優れた論文を年間 11 編まで選定し表彰するものです．今年度より，IEICE Communications Express（ComEX）Best Letter Award が加わりました．

論文賞候補の推薦にあたっては，下記の事項に御注意下さい．

◎　論文賞推薦条件及び規程

1. 推薦対象
   論文賞候補となる論文は，平成 24 年 10 月から平成 25 年 9 月までの間に通信ソサイエティの論文誌に発表された論文とする．ただし，招待・解説論文，及び，ComEX レターは通信ソサイエティ論文賞の候補にはなるが，論文賞の候補とはならない．なお，今年度の ComEX レターは平成 24 年 6 月（創刊）から平成 25 年 9 月までの間に発表されたものを通信ソサイエティ論文賞の候補とする．
2. 推薦用紙
   通信ソサイエティ正員は，推薦用紙若しくは通信ソサイエティ HP 上（http://www.ieice.org/ronbunsuisen/b/）の所定の様式により論文賞候補論文 1 編を推薦する．なお，推薦用紙を用いた場合は，本会総務部宛て郵送のこと．
3. 推薦資格及び推薦件数
   通信ソサイエティ正員 1 名につき 1 編
4. 推薦期日
   平成 25 年 11 月 1 日（金）（必着）
5. 選奨規程下記参照

……

1. The candidate papers must be selected from the IEICE Transactions on Communications published between October 2012 and September 2013. Note that Invited Papers and IEICE Communications Express（ComEX）Letters shall be the candidates only for the Best Tutorial Paper Award and the ComEX Best Letter Award, respectively, of the IEICE Communications Society. Note that ComEX Letters published between June 2012（first issue）and September 2013 can be nominated for the ComEX Best Letter Award.
2. Any regular member of the IEICE Communications Society can nominate one paper for the award candidates either via the prescribed nomination form or via the Web page of the IEICE Communications Society.（http://www.ieice.org/ronbunsuisen/b/）
3. The nomination deadline is November 1, 2013.
4. For detailed provisions of the Best Paper Award of IEICE, see http://www.ieice.org/eng/awards/provisions.html#03

◎　論文賞規程

第 4 章　論文賞

第 11 条　論文賞は，本会規則第 48 条による表彰で本会論文誌に発表された論文のうち，特に優秀なものを選び，その著者に贈呈する．

第 12 条　表彰する論文は，各ソサイエティに対応する論文誌に掲載された論文からソサイエティごとに毎年各 3 編，計 12 編とする．なお，編数は事情により変更することができる．

第 13 条　選定の対象となる論文は，表彰の時期の前々年の 10 月から前年の 9 月までの間に発表されたものであることを要する．

第 14 条　表彰する論文が共著の場合は，著者全員を表彰する．

第 15 条　論文賞は，同一著者に重ねて授賞しても差支えない．

◎　各ソサイエティ論文賞候補論文選定方法規程

http://www.ieice.org/jpn/about/kitei/societysentei.html#B を参照．

◎　通信ソサイエティ論文賞規程

http://www.ieice.org/cs/jpn/cs-edit/files/best-paper.html を参照．

《通信ソサイエティ》平成 25 年度論文賞候補論文推薦用紙

Nomination for the 2013 Best Paper Award of IEICE（Communications Society）

論文種別 Type of article	□ 論文（Paper）　□ 招待・解説論文（Invited Paper） □ サーベイ論文（Survey Paper）　□ レター（Letter）
論文名 Title	
著者名 Author(s)	
分冊 Edition published in parts 掲載年月号 Published date	□ 和文論文誌 B（IEICE Trans. Commun.（Japanese Edition）） □ 英文論文誌 B（IEICE Trans. Commun.） 掲載号（Published date）：　年（Year）　月号（Month） □ IEICE Communications Express（ComEX） Volume :　Number :
推薦理由 Reason for nomination	
推薦者 Nominator 通信ソサイエティ正員 Regular member of Communications Society	氏名 Name　（会員番号：　） Membership number 勤務先・所属名 Affiliation

※論文賞候補の推薦は本用紙に限ります．（コピーしたものは受け付けません．）
This is an official form for the award nomination. Copied form is not accepted.

※推薦理由を記載して下さい．推薦可能件数は，通信ソサイエティ正員 1 名につき 1 編です．
Reason for nomination must be provided. Each regular member of the Communications Society is allowed to nominate one article.

※本推薦により，上記論文は通信ソサイエティ論文賞候補論文としても推薦されます．
The paper nominated here is also registered as the award candidate of the Best Paper Award of the Communications Society.

※招待・解説論文及び ComEX レターは，論文賞の候補となりませんので御注意下さい．
Invited Papers and ComEX letters shall not be nominated for the Best Paper Award of IEICE.

提出先　〒105-0011　東京都港区芝公園 3-5-8　機械振興会館内　電子情報通信学会　総務部
Mail to : Finance and Administration Department, IEICE Headquarters Office
Kikai-Shinko-Kaikan Bldg., 3-5-8, Shibakoen, Minato-ku, Tokyo, 105-0011 Japan

――情報・システムソサイエティ論文賞 候補論文推薦依頼――

情報・システムソサイエティ論文賞選定委員会
委員長　杉本晃宏

情報・システムソサイエティでは1999年度より，本部論文賞とは別に，情報・システムソサイエティ論文賞（以下ソサイエティ論文賞と略記）を新設致しております．情報・システムソサイエティ正員の皆様には積極的な推薦をお願い致します．ソサイエティ論文賞は和・英論文誌Dに掲載された論文を対象とし，以下の4種類のうちから原則1件，特に優秀な論文を選び，その著者に贈呈します．

1. ［サーベイ論文］ 2012年10月から2013年9月の1年間に掲載された和・英のサーベイ論文のうち，特に優秀なもの．
2. ［先見論文］ 2008年10月から2012年9月の4年間に掲載された和・英の論文のうち，新たに価値が認識された特に優秀なもの．ただし過去に本部論文賞を受賞したものは対象としません．
3. ［連作論文］ 2008年10月から2013年9月の5年間に掲載された和・英の論文のうち，同一著者による複数件の論文が連作として優れていると認められるもの．ただし連作の論文の一つが既に本部論文賞あるいはソサイエティ論文賞を受賞している場合は対象としません．
4. ［システム開発論文］ 2012年10月から2013年9月の1年間に掲載された和・英のシステム開発論文のうち，特に優秀なもの．

正員が推薦できる論文は1編です．ただし，連作論文の場合は複数の論文からなる連作1件です．下記に記入の上，学会事務局（〒105-0011　港区芝公園3-5-8　機械振興会館　電子情報通信学会大会・研究会部ISS担当）宛てに12月2日（月）までに郵送して下さい．本ページを切り取って使用して下さい．複写したものは受け付けません．

なお，ソサイエティ論文賞の詳細につきましては，電子情報通信学会誌 vol. 82, no. 10, pp. 1072-1073, “情報・システムソサイエティ論文賞の創設”（1999年10月）または，情報・システムソサイエティ誌 第4巻第3号“ソサイエティ活性化の新しい試み”（1999年10月 http://www.ieice.org/~iss-mag/pdf/Vol4No3.pdf）を御覧下さい．

情報・システムソサイエティ論文賞　2013年度候補論文推薦用紙

論文種別　（［サーベイ論文］［先見論文］［連作論文］［システム開発論文］）いずれか一つに○印をつける	
推薦論文　（論文名，著者，掲載年月号，論文誌種別を明記［連作論文］の場合はすべてを挙げること）	
推薦理由	
推薦者 （情報・システムソサイエティ正員氏名）	勤務先・所属
	勤務先住所・電話・電子メール
会員番号	

（本部論文賞の推薦用紙は会誌11月号会告欄に掲載致します．お間違えのないよう御注意下さい）

――平成 26 年度笹川科学研究助成――

研究対象領域

A 〔一般科学研究〕 人文・社会科学及び自然科学（医学を除く）に関する研究

B 〔海洋・船舶科学研究〕「海洋学及び海洋関連科学」並びに「船舶及び船舶関連科学」の研究で，その成果が海洋・船舶関係に直結する研究（人文・社会科学を含む）

C 〔実践研究〕 博物館や学校，NPO などに所属している者が，その活動において直面している社会的諸問題を解決するために行う研究

募集対象者

A 〔一般科学研究〕 平成 26 年 4 月 1 日現在，大学院生あるいは所属機関等で非常勤または任期付き雇用研究者として研究活動に従事する者であって，35 歳以下の者

B 〔海洋・船舶科学研究〕 平成 26 年 4 月 1 日現在，大学院生あるいは所属機関等で研究活動に従事する（常勤・非常勤は問わず）者であって，35 歳以下の者

C 〔実践研究〕 教員，学芸員，図書館司書，スクールカウンセラー，指導員等の専門的立場にある者，あるいは問題解決に取り組んでいる当事者などで，特に常勤・非常勤は問わない．

登録締切　A・B：平成 25 年 10 月 15 日（火）17：00
　　C：平成 25 年 11 月 15 日（金）17：00

問合先　日本科学協会　笹川科学研究助成係
TEL〔03〕6229-5365，FAX〔03〕6229-5369
josei@jss.or.jp
http://www.jss.or.jp/ikusei/sasakawa

――第 6 回（平成 25 年度）宇宙科学奨励賞――

趣　旨　宇宙理学（地上観測を除く）分野及び宇宙工学分野で独創的な研究を行い，宇宙科学の進展に寄与する優れた研究業績を上げた若手研究者個人を顕彰する．

候補者　上記分野で優れた業績を上げた 37 歳以下（当該年度の 4 月 1 日現在）の若手研究者個人．

賞の内容　宇宙理学関係 1 名，宇宙工学関係 1 名．
本賞（賞状と表彰楯）及び副賞（30 万円）．

推薦締切日　平成 25 年 10 月 31 日（木）必着

推薦方法　推薦に当たっては当財団の HP（http://www.spss.or.jp）より推薦用書式をダウンロードし，必要事項を記入の上，必要な添付書類とともに期日までに当財団事務局宛てに電子メールにて提出のこと．

問合先　宇宙科学振興会　事務局　TEL〔042〕751-1126
FAX〔042〕751-2165，admin@spss.or.jp

――第 46 回（平成 25 年度）市村産業賞――

対象技術

（1） 独創的・画期的で世界的に見て高い水準にあるもの．

（2） その技術の実用化で新たな産業分野の創生や市場の拡大に効果が顕著なもの．

（3） 産業・社会の発展に先導的な役割を果たし波及効果が大きく期待できるもの．

ただし，すでに顕著な賞を受賞しているものは対象外．

表彰の対象者

（1） 上記対象技術の開発に中核として係わり，功績のあった技術開発者（3 名以内）．

（2） 大学及び公的研究機関関係者は産業界の関係者と連携して功績のあった技術開発者．

（3） 市村産業賞本賞の場合は企業代表者と共に表彰します．

賞の種類・内容

市村産業賞　本　賞（原則 1 件）：賞金（2,000 万円），本賞記念碑
功績賞（原則 2 件）：賞金（　500 万円），功績賞記念碑
貢献賞（原則 5 件）：賞金（　300 万円），貢献賞記念碑

応募方法　応募は，自薦，他薦に係らず受付けます．

提出書類　所定の様式（当財団 HP からダウンロードできます）に必要事項記入の上，当財団に提出して下さい．

受付期間　平成 25 年 11 月 1 日（金）～20 日（水）（締切日消印有効）

問合先　新技術開発財団
TEL〔03〕3775-2021，FAX〔03〕3775-2020
http://www.sgkz.or.jp
zaidan-mado@sgkz.or.jp

――小野音響学研究助成（平成 26 年度）――

助成対象　大学，研究機関等に所属して音響学の研究に携わっている若手研究者（応募時の年齢が 40 歳以下とする）

助成金額　1 件 100 万円以内，件数 5 件程度

応募締切日　平成 26 年 1 月 10 日（金）（必着）

問合先　三菱 UFJ 信託銀行リテール受託業務部　公益信託グループ　渡邉
TEL〔03〕6250-3259，FAX〔03〕6214-6253
koueki_post@tr.mufg.jp

◉…… 求　人　欄 ……◉

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後，事務局では原稿受領通知をお送りしております．原稿送信後，数日たっても受領の連絡がない場合は，事故防止のため下記までお問合せ願います．

問合先：電子情報通信学会編集出版部
TEL〔03〕3433-6692，E-mail : shuppan@ieice.org

――教官・教員募集――

●明星大学
公募人員　准教授または教授1名
専門分野　電気電子分野の電気機器，半導体電力変換，回転機，自動車・電気鉄道，エネルギーなど
担当科目　電磁気，電気回路，電力電子工学，電気機器の関連科目など
着任時期　平成26年4月1日
応募締切　平成25年10月21日（月）必着
問 合 先　総合理工学科電気電子工学系代表　嶋　好博
shima（at）ee.meisei-u.ac.jp　(at)→@
詳　　細　http://www.meisei-u.ac.jp/recruit/index.html

●首都大学東京
公募人員　情報通信システムコース　助教1名
専門分野　情報通信，音声・音響処理，画像処理，信号処理，情報セキュリティ，パターン認識のいずれかの分野
応募資格　博士の学位を持つ女性研究者（取得見込み含む）（雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第8条に基づく女性限定公募）
着任時期　平成26年4月1日
応募締切　平成25年10月25日（金）必着
問 合 先　コース長　田川憲男，tagawa@sd.tmu.ac.jp
詳　　細　www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/tmu.html

●東海大学
公募人員　テニュアトラック教員1名（助教，講師または准教）
専門分野　工学関連分野
任　　期　平成26年4月1日～平成31年3月31日まで（単年度契約）
応募締切　平成25年10月25日（金）17時必着
書類送付先・問合先　〒259-1292　平塚市北金目4-1-1
東海大学創造科学技術研究機構
TEL〔0463〕50-2532，FAX〔0463〕50-2478
iist-office@tsc.u-tokai.ac.jp
詳　　細　HP参照のこと　http://www.u-tokai.ac.jp/tuiist/

●東京理科大学
公募人員　理工学部電気電子情報工学科　嘱託助教2名
専門分野　「情報・通信・コンピュータ分野」（光通信工学・光エレクトロニクス）または「エレクトロニクス・物性・材料分野」（電子回路・集積回路）
着任時期・任期　平成26年4月1日から5年間
応募締切　平成25年10月25日（金）必着
問 合 先　電気電子情報工学科主任　前田譲治
TEL〔04〕7124-1501（内線3705）
koubo-2014@ee.noda.tus.ac.jp
詳　　細　http://www.tus.ac.jp/boshuu/pdf/koubo20131025_riko_ele_01.pdf

●大阪大学
公募人員　システム創成専攻電子光科学領域固体電子工学講座教授1名
専門分野　電子，光，量子の制御に基礎をおく先端的機能デバイス
応募資格　博士号取得者で大学院生及び学部生（電子物理科学科及びエレクトロニクスコース）の教育・研究指導を担当できる方
応募締切　平成25年10月31日（木）必着
問 合 先　システム創成専攻電子光科学領域教授　酒井　朗
TEL〔06〕6850-6300，sakai@ee.es.osaka-u.ac.jp
詳　　細　http://www.ee.es.osaka-u.ac.jp/

●電気通信大学
公募人員　情報理工学研究科　テニュア・トラック助教1名
専門分野　情報ネットワーク
応募資格　採用時に博士の学位を有し（かつ取得後10年以内），上記専門分野で優秀な研究を推進しており，自立して独創的な研究を行う能力を有する方
着任時期　平成26年4月1日以降のできるだけ早い時期
応募締切　平成25年10月31日（木）　17時必着
問 合 先　情報理工学研究科情報・通信工学専攻　小花貞夫
TEL〔042〕443-5335，obana@cs.uec.ac.jp
詳　　細　http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/

●電気通信大学
公募人員　大学院情報理工学研究科知能機械工学専攻先端ロボティクスコース　テニュア・トラック助教1名
専門分野　ヒューマンロボットコミュニケーション分野：コンピュータビジョン，視聴覚情報処理，知的ヒューマンインタフェース，パターン認識，知能ロボティクスなど
着任時期　平成26年4月1日（以降のできるだけ早い時期）
応募締切　平成25年11月8日（金）必着（日本時間）
問 合 先　知能機械工学専攻教授　金子正秀
TEL〔042〕443-5216，kaneko@ee.uec.ac.jp
詳　　細　http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/

●北陸先端科学技術大学院大学
公募人員　情報科学研究科ソフトウェア科学領域　教授1名
専門分野及び関連する主な職務　ソフトウェアを対象とする形式手法分野に関する研究（特に理論から自動化手法の実装などの実践に至る研究を歓迎する）．ソフトウェア科学領域の講義の担当．主テーマ指導担当学生の研究指導，学修指導，就職指導等，他研究室学生に対する副テーマ指導．大学業務・管理運営への貢献等
応募締切　平成25年11月10日（日）当日消印有効
問 合 先　情報科学研究科担当，is-secr@jaist.ac.jp
詳　　細　http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubo/index-jp3.html

●北陸先端科学技術大学院大学

公募人員　知識科学研究科社会知識領域　助教1名
専門分野及び関連する主な職務　技術経営（理論，手法，ツール）分野に関する研究教育．社会知識領域の講義の一部を担当．関連教員と共同して，研究室内の博士前期・後期課程学生，また他研究室の副テーマ学生の指導
任　　期　5年
応募締切　平成25年11月15日（金）当日消印有効
問 合 先　知識科学研究科担当，ks-secr@jaist.ac.jp
詳　　細　http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubo/index-jp3.html

●宇部工業高等専門学校

公募人員　制御情報工学科　助教，講師または准教授1名
専門分野　電気・電子回路
担当科目　制御工学，組込みシステムを扱う実験実習
応募資格　女性限定でかつ博士の学位を有すること（着任時までに取得見込み可）
着任時期　平成26年4月1日
応募締切　平成25年11月22日（金）必着
問 合 先　制御情報工学科長　三宅常時
TEL〔0836〕35-4964，miyake@ube-k.ac.jp
詳　　細　http://www.ube-k.ac.jp/の教員公募参照．公募人員

●弘前大学

公募人員　理工学研究科（理工学部電子情報工学科併任）教授1名
専門分野　組込みシステム，コンピューティング，ヒューマンインタフェースのいずれかを専門とする方，またはその関連分野の方
応募資格　博士の学位を有する方
着任時期　平成26年4月1日以降のできるだけ早い時期
応募締切　平成25年11月29日（金）必着
問 合 先　大学院理工学研究科　斎藤　稔
TEL〔0172〕39-3656，msaito@eit.hirosaki-u.ac.jp
詳　　細　http://www.hirosaki-u.ac.jp/saiyo/index.html

●立命館大学

公募人員　情報理工学部メディア情報学科　助教3名
専門分野　画像・音・言語メディア技術，VR，HCI，その他のメディア情報技術に関する分野
応募資格　博士の学位を有し，研究・教育に熱意がある方
その他の条件は下記ホームページ参照
着任時期　平成26年4月1日
応募締切　平成25年11月29日（金）必着
問 合 先　情報理工学部事務室　橋本・古久保
TEL〔077〕561-5202，johokobo@st.ritsumei.ac.jp
詳　　細　http://www.ritsumei.jp/job/pdf/ise-youkou131129.pdf

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい．
URL：http://www.ieice.org/jpn/books/ad/kyokanshainboshu.html
◎次回締切　12月号掲載分　平成25年10月25日（金）必着
◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております．下記からお入り頂くと今月号だけではなく，締切前の求人が全て御覧になれます．
URL：http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html

◉……お　知　ら　せ……◉

――シニア会員申請登録は10月1日から開始しています！――

平成20年から発足しましたシニア会員制度は，日頃の会員活動を通して本会の発展に寄与する継続的活動が認められ，本会への貢献が大きい正員に対してシニア会員の称号を贈呈し，より具体的に敬意を表明するとともに，将来にわたって引き続き学会活動の中心となって，学会の発展，ひいては社会への貢献をお願いするものです．また，本制度は将来，フェロー選出の母体となる制度でもあります．

・申請期間：平成25年10月1日から平成26年1月31日まで
・推薦基準：本会が関連する技術分野に原則10年以上従事しており，本会会員として累計在籍年数5年以上の正員，あるいは顕著な業績・貢献が認められる正員を対象とする．累計在籍年数は，提出期限である1月31日までの在籍月数を積算し，12か月を1年とし，端数月数は切り捨てる．
・申請方法：Webでの自己申請で推薦者2名が必要
・推薦者：名誉員，フェロー，シニア会員

該当の会員の皆様，是非登録申請して下さい．
会員の皆様の周りの該当の方々に，申請登録されるようお勧め下さいますようお願い致します．
申請方法等の詳細は下記URLを御覧下さい．
http://www.ieice.org/jpn/senior/index.html

――「平成26年度代議員選挙」の立候補申請について――

「代議員の選出に関する規程」に基づき，平成26年度代議員選挙の立候補を受け付けます．

（立候補者）
・代議員の立候補者は本年9月1日現在，正員として5年以上在籍する会員で，正員等の推薦者5名を付して代議員となることを申し出た者とします．

（立候補の締切）
・平成25年10月31日　学会事務局必着とします．

（立候補届）
・以下の立候補届に所定の内容を記入し，下記まで郵送下さい．
☆立候補届用紙は下記のURLにあります．
http://www.ieice.org/jpn/26daigiinrikkouho.pdf

（郵送先）
〒105-0011　港区芝公園3-5-8
機械振興会館101号室
電子情報通信学会事務局

――御登録情報の変更・確認はマイページを御利用下さい――

http://www.ieice.org/jpn/mypage/about.html

◆御利用方法

事前に，上記の URL からパスワードを取得の上御利用下さい．なお，パスワードは現在会員システムに登録されているメールアドレスに自動送信されます．

◆マイページで御利用頂ける内容

（1） 登録情報の確認／変更について―送付先住所，会費支払方法(クレジットカードでの Web 決済，支払い方法の変更†)，学生員申請†・オンラインジャーナル購読内容の変更†・満 60 歳以上の方の会費減額手続き†・退会手続き†

（2） 研究会情報配信サービスのための研究会名登録

（注） †がついている内容は，会費の金額が変わる事項であり事故を防ぐため，マイページのリンク先から申請書類をダウンロードの上，FAX／郵送して頂く形式をとっております．

――論文誌の冊子体の廃止について――

本会では，1999 年 8 月から論文誌の電子的公開を開始し，2006 年 4 月からは個人の会員の皆様への論文誌の配布媒体をオンライン版とし，冊子体はオプションとしております．また，2009 年 4 月からは特殊員の皆様に対し，サイトライセンスを開始してきました．これらにより，近年オンライン版での閲覧が定着し，オプションとして冊子体を希望される方は減少しております．

一方，現在，電子情報通信学会・横断システム（IEICE Knowledge Discovery（略称：I-Scover））などの新たなシステムの構築，会員管理システム刷新，既存の論文査読／公開システムの更改などを行っており，利用者の皆様のサービス向上及びオンラインを活用した学術情報発信強化に向けた取組みを進めているところです．

少子化等により会員数が漸減していく中で，今後も引き続き学会活動を持続可能なものにしていくために，リソースの集中を図ることが必要になっております．

その一環として，論文誌の冊子体を 2014 年 4 月号から廃止することが 2013 年 4 月 15 日の理事会で決定されました．これまで冊子体に親しんでこられた会員の皆様につきましても，今後はオンライン版の御活用をお願い致したいと存じます．

御不便をおかけしますが，何とぞ御理解のほどよろしくお願い申し上げます．

なお，論文誌の別刷は引き続き作成致します．

――電子情報通信学会東京支部教育イベントの公募について――

電子情報通信学会東京支部では，本会定款の「電子工学および情報通信に関する学問，技術の奨励および普及事業」として，我が国の未来を担う子どもたちに自然科学，特に電子情報通信分野や関連分野の科学技術のおもしろさ，すばらしさを実感，体感してもらえるイベントを企画することにより，「理工学系離れ」や「科学嫌い」の問題解決に寄与していきたいと考えています．そのため，これまでも東京支部が主催する各種教育イベントを企画，実施してきました．

更にその活動を広げることを目的として，本学会東京支部会員から，一般の小，中，高校生を対象とした草の根的な教育イベントの企画提案を募集します．企画・イベントの実施に際しては，東京支部が共同主催し，そのイベントに掛かった実費または実費の一部を分担したいと考えています．

なお，応募要領の詳細につきましては，東京支部ホームページ（http://www.ieice.org/tokyo/koubokyouikuibento.html）を御覧下さい．

――平成 25 年 10 月号及び 11 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ――

和・英論文誌編集委員会

（基礎・境界ソサイエティ）

10 月号［英文］Sparsity-aware signal processing

11 月号［英文］Smart Multimedia & Communication Systems

（通信ソサイエティ）

10 月号［和文］ヒト・モノ・データをつなげるインターネットアーキテクチャ

10 月号［英文］Recent Progress in Antennas and Propagation in Conjunction with Main Topics of ISAP2012

11 月号［英文］Progress in Information Network Science

（エレクトロニクスソサイエティ）

10 月号［英文］Emerging Technologies and Applications for Microwave and Millimeter-wave Systems

11 月号［和文］次世代電子機器を支える三次元積層技術と先端実装の設計・評価技術

11 月号［英文］Electronic Displays

（情報・システムソサイエティ）

10 月号［和文］システム開発

11 月号［和文］ソフトウェア基礎・応用

◉…… 論文特集原稿募集 …… ◉

――情報理論とその応用小特集（英文論文誌 A）論文募集――

情報理論とその応用小特集編集委員会

基礎・境界ソサイエティでは，英文論文誌，IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences において，情報理論とその応用小特集“Special Section on Information Theory and Its Applications”を 2014 年 12 月号に掲載する予定で企画しております．

本小特集では，このテーマに関する英文論文を一般に広く募集致します．特に，本年 11 月 26 日(火)～11 月 29 日(金)に伊東市で開催される「第 36 回情報理論とその応用シンポジウム」(SITA 2013）における発表論文の積極的な御寄稿を期待しております．

なお，同名同目的の小特集は，1991 年から毎年 1 回掲載されており，近年では，2010，2011 年の各 11 月号，2012，2013 年 12 月号（予定）に掲載されております．

1. 対象分野

情報理論に関する分野並びにその応用分野

2. 論文の執筆と取扱い

通常の一般論文と同一とします．原則として，論文は刷り上がり 8 ページ程度，レターは 2 ページ程度とします．査読後の再提出（条件付採録）の場合は，論文修正の期間が通常の 60 日以内よりも短縮される場合がありますので，あらかじめ御了承下さい．

3. 論文投稿締切日　2014 年 2 月 7 日（金）（必着）

4. 投稿方法

電子投稿のみ受け付けます．以下の手順で御投稿下さい．

手順 1：https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい．初期投稿時に，編集可能な論文本体（Word/TeX），図，著者の写真，biography も投稿する必要があります．なお登録時には必ず“Journal/Section”で［Special-TA］Information Theory and Its Applications を選択して下さい．［Regular-EA］を決して選択しないで下さい．

手順 2：印刷した投稿者チェックリスト及びコピーライトトランスファーフォームにサインをしたものを論文投稿締切日である，2014 年 2 月 7 日（金）までに下記送付先へ郵送・FAX・メール添付のいずれかで送付して下さい．締切日までにこれらの書類が届かない場合，投稿が取下げになることがあります．

5. 小特集編集委員会

委員長　松嶋敏泰（早大）
幹　事　小林　学（湘南工科大）
委　員　池田思朗（統数研），宇佐見庄五（名城大），笠井健太（東工大），葛岡成晃（和歌山大），古賀弘樹（筑波大），小嶋徹也（東京高専），後藤正幸（早大），小西たつ美（愛知工大），斎藤秀俊（工学院大），境　隆一（阪電通大），西新幹彦（信州大），野村　亮（専修大），浜田　充（玉川大），藤沢匡哉（東京理科大），松田哲直（東工大），松本隆太郎（東工大），峯松一彦（NEC），三村和史（広島市大），八木秀樹（電通大）

6. 投稿書類投稿先及び問合せ先

小林　学　湘南工科大学工学部情報工学科
〒251-8511　藤沢市辻堂西海岸 1-1-25
E-mail：kobayasi@info.shonan-it.ac.jp
TEL〔0466〕30-0232，FAX〔0466〕34-5932

7. 付記

＊投稿に際しては，著者のうち少なくとも 1 名は本会会員である必要があります．入会の案内は http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html を御覧下さい．

＊採録された場合には，掲載別刷代をお支払い頂きます．著者には 50 部の別刷りが配布されます．

＊採択件数が多い場合，2015 年 1 月号に掲載となる場合があります．

――VLSI 設計と CAD アルゴリズム小特集（英文論文誌 A）論文募集――

VLSI 設計と CAD アルゴリズム小特集編集委員会

最近の VLSI 技術の目覚ましい発展によって，西暦 2025 年には DRAM ハーフピッチが 8 nm に迫り，数十兆個のトランジスタが 1 チップに搭載されると言われています．これに伴い，VLSI チップの設計はますます複雑化，大規模化し，VLSI 設計における諸問題に総合的に取り組むことが不可欠となっています．また，今後のシステム LSI を設計する上で，ディジタル・アナログ混載技術など様々な技術の融合が不可欠です．VLSI 応用としての並列・分散アルゴリズムをはじめ，VLSI 設計のための方法論，機能設計からレイアウト設計に至る各種 CAD 手法，更に，それらを支える基本アルゴリズム及びデータ構造を対象分野とする質の高い論文を小特集として出版し，今後の VLSI 関連分野の研究の更なる発展を図るべく，本小特集を企画致しました（平成 26 年 12 月号）．本小特集では，このテーマに関する英文論文を一般に広く募集します．特に，SASIMI 2013 及び ASP-DAC 2014 での発表論文の積極的な御投稿を期待しております．

1. 対象分野

VLSI 設計方法論，VLSI アーキテクチャ，コデザイン，機能合成，論理合成，低消費電力設計，シミュレーション（機能，論理，回路，プロセス，デバイス等），形式検証，レイアウト検証，テストパターン生成，テスト容易化設計，フロアプラン，配置，概略配線，詳細配線，アナログ回路設計，セル／モジュール設計，システムレベル設計，その他 VLSI 設計と CAD アルゴリズムに関連する分野

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします．原則として，論文は刷り上がり 8 ページ程度，レターは刷り上がり 2 ページ程度とします．詳細は Information for Authors（http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html）を御参照下さい．著者のうち少なくとも 1 名は本会会員である必要があります．本小特集の投稿にあたっては，次の点にも御注意下さい．

・投稿は電子投稿でのみ受け付けます．登録と投稿は https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx で行えます．なお，登録の際，“Journal/Section”については“［Special-VL］VLSI Design and CAD Algorithms”を選択して下さい．間違って“［Regular-EA］”を選択しないよう御注意願います．また，“Copyright Transfer and Page Charge Agreement（要サイン）”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を論文投稿締切日までに下記送付先（編集幹事）まで郵便，FAX，電子メール等でお送り下さい．

必ず電子投稿時に振られたTemporary IDを明記願います．
・初期投稿時に，編集可能な論文本体（Word/TeX），図，著者の写真，biographyも投稿する必要があります．
・採録論文数が多くなった場合には，一部次号に掲載される可能性があります．
・論文採録の場合には，掲載別刷代をお支払い頂きます．

3. 論文投稿締切日　平成26年3月13日（木）必着

（電子投稿，copyright transfer，confirmation sheet全て）

4. 書類送付先及び問合せ先

高木一義　京都大学大学院情報学研究科通信情報システム専攻
〒606-8501　京都市左京区吉田本町
TEL〔075〕753-5383，FAX〔075〕753-5986
E-mail：ktakagi@i.kyoto-u.ac.jp

5. 小特集編集委員会

委員長　山田晃久（シャープ）
幹　事　樋上喜信（愛媛大），高木一義（京大）
委　員　尼崎太樹（熊本大），池田　誠（東大），石原　亨（京大），伊藤和人（埼玉大），宇佐美公良（芝浦工大），岡田健一（東工大），梶原誠司（九工大），金子峰雄（北陸先端大），川口　博（神戸大），木村晋二（早大），黒川　敦（弘前大），柴田裕一郎（長崎大），瀬戸謙修（東京都市大），宋　天（徳島大），高島康裕（北九州市大），高橋篤司（東工大），竹中　崇（NEC），戸川　望（早大），冨山宏之（立命館大），中武繁寿（北九州市大），中村祐一（NEC），橋本昌宜（阪大），浜口清治（島根大），樋口博之（富士通研），廣瀬哲也（神戸大），福田大輔（富士通研），松本剛史（東大），三浦幸也（首都大東京），湊　真一（北大），南　文裕（東芝），山下　茂（立命館大），弓仲康史（群馬大），吉川雅弥（名城大），渡邉貴之（静岡県立大）

――知的環境とセンサネットワーク小特集（英文論文誌B）論文募集――

知的環境とセンサネットワーク小特集編集委員会

実空間に存在する人やもの，あるいは空間それ自体の状態をセンシングする機器同士のネットワークはセンサネットワークと呼ばれ，世界中で活発な研究が進められています．また，センサネットワーク等からのセンシングデータを処理・解析して得られる情報に基づき，人の活動を拡張・強化あるいは補完・補助する系を知的環境（Ambient Intelligence）と呼びます．これらセンサネットワークに基づく知的環境を活用したシステムは，従来にない利便性の提供や抜本的なコスト削減が期待でき，例えば，スマートグリッドによる電力の有効利用，効率的な交通システム，市民に優しい街環境の実現などで注目されています．今後，知的環境を社会基盤として発展させていくためには，センサネットワークをはじめとする知的環境を支える諸技術の発展はもちろんのこと，その産業への応用を見据えて研究を推進することが重要と考えられます．そこで，今後の知的環境に関する研究開発の一層の促進を目的として，本小特集（2014年9月号掲載）を企画致します．

1. 対象分野

本小特集では情報通信分野からの投稿はもちろんのこと，農業，漁業，林業等の諸産業分野，プラント，発電所等の工業分野，及び健康，医療，流通等の諸サービス分野は知的環境とセンサネットワークの主要な応用領域であり，これらの領域からの投稿も歓迎致します．例えば，以下のような技術分野を含みます．

a．ユビキタスセンシング・アクチュエーション技術
空間センシング，アンビエントインタフェース，組込みソフトウェア，センシング・制御理論

b．アドホック・メッシュ・センサネットワーク
MAC/ルーチングプロトコル，マルチホップ・協力通信，セキュリティ，グリーンワイヤレス，通信・ネットワーク理論

c．アンビエントインテリジェンス
センサデータベース，位置情報技術，ストリーム処理，プライバシー・セキュリティ，ビッグデータ，学習・信号処理

d．システム基盤
大規模広域化，ディペンダビリティ，IoT，M2M，サイバーフィジカル，運用管理，自律分散制御

e．システム応用
農林水産支援システム，医療・健康システム，産業支援システム，社会インフラシステム，スマートグリッド

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします．ページ数は，原則として，論文の場合は刷り上がり8ページを標準とします．標準ページ数を超えると，掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい．詳細はInformation for Authors（http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html）を御参照下さい．査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合があります．

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます．以下の手順で御投稿下さい．

手順1：https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspxから登録を行って下さい．初期投稿時に，編集可能な論文本体（TeX/Word），図，著者の写真，biographyも投稿する必要があります．なお登録時には必ず“Journal/Section”でAmbient Intelligence and Sensor Networksを選択して下さい．［Regular-EB］を決して選択しないで下さい．

手順2：登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を，論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付，FAXのいずれかの方法でお送り下さい．これらの書類が期日までに届かない場合，投稿が取下げになることがあります．

4. 論文投稿締切日　2014年1月6日（月）必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

関屋大雄　千葉大学大学院融合科学研究科情報科学専攻
TEL〔043〕290-3258，FAX〔043〕290-3269
E-mail：asn-ss-sec@mail.ieice.org

6. 小特集編集委員会

委員長　大槻知明（慶大）
幹　事　内藤克浩（三重大），関屋大雄（千葉大）
委　員　石原　進（静岡大），岩井将行（東京電機大），大和田泰伯（NICT），鏡　慎吾（東北大），川喜田佑介（電通大），川島英之（筑波大），川西　直（ATR），岸田　朗（NTT），塩川茂樹（神奈川工科大），深津時広（農研機構），藤田裕志（富士通研），不破　泰（信州大），三次　仁（慶大），横田英俊（KDDI研），渡辺正浩（三菱電機）

7. 付記

＊締切日を厳守して下さい．
＊招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代（別刷

50部含む）が必要となります．

＊投稿に際しては，著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません．ただし招待論文に関してはこの限りではありません．必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については，投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい．入会の案内はこちらを御覧下さい．
http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html

――機構デバイスの最新動向（IS-EMD2013）小特集（英文論文誌C）論文募集――

機構デバイスの最新動向（IS-EMD2013）
小特集編集委員会

エレクトロニクスソサイエティでは，英文論文誌C分冊において「機構デバイスの最新動向」小特集“Special Section on Recent Development of Electro-Mechanical Devices—Papers selected from International Session on Electro-Mechanical Devices 2013（IS-EMD2013）and other recent research results”を平成26年9月号に発刊する予定です．

最近の電子機器は，ディジタル化，小形化，高速化などの点で目覚ましい発展を遂げていますが，それらは，その基盤技術としての電気・光信号の接触・接続技術の着実な進歩によって裏付けられています．更に，最近では，MEMSなどのマイクロエレクトロニクスからナノスケールエレクトロニクスへの技術の進展に伴う超小形機構デバイスでの接触現象が重要な研究課題になる一方で，自動車のエレクトロニクス化の進展や直流給電技術の実用化への対応が求められるなど，新しい局面での基礎研究や技術開発も活発となっています．また，環境問題では，鉛フリーのはんだ材料や，カドミウムフリーの接点材料の開発が期待されており，リサイクル（Recycle），リユース（Reuse），リデュース（Reduce）の3Rによる環境調和技術が要求されています．

このような基盤技術としての機構デバイス分野の大きな変化並びに発展を受けて，電子情報通信学会機構デバイス研究会が中心となり，この情報を世界に発信していく目的で，2001年に国際セッション（International Session on EMD）を発足させました．今回は平成25年11月16日から開催される第13回国際セッション（IS-EMD2013）に合わせて，この小特集を企画しました．

この小特集では，IS-EMD2013で発表された論文の投稿を歓迎するとともに，そればかりではなく，機構デバイスに関係したあらゆる分野の論文の投稿を広く募集します．

1. 対象分野

機構デバイス，信号の接続に関連する分野

基礎研究：接触に関する表面科学と技術，アーク放電現象，トライボロジー，実装技術，光接続技術，信頼性，評価計測，マイクロマシーニングとMEMS/NEMS技術

デバイス：リレー，電気及び光スイッチ，電気及び光コネクタ，開閉接触部品，ヒューマンインタフェースデバイス，アレスタ，ヒューズ，小形モータ等の電気-機械トランスデューサ及びアクチュエータ

材料：コンタクト材料，ばね材料，めっき，モールド材料，はんだなど

応用：環境調和問題，高周波伝送・EMC問題，Pb・Cdフリー，リサイクル，リユース，リデュース技術など

2. 論文の執筆と取扱い

本小特集ではペーパーとブリーフペーパーのみを受け付けます．ただし，論文は刷り上がり8ページ以内，ブリーフペーパーは4ページ以内（厳守）とします．詳細は，The Information for Authors（http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html）を御参照下さい．査読後の再提出（条件付採録）の場合は通常の60日以内よりも短縮される場合がありますので，あらかじめ御了承下さい．

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため，本小特集では論文の電子投稿を行います．以下の手順で御投稿下さい．

手順1：https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspxから登録を行って下さい．なお，登録時には必ず“Journal / Section”で“[Special-EM] Recent Development of Electro-Mechanical Devices（IS-EMD2013）”を選択して下さい．“[Regular-EC]”を選択しないで下さい．

手順2：著作権譲渡承諾書（Copyright Transfer and Page Charge Agreement）と仮登録確認用紙（Confirmation Sheet of Manuscript Registration）を下記まで電子メール添付（推奨），FAXまたは郵送で送付して下さい．これらの書類がないと査読が開始されません．

4. 論文投稿締切日　平成26年1月4日（土）　必着

5. 送付先及び問合せ先

幹事　阿部宜輝
日本電信電話株式会社NTTフォトニクス研究所
〒243-0198　厚木市森の里3-1
TEL〔046〕240-2262，FAX〔046〕270-6421
E-mail：abe.yoshiteru@lab.ntt.co.jp

6. 小特集編集委員会

委員長　長瀬　亮（千葉工大）
幹　事　阿部宜輝（NTT）
委　員　上野貴博（日本工大），梅村　茂（千葉工大），萱野良樹（秋田大），小林達郎（沖センサデバイス），澤孝一郎（日本工大），澤田　滋（三重大），関川純哉（静岡大），曽根秀昭（東北大），高見幸二（オムロン），玉井輝雄（エルコンテックコンサルティング），長谷川誠（千歳科技大），服部康弘（住友電装），林　優一（東北大），吉田　清（日本工大）

7. 付記

＊論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので，あらかじめ御了承下さい．

＊投稿に際しては，著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません．ただし招待論文に関してはこの限りではありません．必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については，投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい．入会の案内はこちらを御覧下さい．
http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html

――並列分散コンピューティングとネットワーキング小特集（英文論文誌D）論文募集――

並列分散コンピューティングと
ネットワーキング小特集編集委員会

近年，システムの大規模化や高度化，ネットワーク利用の拡大や複雑さの増大に伴い，並列分散コンピューティングの重要性はますます高まっています．VLSI技術やネットワーク技術の発展に伴ってこの研究分野のカバーする対象領域は年々拡大しており，学界のみでなく，将来の産学界においても重要な役割を果たすこ

とが期待されています．2013年9月に東京で開催されるMCSoC'13や12月に松山で開催されるCANDAR'13など関連する国際会議の発表者・参加者，関連研究に携わる方々に広く投稿を呼びかけ，この分野における最新の研究動向を集めることを目的に並列分散コンピューティングとネットワーキング小特集（2014年12月号）を企画しました．本小特集では，並列分散コンピューティングとネットワーキングに関する論文を広く募集します．並列分散コンピューティングに係る有用な手法の提案に加え，具体的なシステムの実装に係るシステム開発論文なども歓迎致します．

1. 対象分野

a．並列・分散アルゴリズムとその応用（高性能計算，画像・グラフィックス処理，データマイニングと情報検索，マルチコア・アクセラレータ利用計算，ネットワークアルゴリズム，グリーンコンピューティング，シミュレーションと可視化，スケジューリングと負荷分散，性能モデルと評価など）

b．並列・分散システムとアーキテクチャ（並列プロセッサアーキテクチャ，クラスタ・グリッドシステム，ネットワークとストレージアーキテクチャ，ネットワークオンチップ，高性能インタコネクトなど）

c．分散システムとネットワーキング（ユビキタス計算，P2Pネットワーク，ワイヤレスネットワークとモバイル計算など）

d．並列・分散ソフトウェア（オペレーティングシステム，ミドルウェア，ツール，仮想化技術，並列プログラミングモデルと言語，Webサービス，クラウドと分散コンピューティング，クラスタ・グリッドの資源管理とスケジューリングなど）

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします．原則として刷り上がり8ページ以内とします．詳細はInformation for Authors（http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html）を御参照下さい．小特集であることから，査読後の再提出期間（通常60日）を短縮することがあります．また，論文採録の場合は，掲載別刷代が必要となりますので御了承下さい．

3. 論文投稿締切日　2013年12月25日（水）

4. 投稿方法

投稿は，本会電子投稿システムhttps://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspxによる電子投稿とします．なお登録時には必ず"Journal/Section"で［Special-PA］Parallel and Distributed Computing and Networkingを選択して下さい．［Regular-ED］や他の特集を選択されませんよう御注意下さい．仮登録用紙と著作権譲渡承諾書は印刷して下記問合せ先へ2014年1月10日（金）までに，電子メール，FAX，郵便のいずれかにてお送り下さい．

5. 問合せ先

松谷宏紀　慶應義塾大学理工学部情報工学科
〒223-8522　横浜市港北区日吉3-14-1
TEL〔045〕566-1569，FAX〔045〕566-1569
E-mail：cpsy-pdcn2014-kanji@mail.ieice.org

6. 小特集編集委員会

編集委員長　吉永　努（電通大）

幹　事　中島康彦（奈良先端大），松谷宏紀（慶大），松前　進（佐賀大）

委　員　天野英晴（慶大），井上浩明（NEC），泉　泰介（名工大），市川周一（豊橋技科大），井口　寧（北陸先端大），片山喜章（名工大），吉瀬謙二（東工大），北村俊明（広島市大），鯉渕道紘（NII），笹部昌弘（阪大），塩谷亮太（名大），柴田裕一郎（長崎大），新熊亮一（京大），田頭茂明（関西大），津邑公暁（名工大），藤田　聡（広島大），森　眞一郎（福井大），森野博章（芝浦工大），山内利宏（岡山大），山口弘純（阪大），山田浩史（東京農工大），横田隆史（宇都宮大），Jacir Luiz Bordim（ブラジリア大）

7. 重要なお知らせ

＊採録が決まった論文等の著者（招待論文も含む）には，最終原稿の提出方法に応じて掲載別刷代が必要となります．この掲載別刷代には，別刷50部が含まれています．

＊投稿に際しては，著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません．必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については，投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい．入会の案内はこちらを御覧下さい．
http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html

総合版ハンドブック
「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております．一般公開は，会員限定β版での公開後2か月を経過した一部のコンテンツが対象となります．

閲覧にあたっては，本会ホームページ（トップページ）→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または，以下のURLからお入りください．

http://www.ieice-hbkb.org/portal/